

**米子市のまちづくりに関する
市民意向調査**

報告書

令和3年12月

米 子 市

目 次

1	調査概要	1
	（1）調査の目的	1
	（2）調査概要	1
2	調査結果及び調査票等	3
	（1）基本属性	3
	（2）お住まいの地域について	4
	（3）定住・住み替え意向について	8
	（4）米子市に立地する施設について	17
	（5）今後のまちづくりについて	22
	（6）自由意見	45
3	調査票	65

1 調査概要

(1) 調査の目的

本調査は、定住・住み替え意向、米子市に立地する施設、目指すべきまちづくりについての市民の意向を把握することで、立地適正化計画の策定に資する基礎資料として活用するものです。

(2) 調査概要

本調査の概要は以下のとおりです。

ア 調査対象

米子市内の都市計画区域（米子境港都市計画区域及び淀江都市計画区域）の居住者（18歳以上）2,000人（無作為抽出）

イ 調査方法

調査票の郵送配布、郵送回収

ウ 調査期間

- ・令和3年9月13日（月）から10月8日（金）

エ 調査項目

- ・基本属性（問1）
- ・お住まいの地域について（問2～問4）
- ・定住・住み替え意向について（問5～問9）
- ・米子市に立地する施設について（問10～問11）
- ・今後のまちづくりについて（問12～問17）
- ・自由意見（問18）

オ 調査票の回収状況

項目	回収結果
配布数 (A)	2,000 票
返戻数 (B)	5 票
有効配布数 (C=A-B)	1,995 票
回収数 (D)	814 票
無効票数 (白票) (E)	1 票
有効回収数 (F=D-E)	813 票
有効回収率 (G=F/C)	40.8%

カ 集計結果

回答者数に対する割合（%）を示していますが、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。

集計結果のグラフや表の見出し及び本文中での回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合があります。

質問ごとに指定する選択数以上の回答があった場合など、無効となる回答については、無回答に含めて集計しています。

キ 調査票配布数の設定について

① 標本誤差について

アンケート調査を行う場合、本来は全母集団（米子市全市民）を対象とすることが理想ですが、母集団の数が膨大な場合は、無作為に標本データを抽出する標本調査が行われます。

標本調査では標本データから全体を推計するため、得られた回答に誤差が生じる可能性があります。その誤差は「標本誤差」と呼ばれており、通常のアンケートでは、信頼度 95%を用いるのが一般的で、許容できる標本誤差の範囲は 3%程度の範囲までとされています。

【標本誤差の計算式】

$$F = 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \frac{(1-p)p}{n}}$$

F：標本誤差 N：母集団（人口） n：標本数（有効回答数）

p：ある設問に対して Yes と答える人の割合

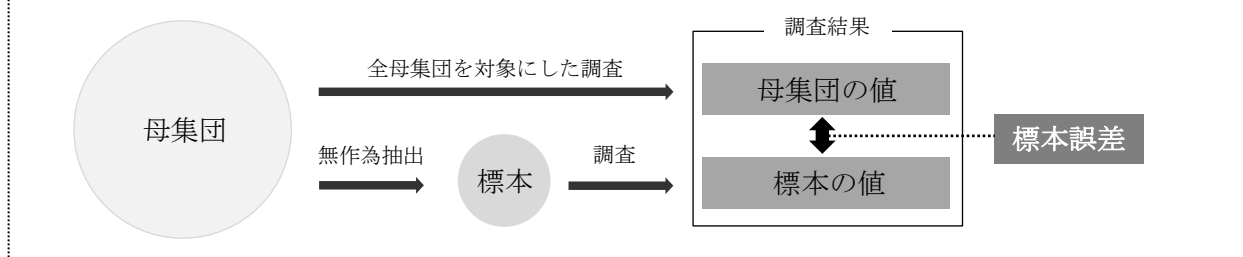
※標本誤差：母集団（人口）の回答と標本（アンケート有効回答数）の誤差

※信頼度：標本誤差が上式の範囲内に収まる確率

※信頼度 95%とは、100 回中 95 回は標本誤差の範囲内に収まることを表します。

※標本誤差 3%では、ある質問に対する賛成が 50%となったとしても、その信頼区間は 50% ± 3%の 47%から 53%の間になると考えられます。

【標本誤差の考え方】



② 調査票配布数の設定

本調査では、調査票の有効回収率を 40%と想定し、配布数ごとの標本誤差（信頼度 95%）を整理しました。その結果、2,000 票からは標本誤差が 3.5%となっており、本計画における調査票の配布数は妥当であると判断できます。

■ 標本数と標本誤差の関係

調査票配布数	1,000	2,000	3,000	4,000	5,000
標本数(回収率40%を想定)	400	800	1,200	1,600	2,000
母集団(人口)	146,907	146,907	146,907	146,907	146,907
ある設問でYesと答える人の割合	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
標本誤差(信頼度95%)	4.9%	3.5%	2.8%	2.4%	2.2%

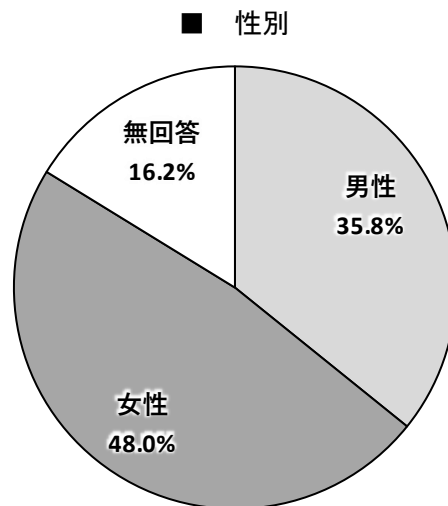
※人口は令和3年9月末時点の住民基本台帳

2 調査結果及び調査票等

(1) 基本属性

問1①：性別（1つ選択）

- ・性別は、「男性」が291人（35.8%）、「女性」が390人（48.0%）となっており、女性の方が高い割合となっています。

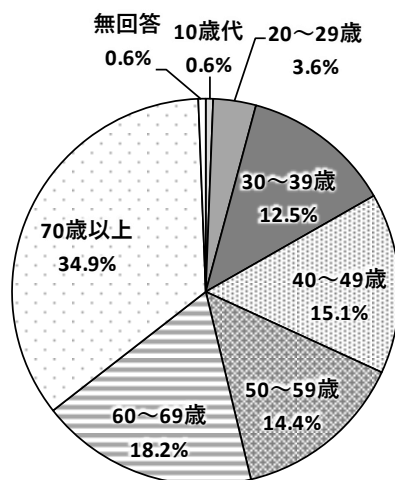


(n = 813)

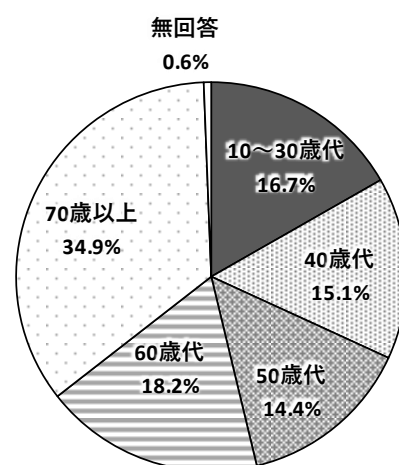
問1②：年齢（1つ選択）

- ・年齢は、「70歳以上」が284人（34.9%）と最も多く、次いで「60～69歳」が148人（18.2%）、「40～49歳」が123人（15.1%）となっています。
- ・60歳以上（「60歳代」及び「70歳以上」）が432人（53.1%）と過半数を占めています。

■ 年齢（再区分）



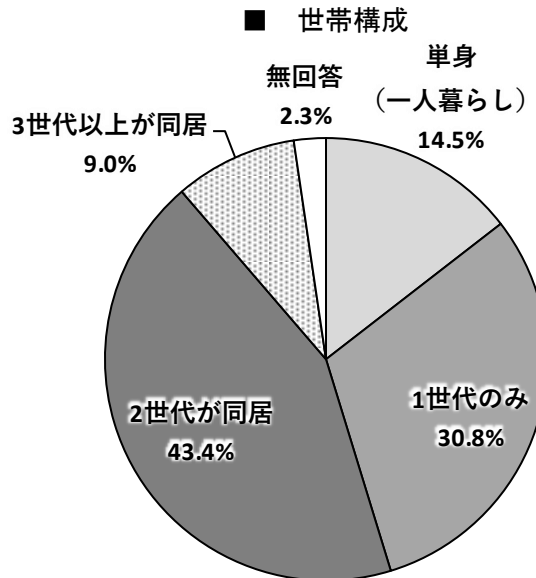
(n = 813)



(n = 813)

問1③：世帯構成（1つ選択）

- ・世帯構成は、「2世代が同居」が353人（43.4%）と最も多く、次いで「1世代のみ」が250人（30.8%）、「単身（一人暮らし）」が118人（14.5%）となっています。

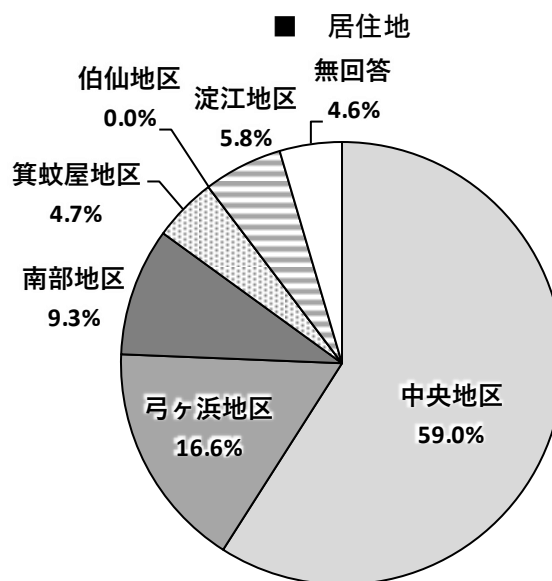


(n = 813)

(2) お住まいの地域について

問2：お住まいの地区（1つ選択）

- ・居住している地区は「中央地区」が480人（59.0%）と最も多く、次いで「弓ヶ浜地区」が135人（16.6%）、「南部地区」が76人（9.3%）、「箕蚊屋地区」が38人（4.7%）となっています。

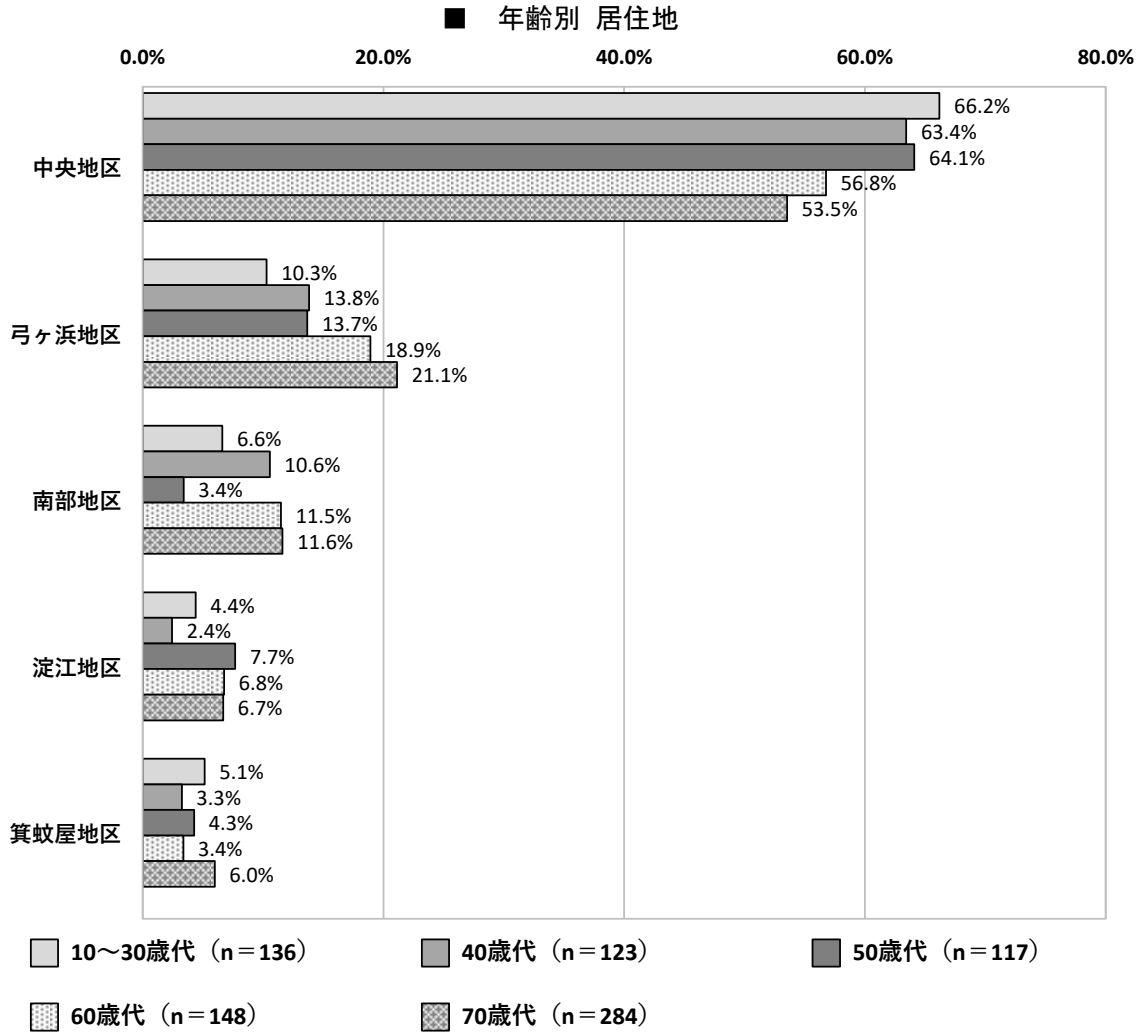


(n = 813)

※「不明」と回答された方は、大字名または郵便番号から地区を判断

(年齢別)

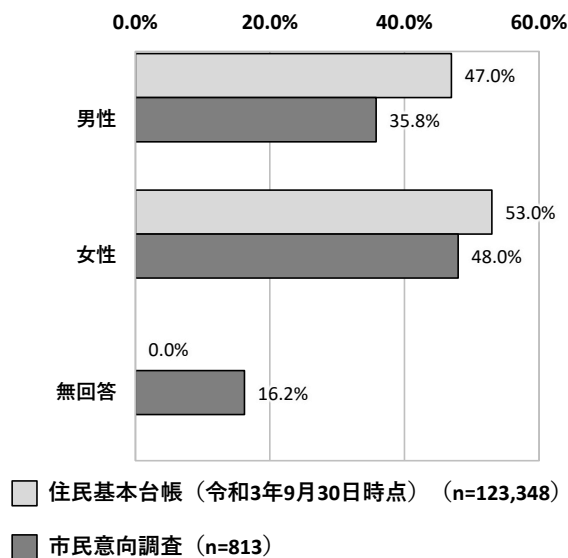
- ・居住地を年齢別にみると、中央地区では若干若い世代の割合が多くなっており、弓ヶ浜地区では高齢になるほど割合が多くなっています。



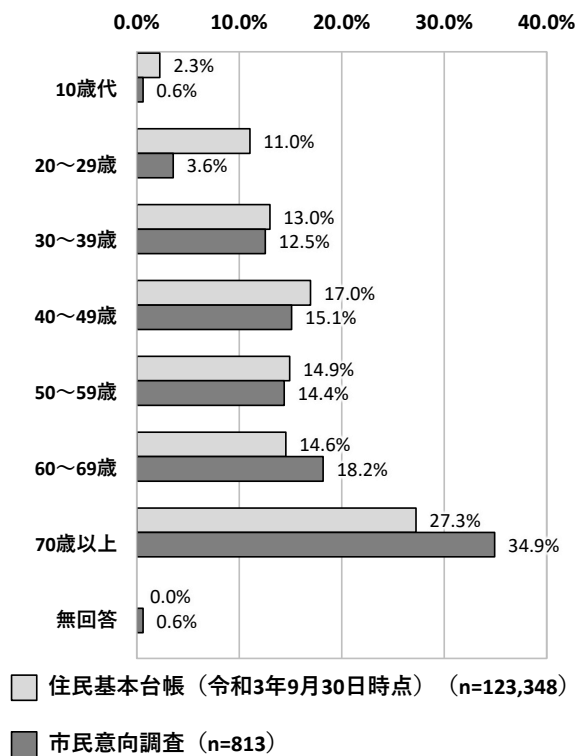
(参考) 住民基本台帳との比較

- 本アンケートの回答者属性について、米子市の住民基本台帳（令和3年9月30日時点）と比較すると、年齢については20歳代が少なく、70歳代以上が多くなっていますが、その他は概ね同様の分布を示しています。

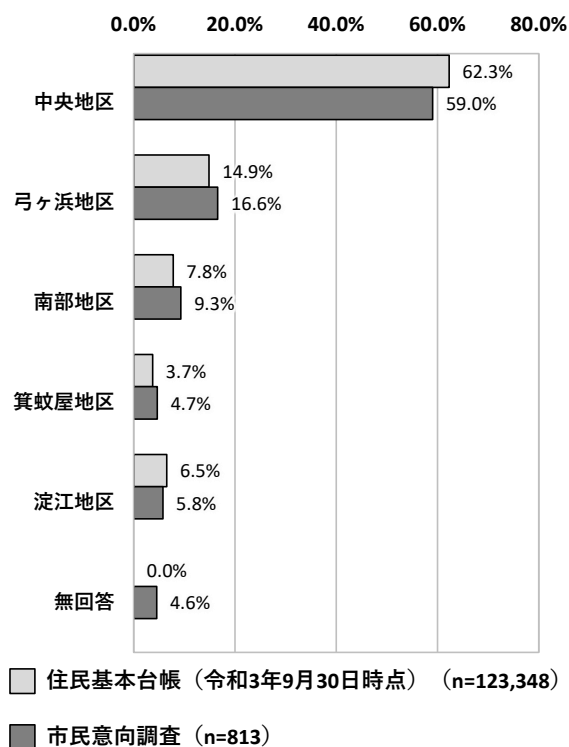
■ 性別の比較



■ 年齢の比較



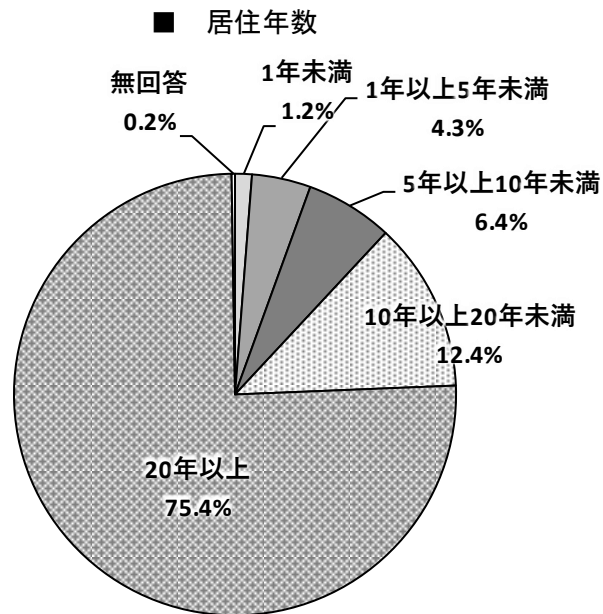
■ 居住地の比較



※住民基本台帳の町丁について、両三柳・上後藤は中央地区、河崎は弓ヶ浜地区として集計
 ※居住地の比較は都市計画区域のみを対象（住民基本台帳における伯仙地区の割合は4.7%）

問3：居住年数（1つ選択）

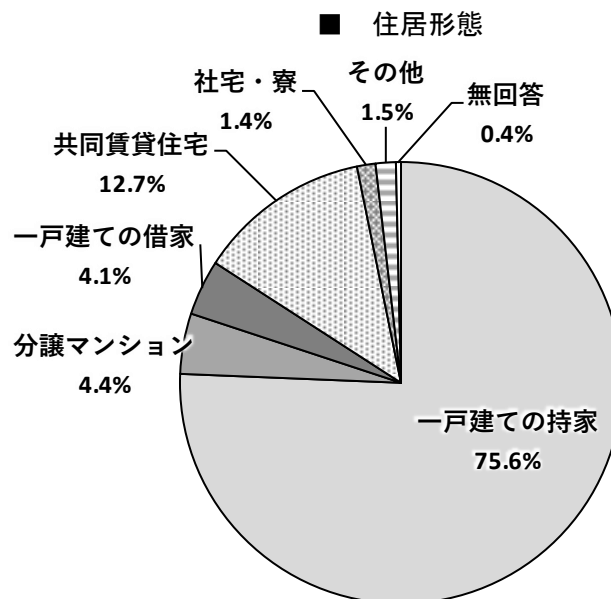
- ・居住年数は、「20年以上」が613人（75.4%）と最も多く、次いで「10年以上20年未満」が101人（12.4%）、「5年以上10年未満」が52人（6.4%）となっており、長期にわたり米子市に居住している方が多くなっています。



(n = 813)

問4：住居形態（1つ選択）

- ・住居形態は、「一戸建ての持家」が615人（75.6%）と最も多く、次いで「共同賃貸住宅」が103人（12.7%）、「分譲マンション」が36人（4.4%）となっています。

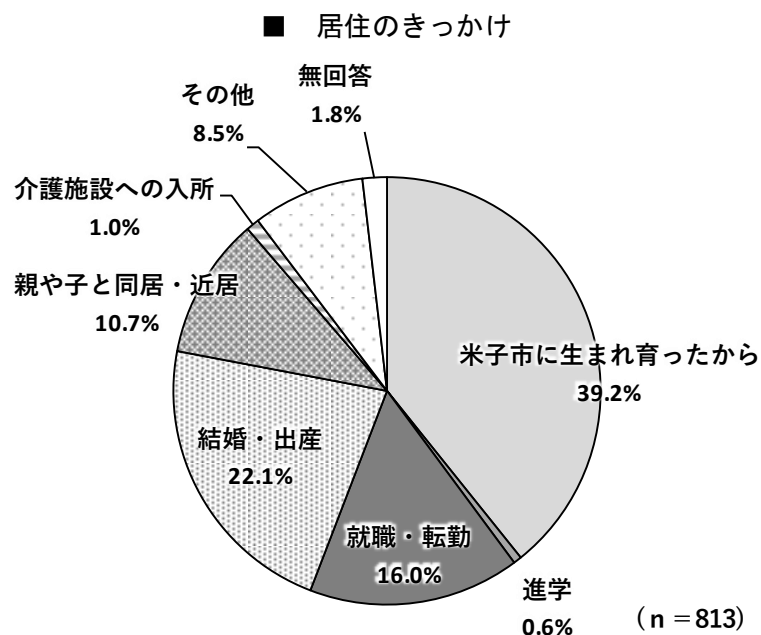


(n = 813)

(3) 定住・住み替え意向について

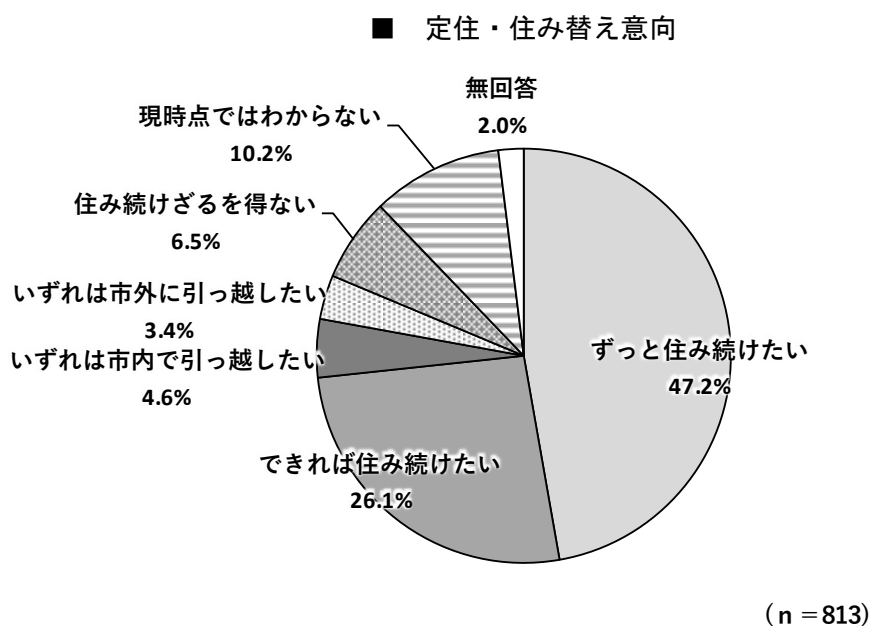
問5：お住まいの場所に住んでいるきっかけ（1つ選択）

・居住のきっかけは、「米子市に生まれ育ったから」が319人（39.2%）と最も多く、次いで「結婚・出産」が180人（22.1%）、「就職・転勤」が130人（16.0%）となっています。



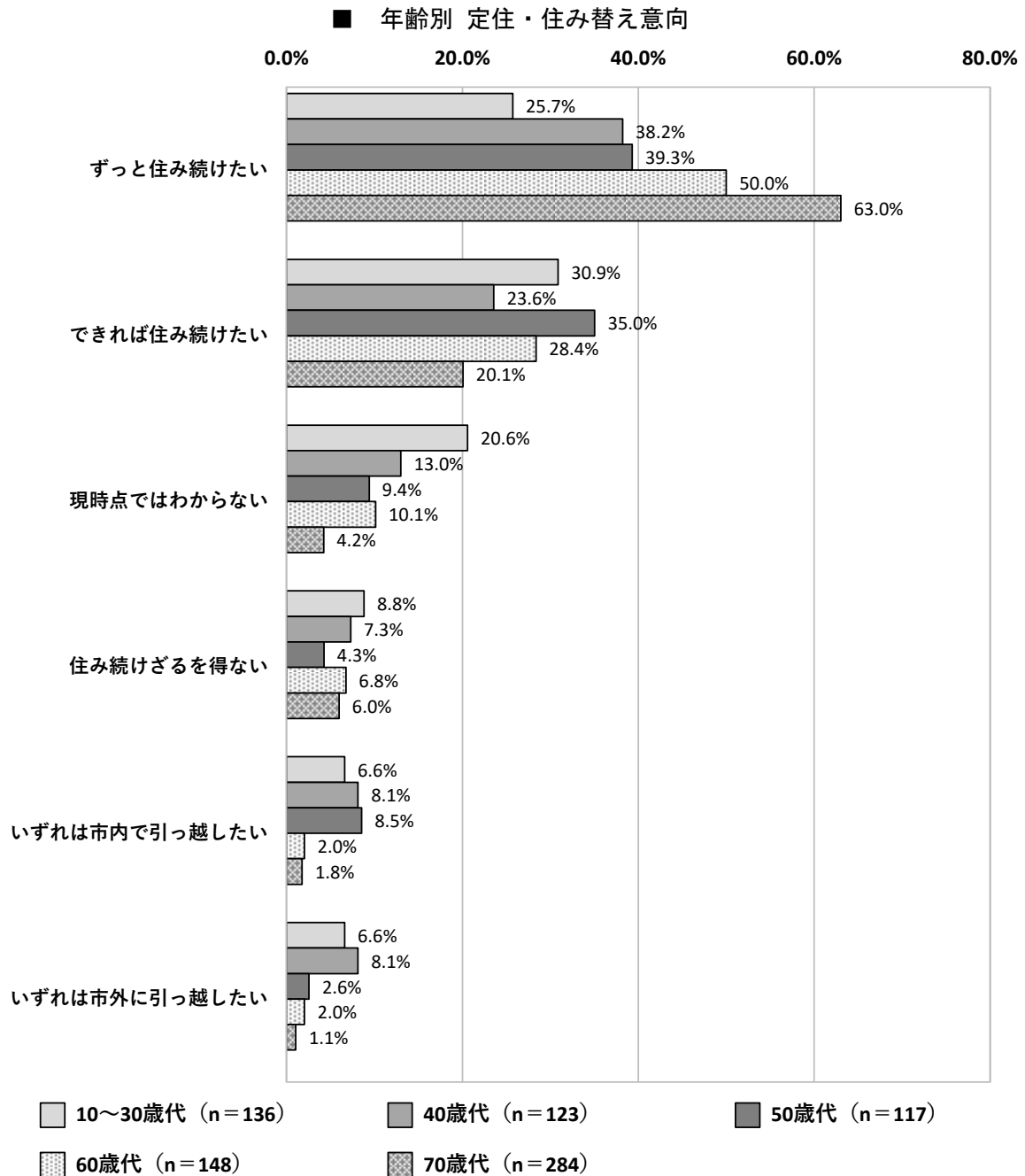
問6：お住まいの場所の定住・住み替え意向（それぞれ1つ選択）

・定住・住み替えの意向は、「ずっと住み続けたい」が384人（47.2%）と最も多く、次いで「できれば住み続けたい」が212人（26.1%）、「現時点ではわからない」が83人（10.2%）となっており、米子市に住み続けたいと考える方が過半数を占めていました。



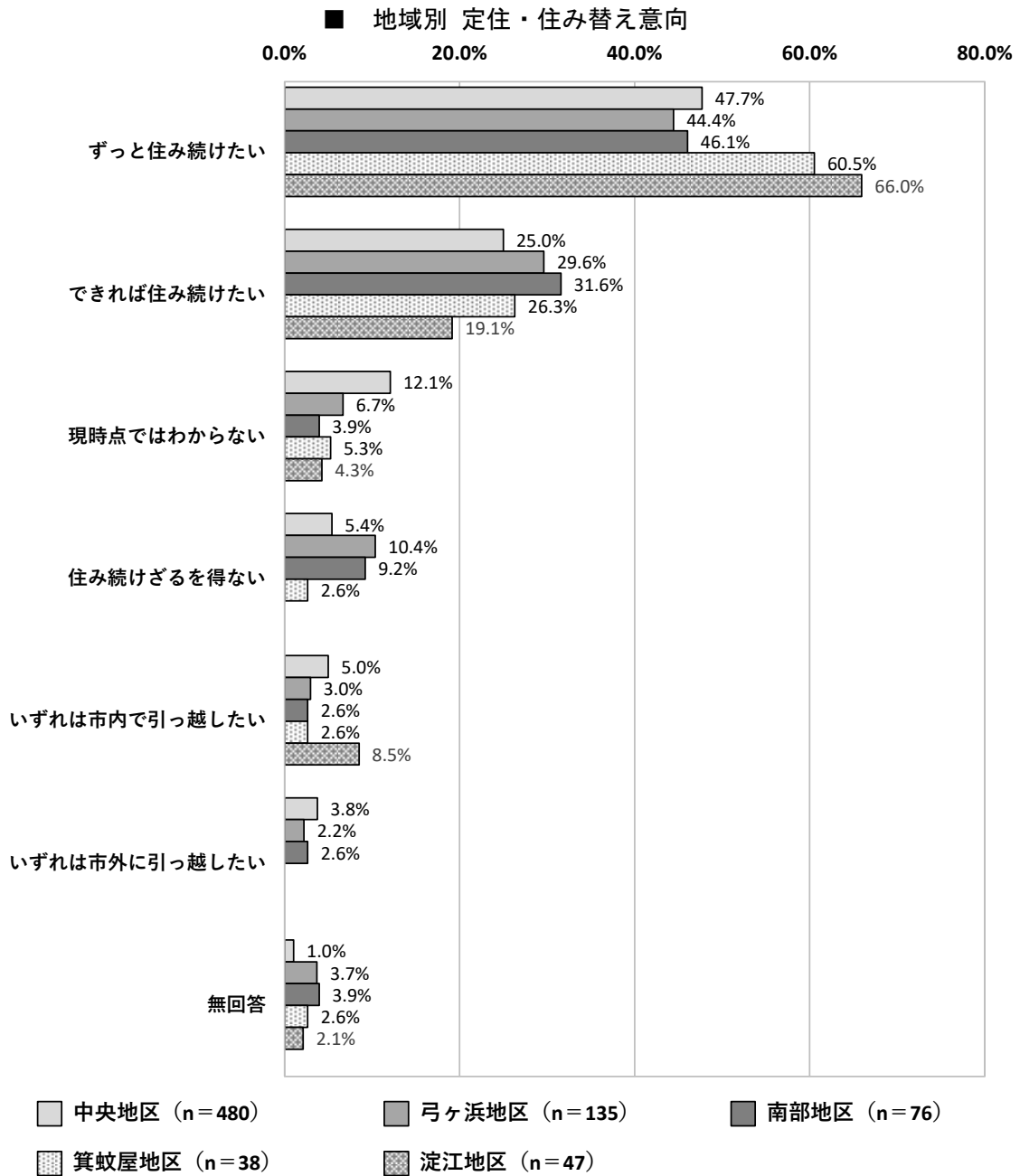
(年齢別)

- ・年齢別にみると、「ずっと住み続けたい」と回答された方は、高齢になるほど割合が多くなっています。
- ・「現時点ではわからない」や「いずれは市内で引っ越したい」、「いずれは市外に引っ越したい」については、若い世代の回答が比較的多くなっています。



(地域別)

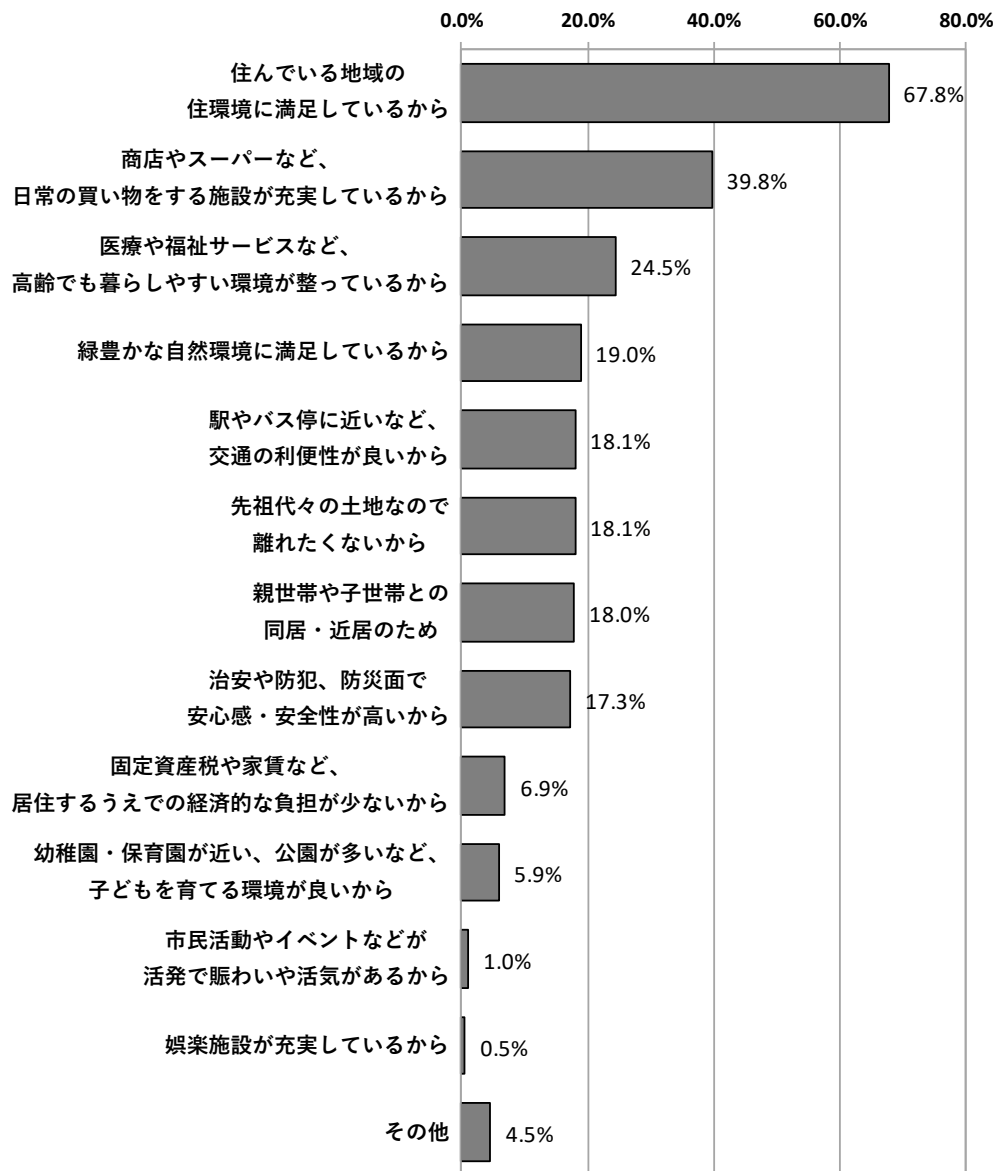
- ・地域別にみると、「ずっと住み続けたい」と回答された方は、箕蚊屋地区や淀江地区の割合が比較的多くなっています。
- ・弓ヶ浜地区や南部地区の方は、「ずっと住み続けたい」や「住み続けざるを得ない」の割合が比較的多くなっています。
- ・中央地区の方は、「現時点ではわからない」が比較的多くなっています。



問7：住みたい理由（最大3つまで選択）

- ・問6で「ずっと住みたい」又は「できれば住みたい」と回答した596人にその理由を尋ねたところ、「住んでいる地域の住環境に満足しているから」が404人（67.8%）と最も多く、次いで「商店やスーパーなど、日常の買い物をする施設が充実しているから」が237人（39.8%）、「医療や福祉サービスなど、高齢でも暮らしやすい環境が整っているから」が146人（24.5%）となっています。

■ 住みたい理由（複数回答）

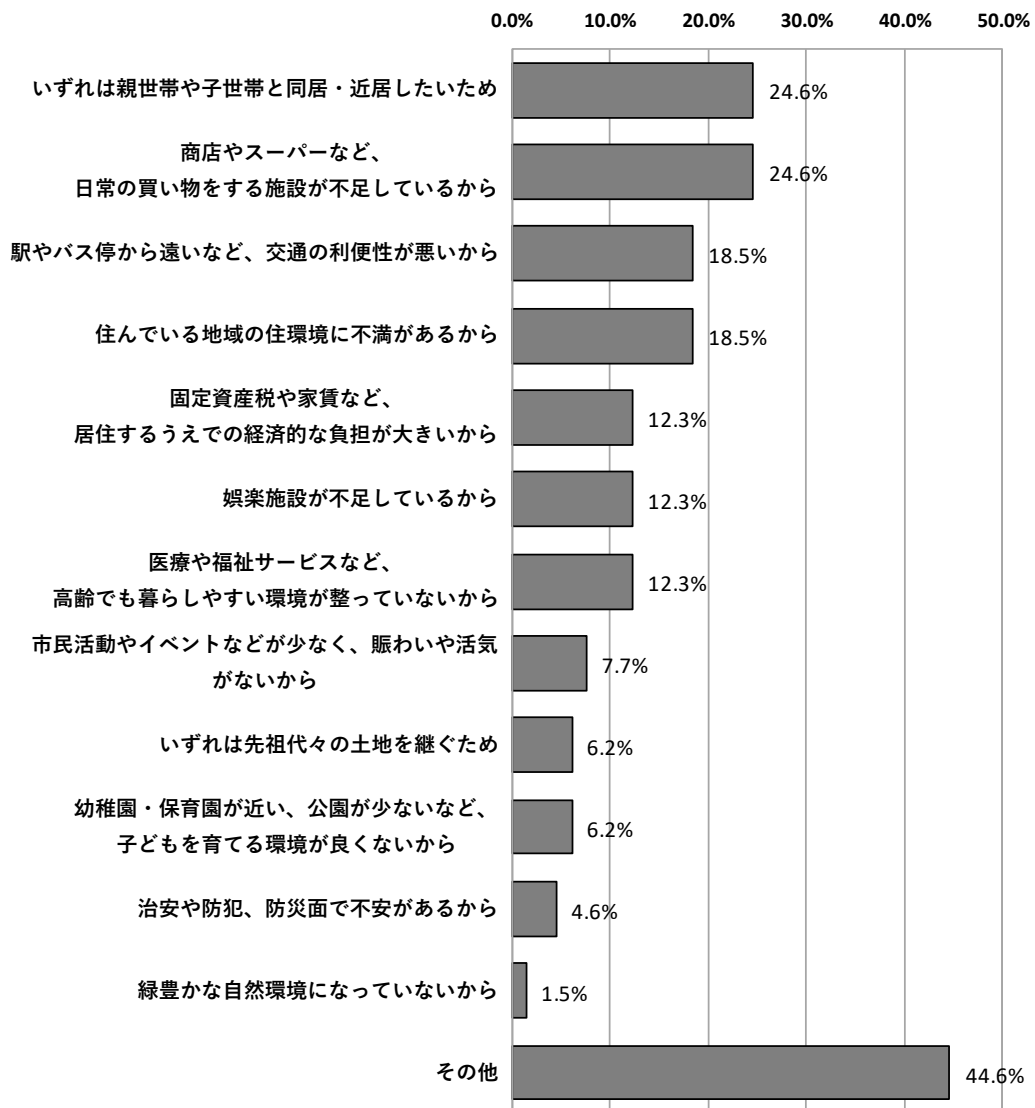


(n = 596)

問8：引っ越したい理由（最大3つまで選択）

- ・問6で「いずれは市内で引っ越したい」又は「いずれは市外に引っ越したい」と回答した65人にその理由を尋ねたところ、「いずれは親世帯や子世帯と同居・近居したいため」、「商店やスーパーなど、日常の買い物をする施設が不足しているから」が同数で16人（24.6%）と最も多く、次いで「駅やバス停から遠いなど、交通の利便性が悪いから」、「住んでいる地域の住環境に不満があるから」が同数で12人（18.5%）となっています。

■ 引っ越したい理由（複数回答）

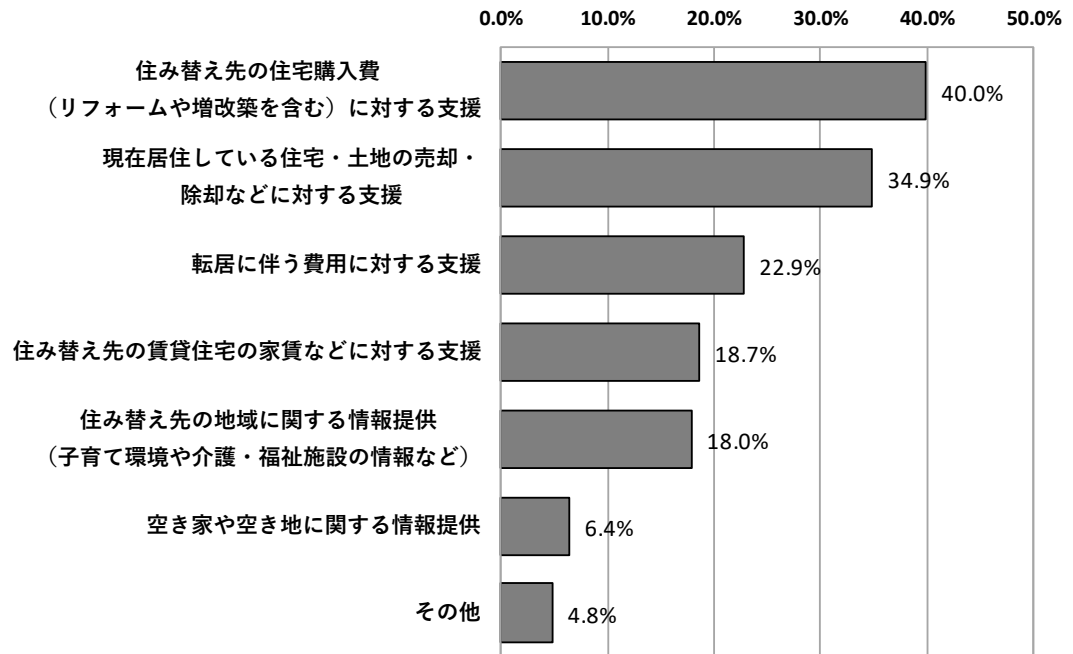


(n = 65)

問9：住み替えの際に活用したい支援（最大2つまで選択）

- ・住み替えの際に活用したい支援は、「住み替え先の住宅購入費（リフォームや増改築を含む）に対する支援」が325人（40.0%）と最も多く、次いで「現在居住している住宅・土地の売却・除却などに対する支援」が284人（34.9%）、「転居に伴う費用に対する支援」が186人（22.9%）となっています。

■ 活用したい支援（複数回答）

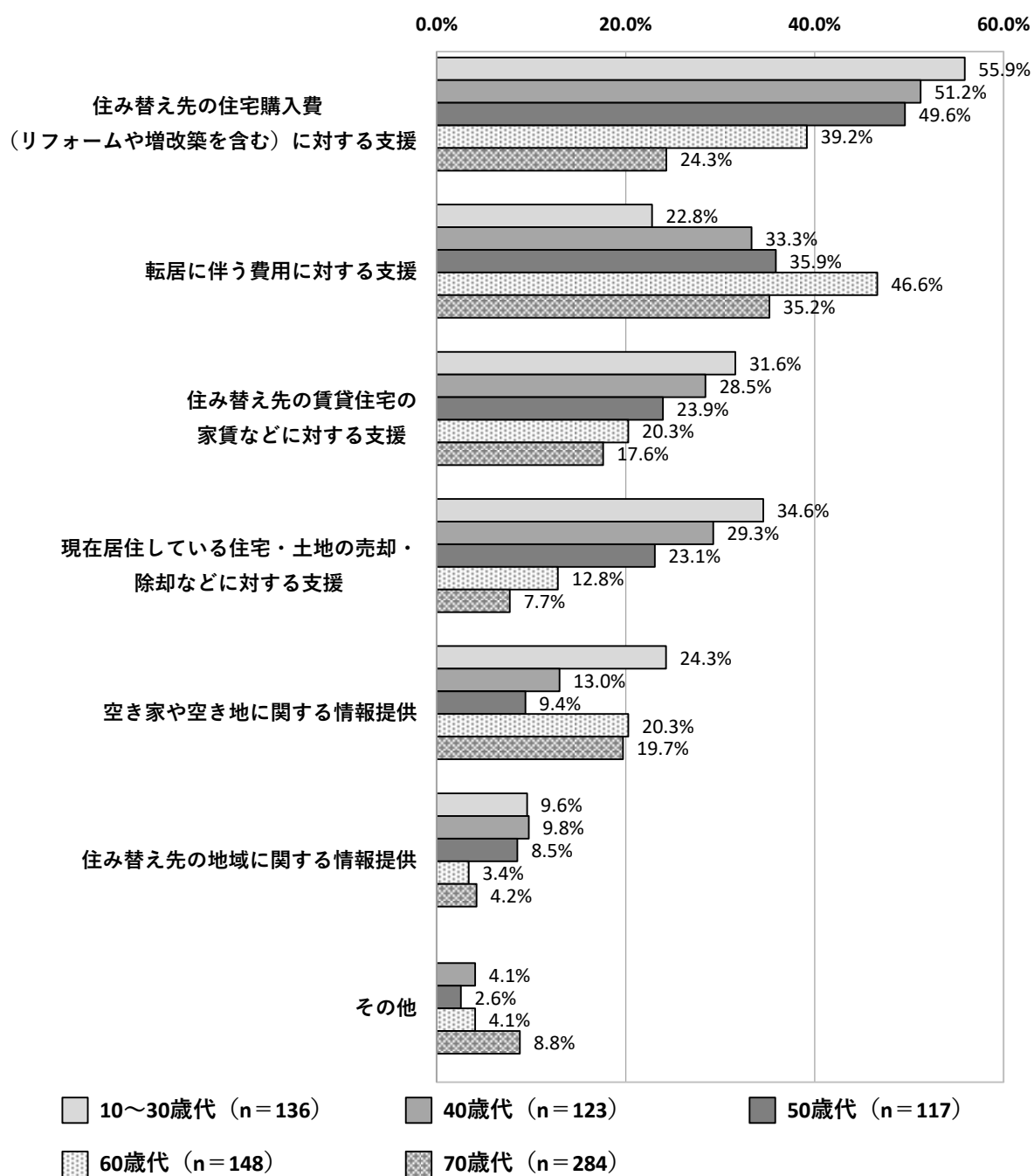


(n = 813)

(年齢別)

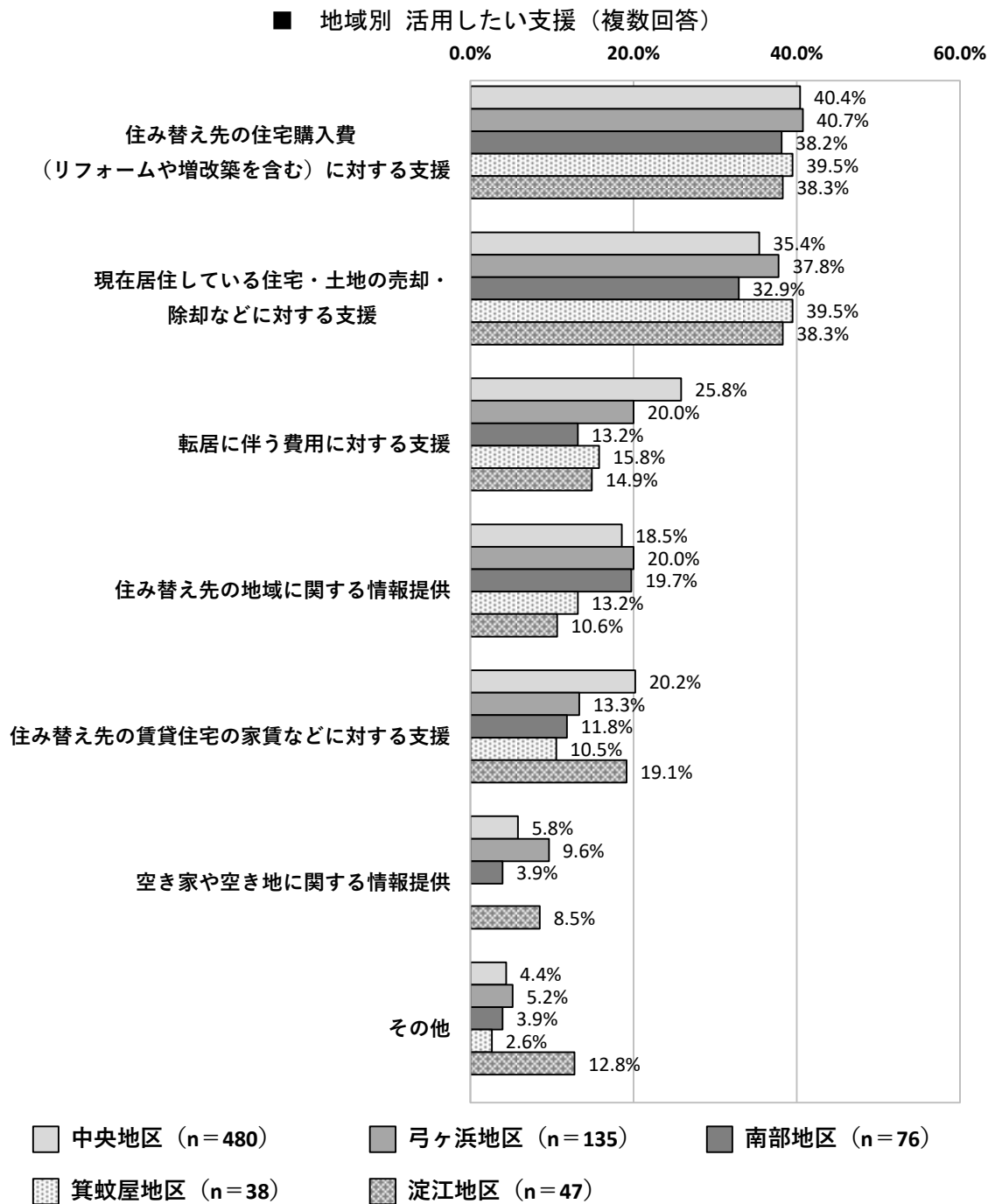
- ・年齢別にみると、50歳代以下は「住み替え先の住宅購入費（リフォームや増改築を含む）に対する支援」が最も多くなっていますが、60歳代以上は「転居に伴う費用に対する支援」が多くなっています。
- ・「住み替え先の賃貸住宅の家賃などに対する支援」や「現在居住している住宅・土地の売却・除却などに対する支援」については、年齢が若くなるほど割合が多くなっています。

■ 年齢別 活用したい支援（複数回答）



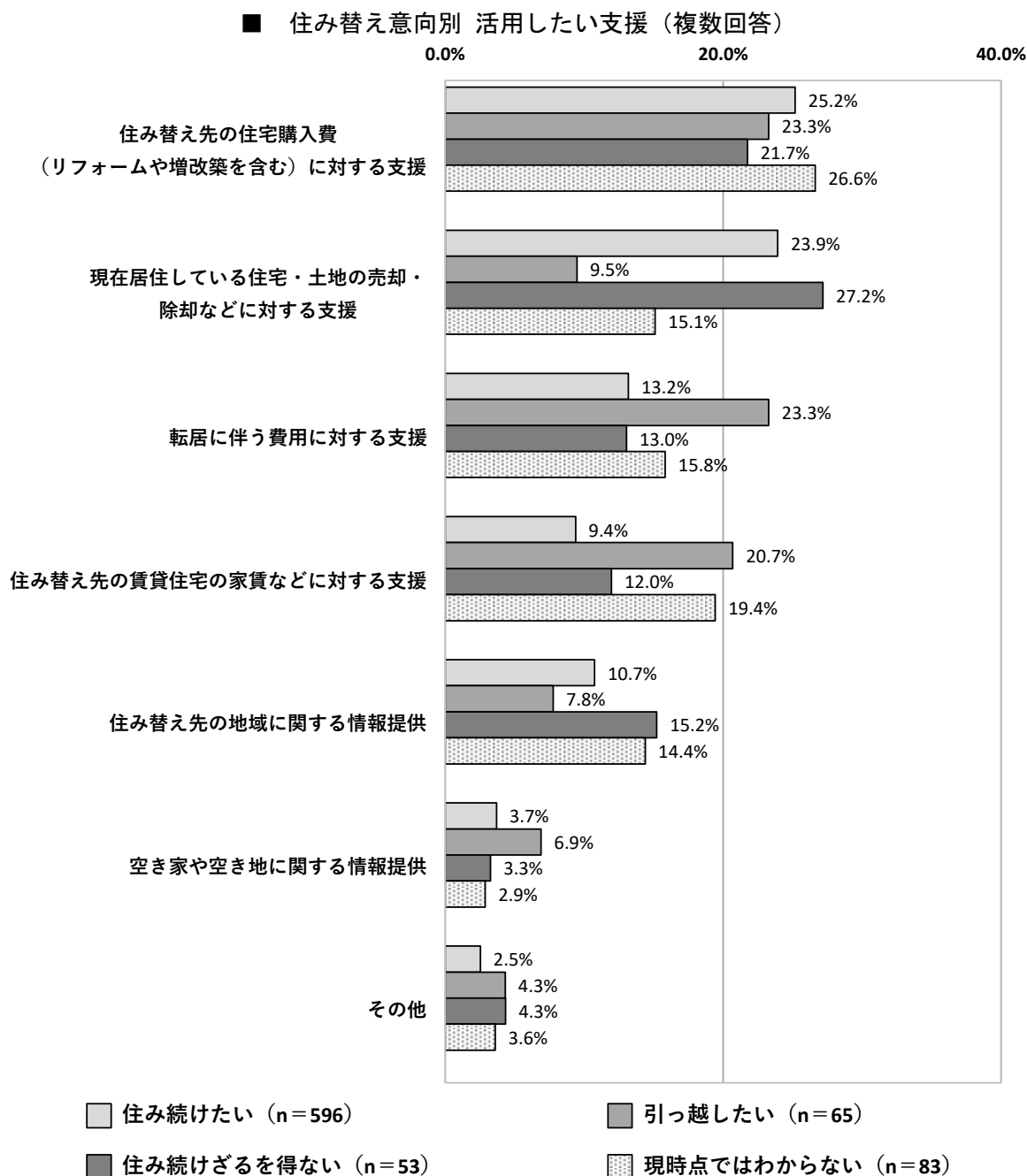
(地域別)

- ・地域別にみると、あまり大きな差はみられませんが、箕蚊屋地区や淀江地区では、「現在居住している住宅・土地の売却・除却などに対する支援」の割合が比較的多くなっています。
- ・中央地区では「転居に伴う費用に対する支援」や「住み替え先の賃貸住宅の家賃などに対する支援」等が他の地域に比べて多くなっています。



(住み替え意向別)

- ・住み替え意向別にみると、引っ越したいと回答した方は「現在居住している住宅・土地の売却・除却などに対する支援」が少ない一方、「転居に伴う費用に対する支援」や「住み替え先の賃貸住宅の家賃などに対する支援」が多くなっています。

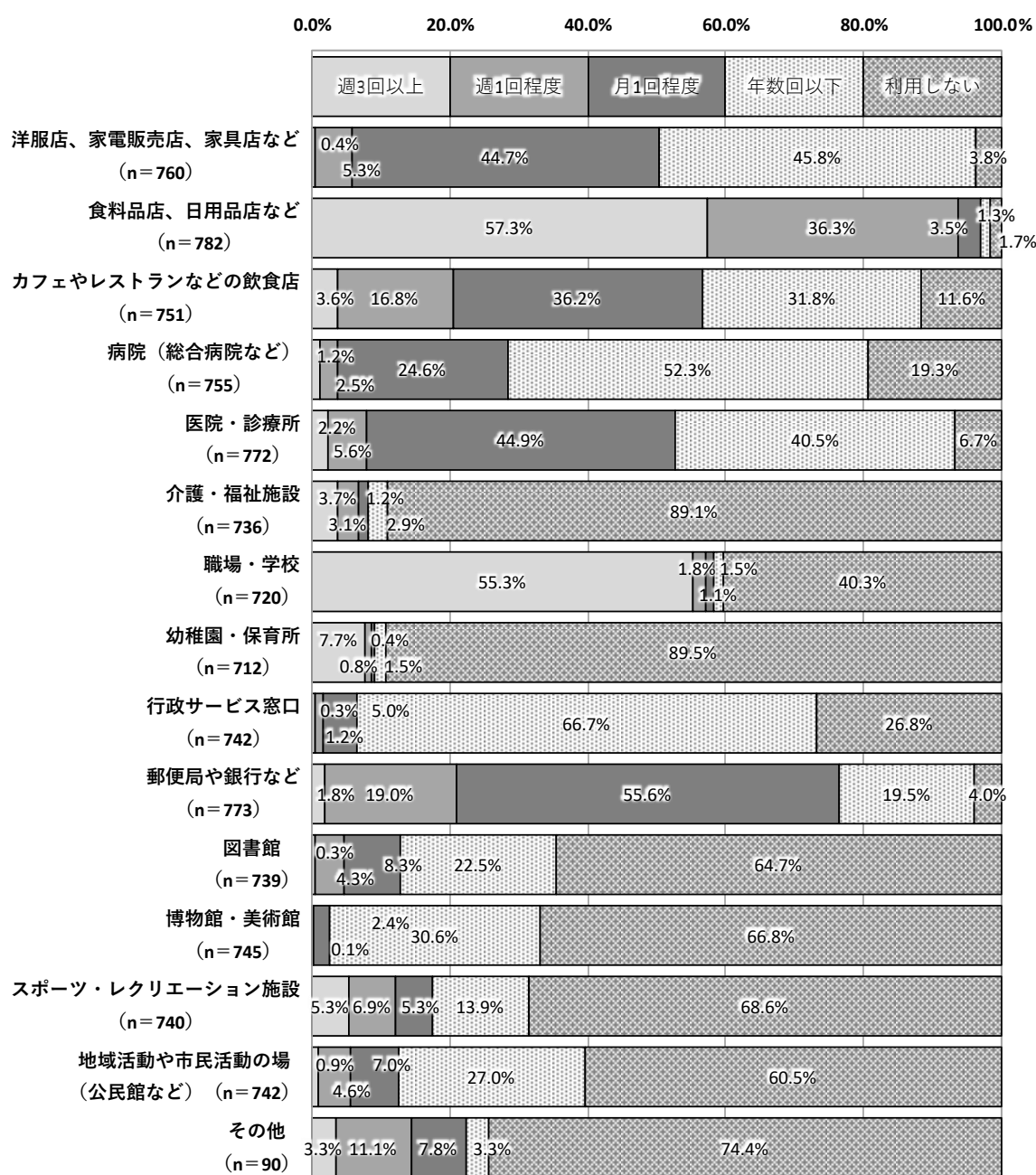


(4) 米子市に立地する施設について

問 10①：商業施設や公共公益施設などの利用頻度（それぞれ1つ選択）

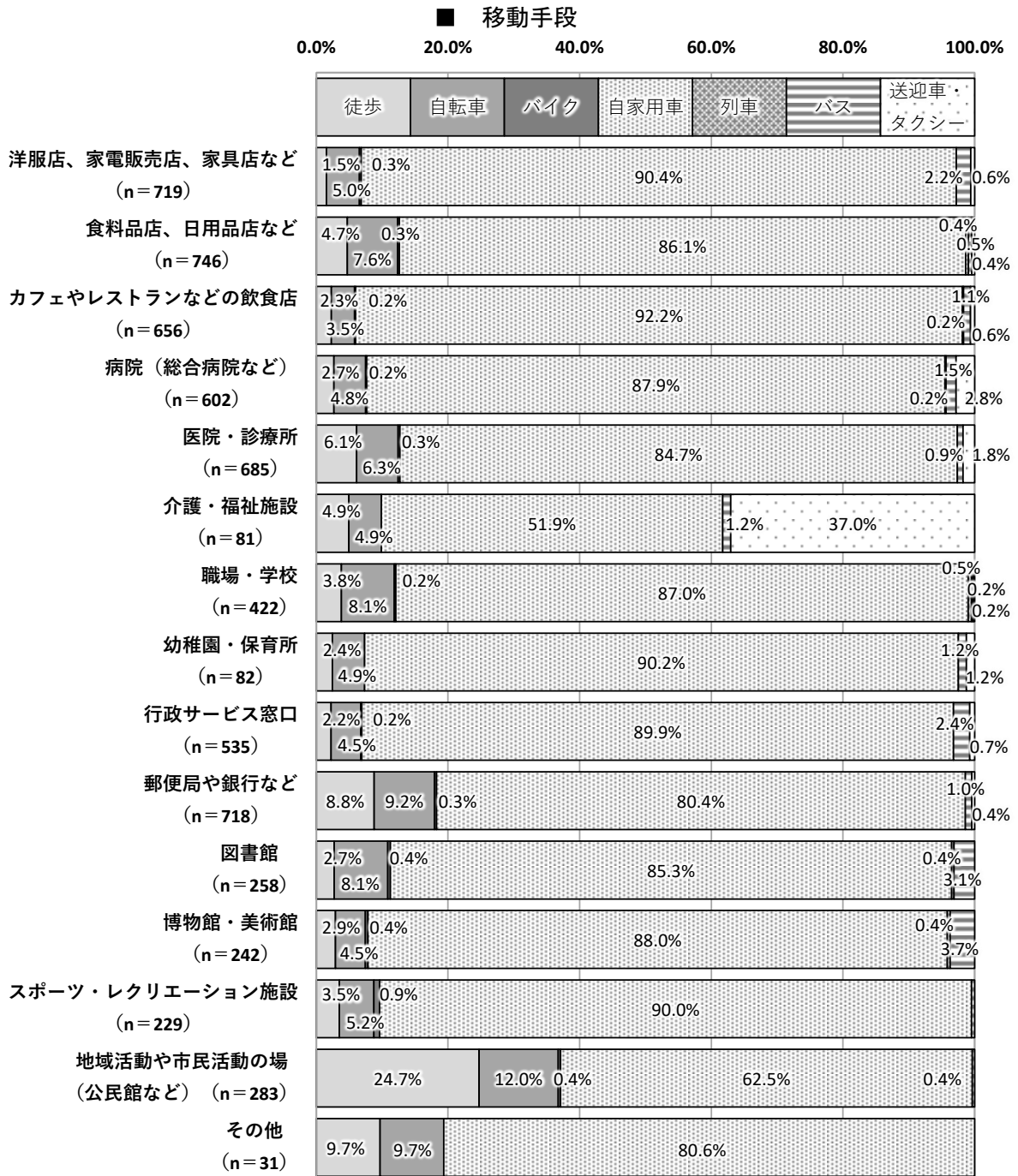
- ・米子市に立地する施設の利用頻度をみると、「食料品店、日用品店など」や「職場・学校」では、「週3回以上」が最も多くなっています。
- ・「洋服店、家電販売店、家具店など」や「カフェやレストランなどの飲食店」、「病院（総合病院など）」、「医院・診療所」、「郵便局や銀行など」では、「月1回程度」となっています。
- ・一方で、「介護・福祉施設」や「幼稚園・保育所」は利用者が限られているため、「利用しない」の割合が約9割を占めているほか、「図書館」や「博物館・美術館」、「スポーツ・レクリエーション施設」、「地域活動や市民活動の場（公民館など）」も過半数が「利用しない」となっています。

■ 利用頻度



問 10②：商業施設や公共公益施設などの主な移動手段（それぞれ1つ選択）

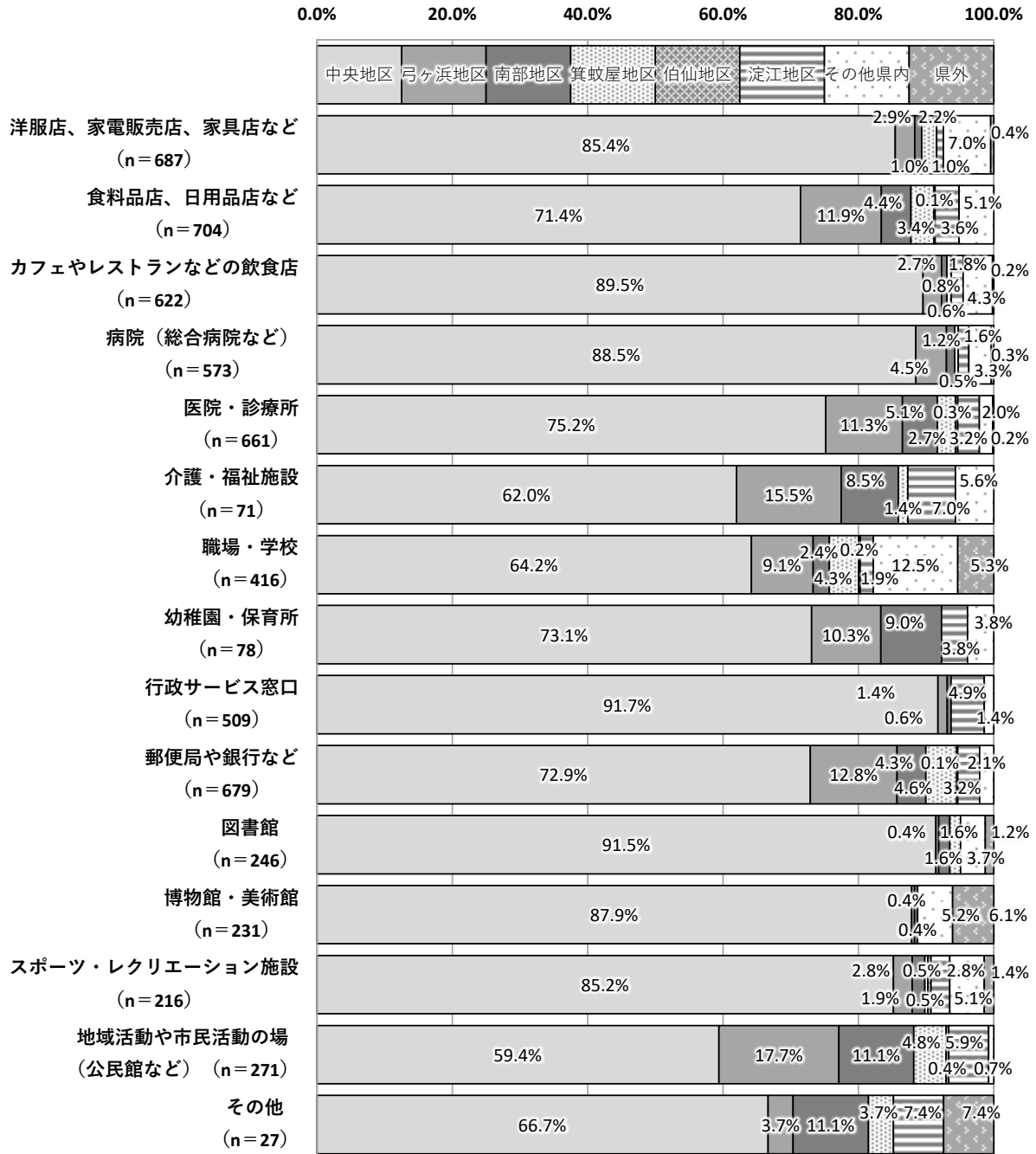
- ・各施設への主な移動手段で大多数の方が利用するものは「自家用車」となっています。
- ・一方で、「介護・福祉施設」への移動は「送迎車・タクシー」を利用する方が多くなっています。
- ・バスや列車などの公共交通手段を利用する方は、各施設ともに少なくなっています。



問 10③：商業施設や公共公益施設などの主な利用場所（それぞれ1つ選択）

- ・各施設の主な利用場所で最も多い回答は、「中央地区」となっています。
- ・一方で、「地域活動や市民活動の場（公民館など）」、「介護・福祉施設」、「職場・学校」など、中央地区以外の場所でも施設を利用する回答もありました。

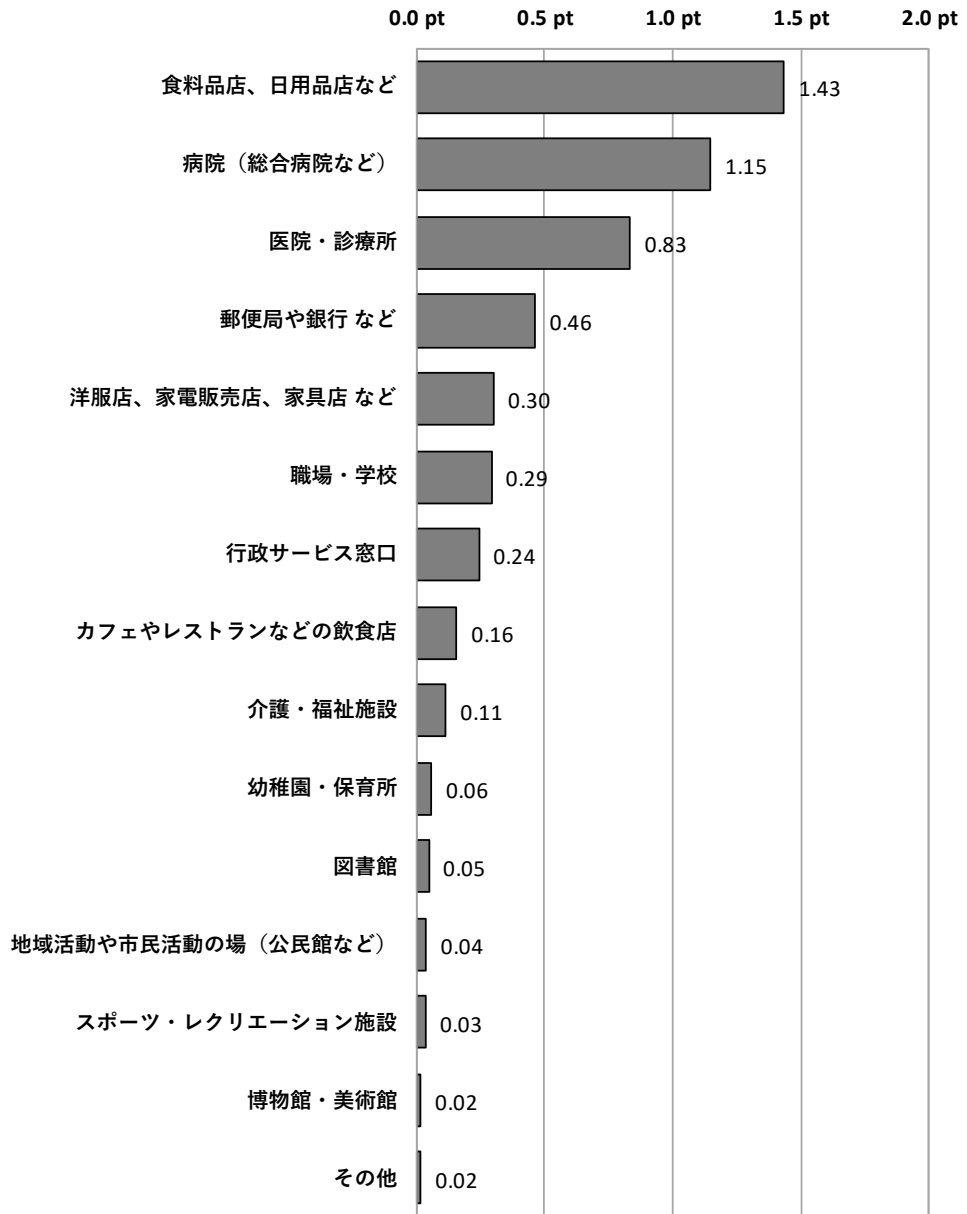
■ 利用場所



問 11①：市内に必要な施設（優先順位をつけて最大3つまで選択）

- ・市内に必要で優先度が高い施設の調査結果の点数化※を行い比較すると、「食料品店、日用品店など」が 1.43pt で最も優先度が高く、次いで「病院（総合病院など）」が 1.15pt、「医院・診療所」が 0.83pt となっています。

■ 市内に必要な施設（複数回答）



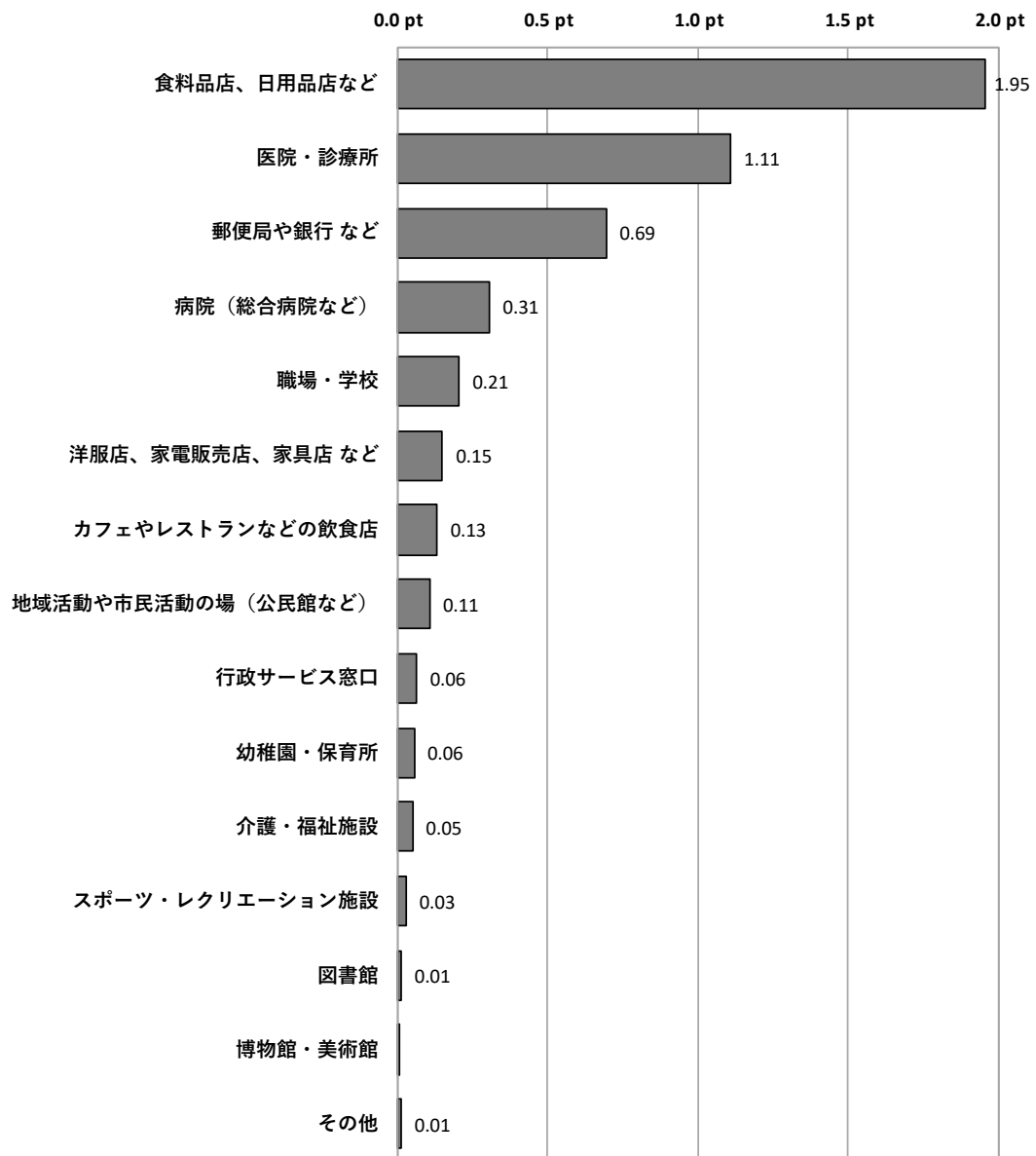
(n = 813)

※1番=3点、2番=2点、3番=1点とし、それぞれの回答者数に点数を乗じたものを合算し、回答者一人あたりに割り戻した値。
※無回答を除く。

問 11②：市内及び自宅から徒歩圏内（自宅から約 800m 圏内）に必要な施設（優先順位をつけて最大3つまで選択）

- ①同様に市内及び徒歩圏内に必要で優先度が高い施設の調査結果の点数化を行い比較すると、「食料品店、日用品店など」が 1.95pt で最も優先度が高く、次いで「医院・診療所」が 1.11pt、「郵便局や銀行など」が 0.69pt となっています。

■ 市内及び徒歩圏内に必要な施設（複数回答）



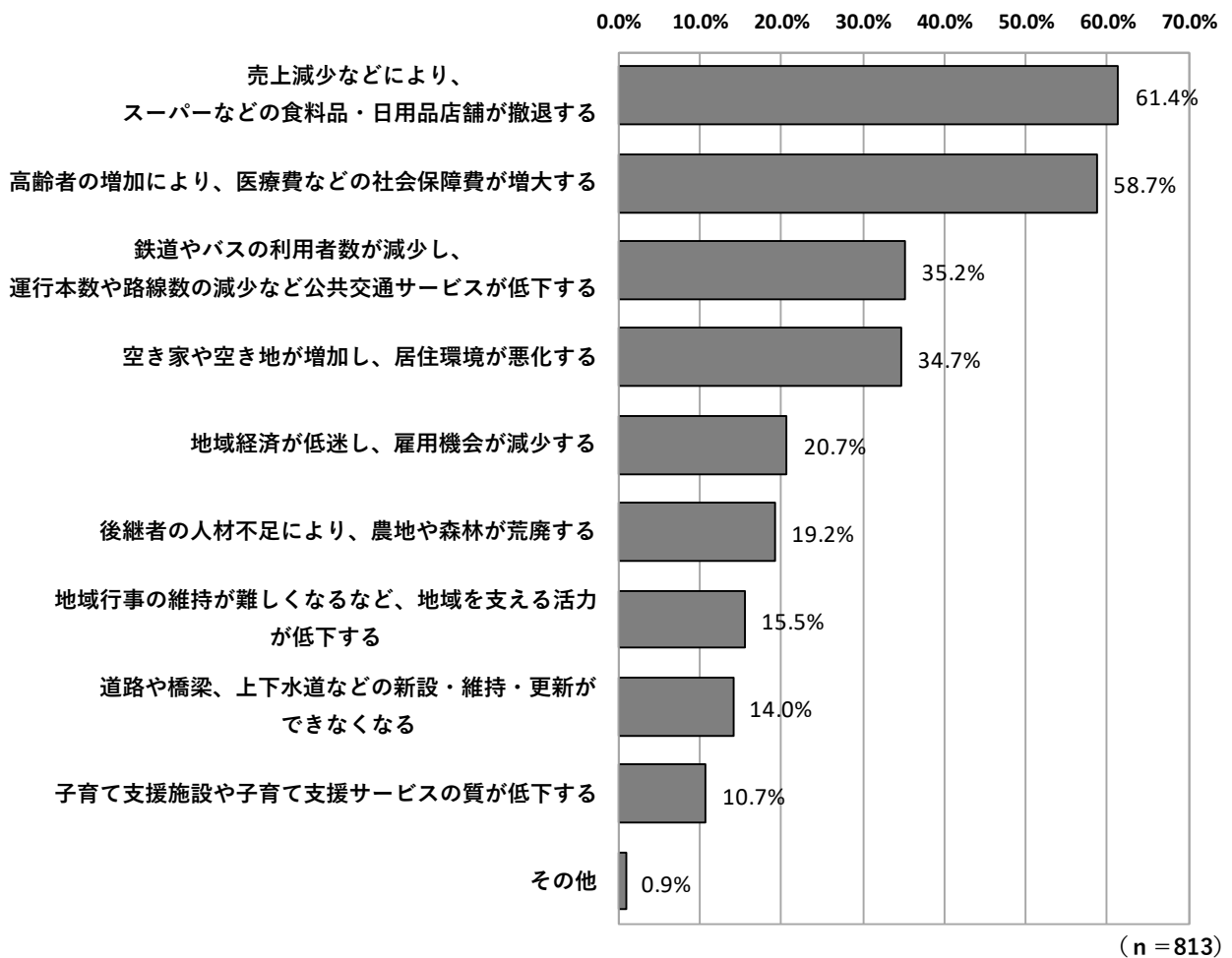
(n = 813)

(5) 今後のまちづくりについて

問 12：人口減少や高齢化の進行により予想される影響（最大3つまで選択）

- ・人口減少・高齢化の進行により予想される影響は、「売上減少などにより、スーパーなどの食料品・日用品店舗が撤退する」が 499 人（61.4%）と最も多く、次いで「高齢者の増加により、医療費などの社会保障費が増大する」が 477 人（58.7%）、「鉄道やバスの利用者数が減少し、運行本数や路線数の減少など公共交通サービスが低下する」が 286 人（35.2%）、「空き家や空き地が増加し、居住環境が悪化する」が 282 人（34.7%）となっています。

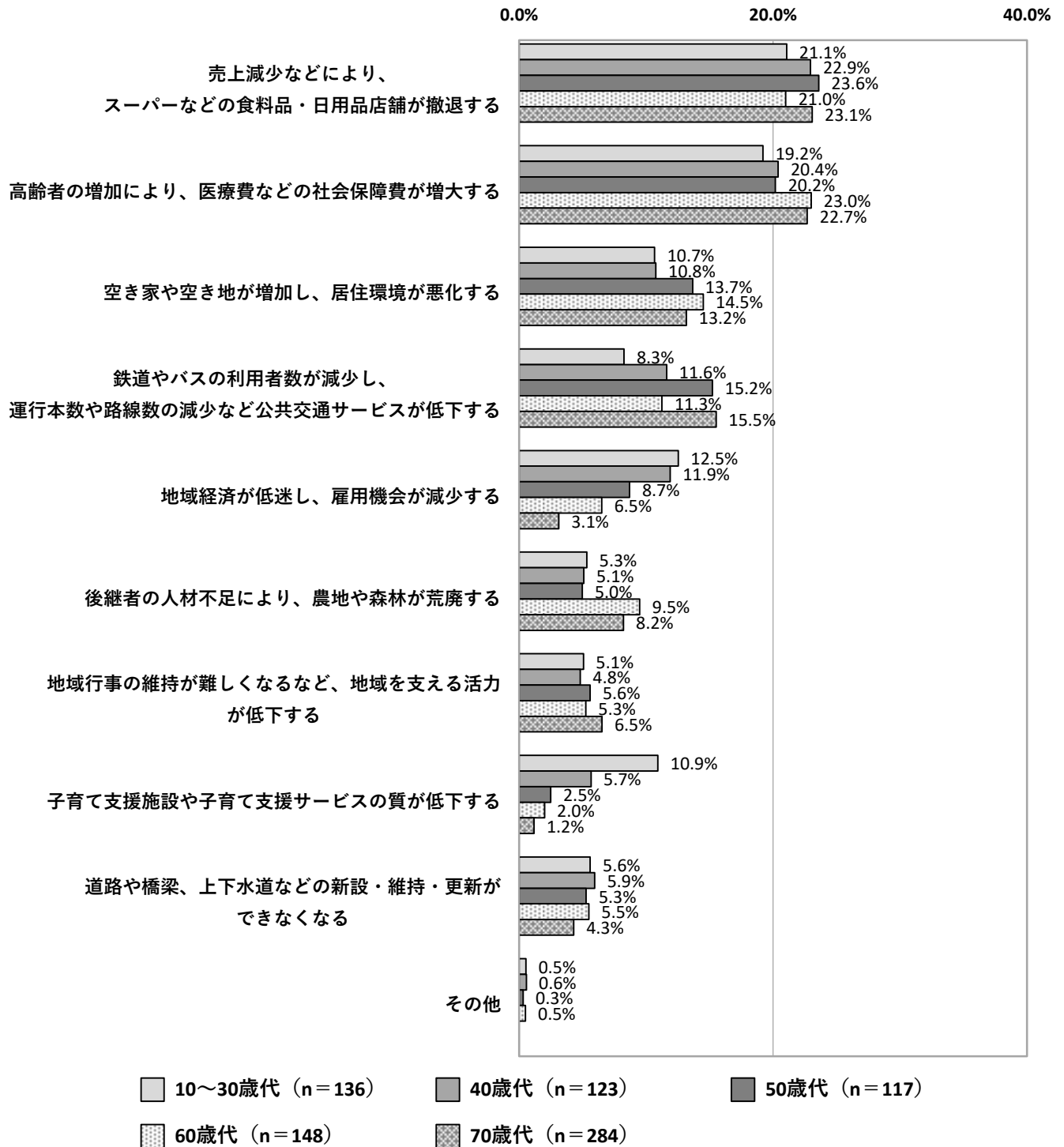
■ 人口減少・高齢化の影響（複数回答）



(年齢別)

- ・「鉄道やバスの利用者数が減少し、運行本数や路線数の減少など公共交通サービスが低下する」は50歳代及び70歳代の、回答が多くなっています。
- ・一方で、「地域経済が低迷し、雇用機会が減少する」や「子育て支援施設や子育て支援サービスの質が低下する」については、若い世代の回答が多くなっています。

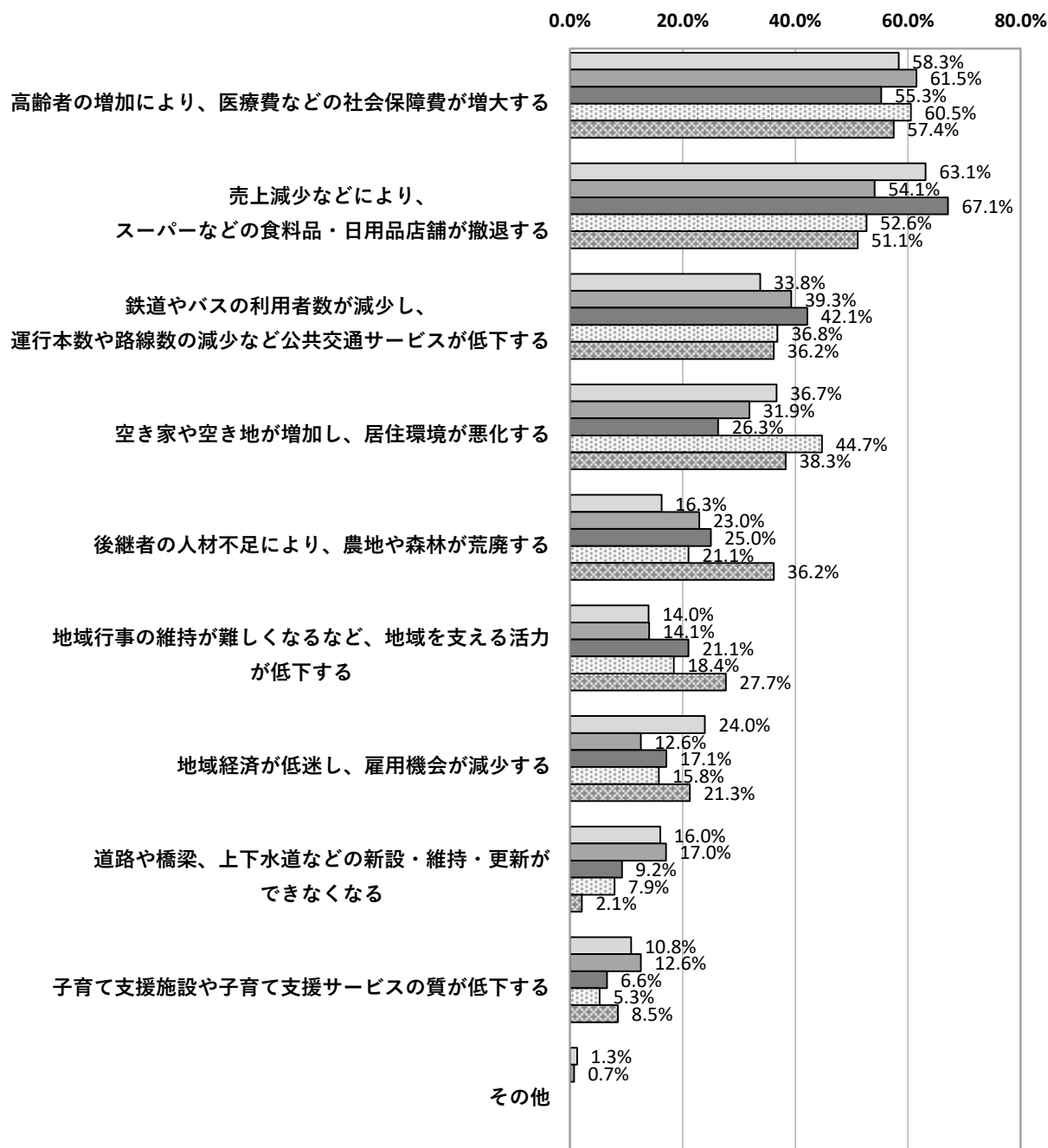
■ 年齢別 人口減少・高齢化の影響（複数回答）



(地域別)

- ・地域別にみると、「空き家数や空き地が増加し、居住環境が悪化する」は、箕蚊屋地区では、他の項目に比べて回答の割合が比較的多くなっています。
- ・また、淀江地区は、「後継者の人材不足により、農地や森林が荒廃する」の割合も比較的多くなっています。

■ 地域別 人口減少・高齢化の影響（複数回答）



□ 中央地区 (n=480)

■ 弓ヶ浜地区 (n=135)

■ 南部地区 (n=76)

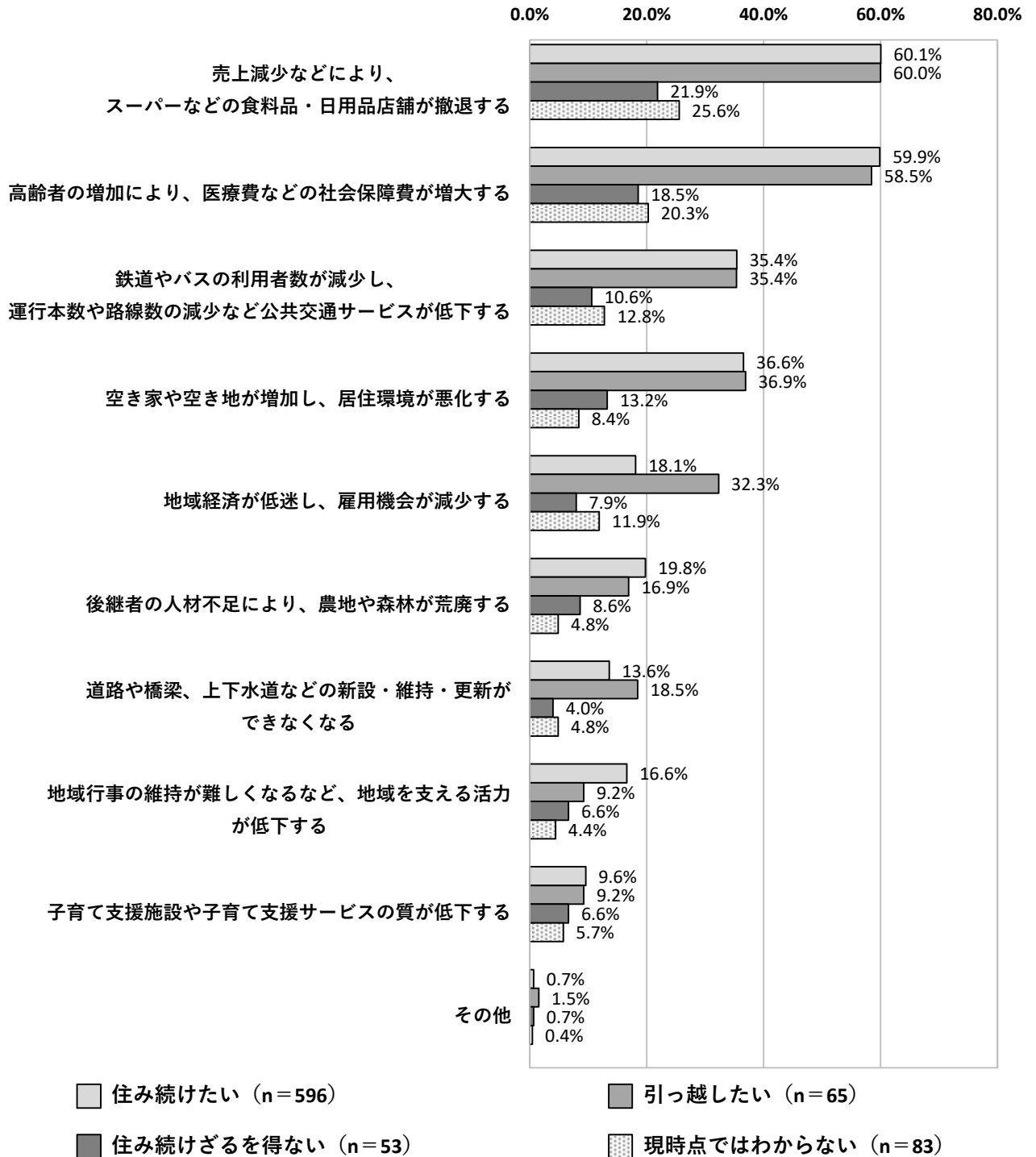
▨ 箕蚊屋地区 (n=38)

▨ 淀江地区 (n=47)

(住み替え意向)

・住み替え意向別にみると、あまり大きな差はみられません。

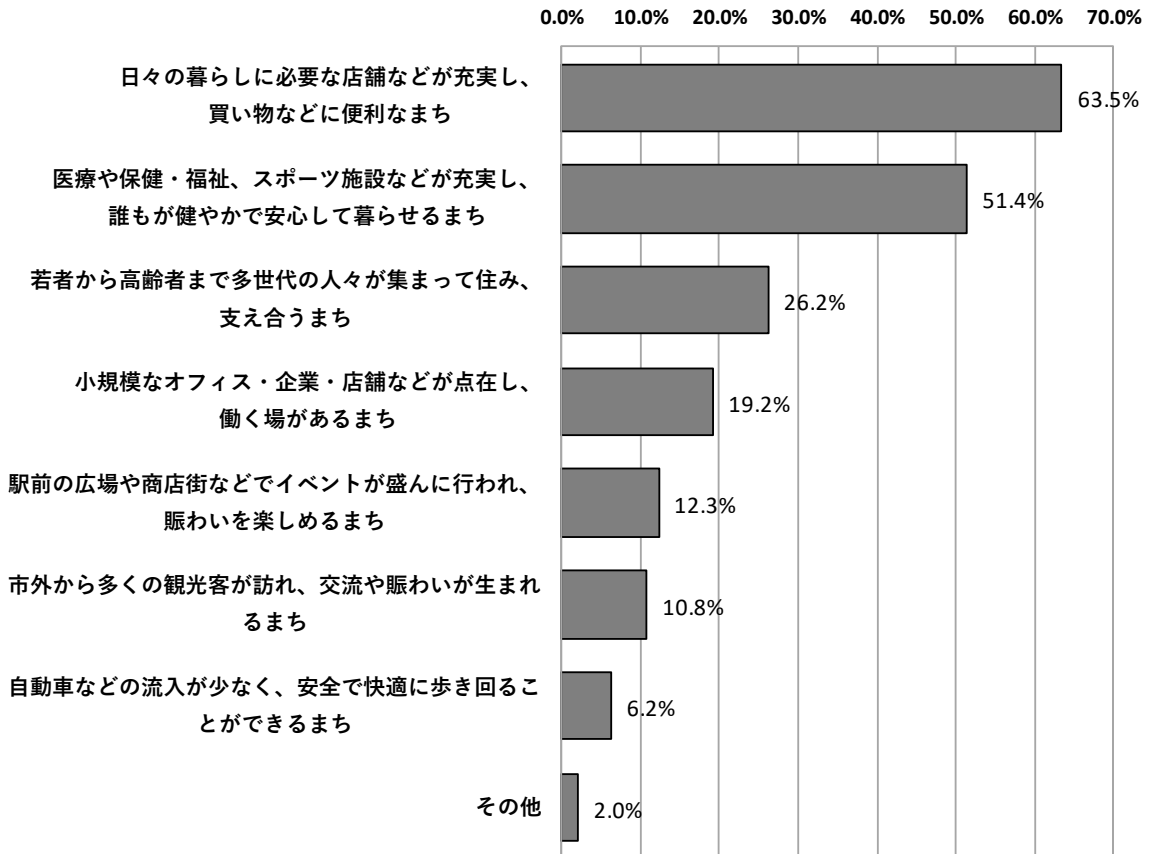
■ 住み替え意向別 人口減少・高齢化の影響（複数回答）



問 13： 中心市街地の将来像（最大2つまで選択）

- ・ 中心市街地において将来的に期待されるまちの姿は、「日々の暮らしに必要な店舗などが充実し、買い物などに便利なまち」が 516 人（63.5%）と最も多く、次いで「医療や保健・福祉、スポーツ施設などが充実し、誰もが健やかで安心して暮らせるまち」が 418 人（51.4%）、「若者から高齢者まで多世代の人々が集まって住み、支え合うまち」が 213 人（26.2%）となっています。

■ 将来のまち（複数回答）

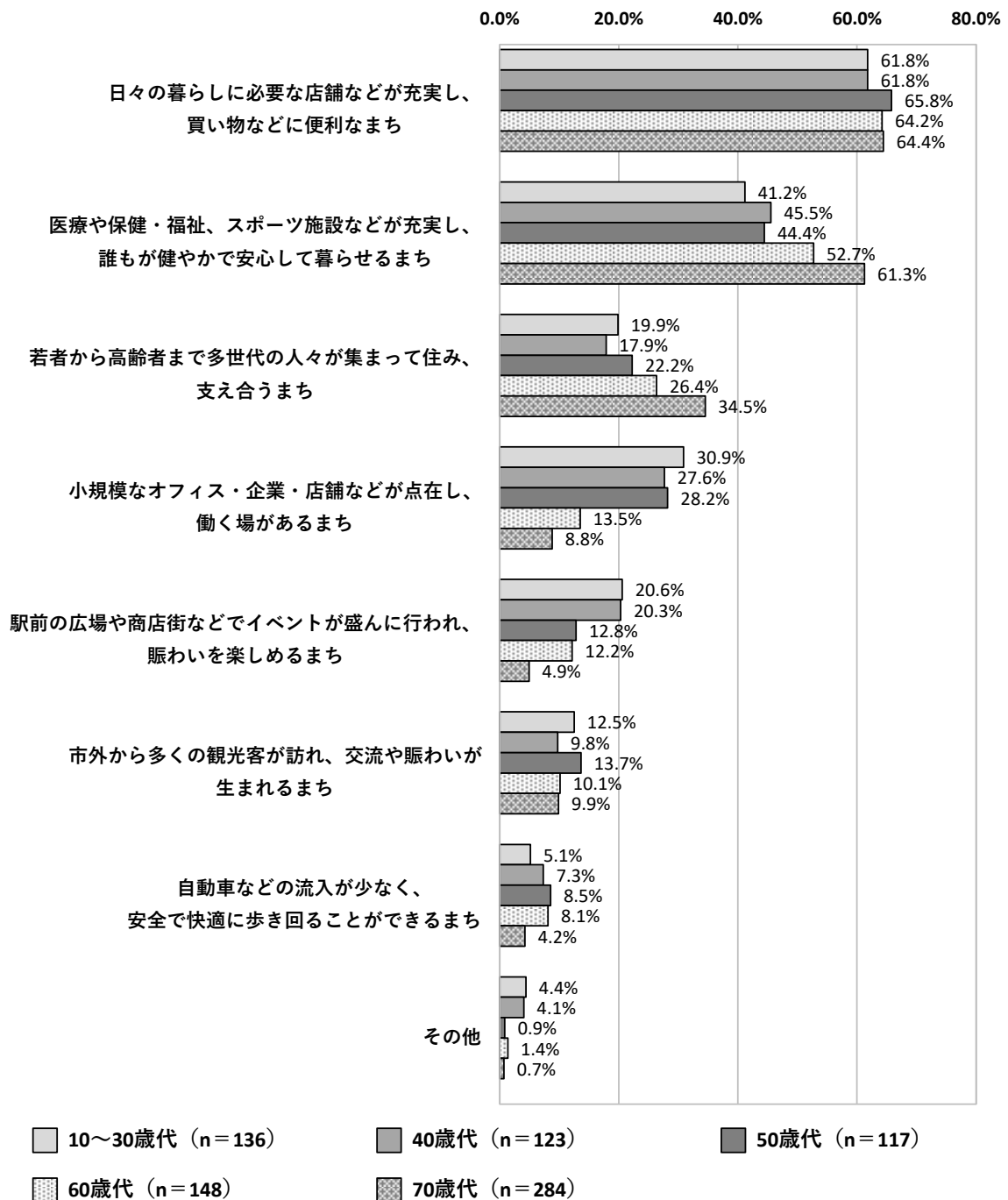


(n = 813)

(年齢別)

- ・年齢別にみると、いずれの年代も「日々の暮らしに必要な店舗などが充実し、買い物などに便利なまち」が多くなっています。
- ・「医療や保健・福祉、スポーツ施設などが充実し、誰もが健やかで安心して暮らせるまち」や「若者から高齢者まで多世代の人々が集まって住み、支え合うまち」については、高齢になるほど回答が多くなっています。
- ・一方、「小規模なオフィス・企業・店舗などが点在し、働く場があるまち」や「駅前の広場や商店街などでイベントが盛んに行われ、賑わいを楽しめるまち」については、若い世代の回答が比較的が多くなっています。

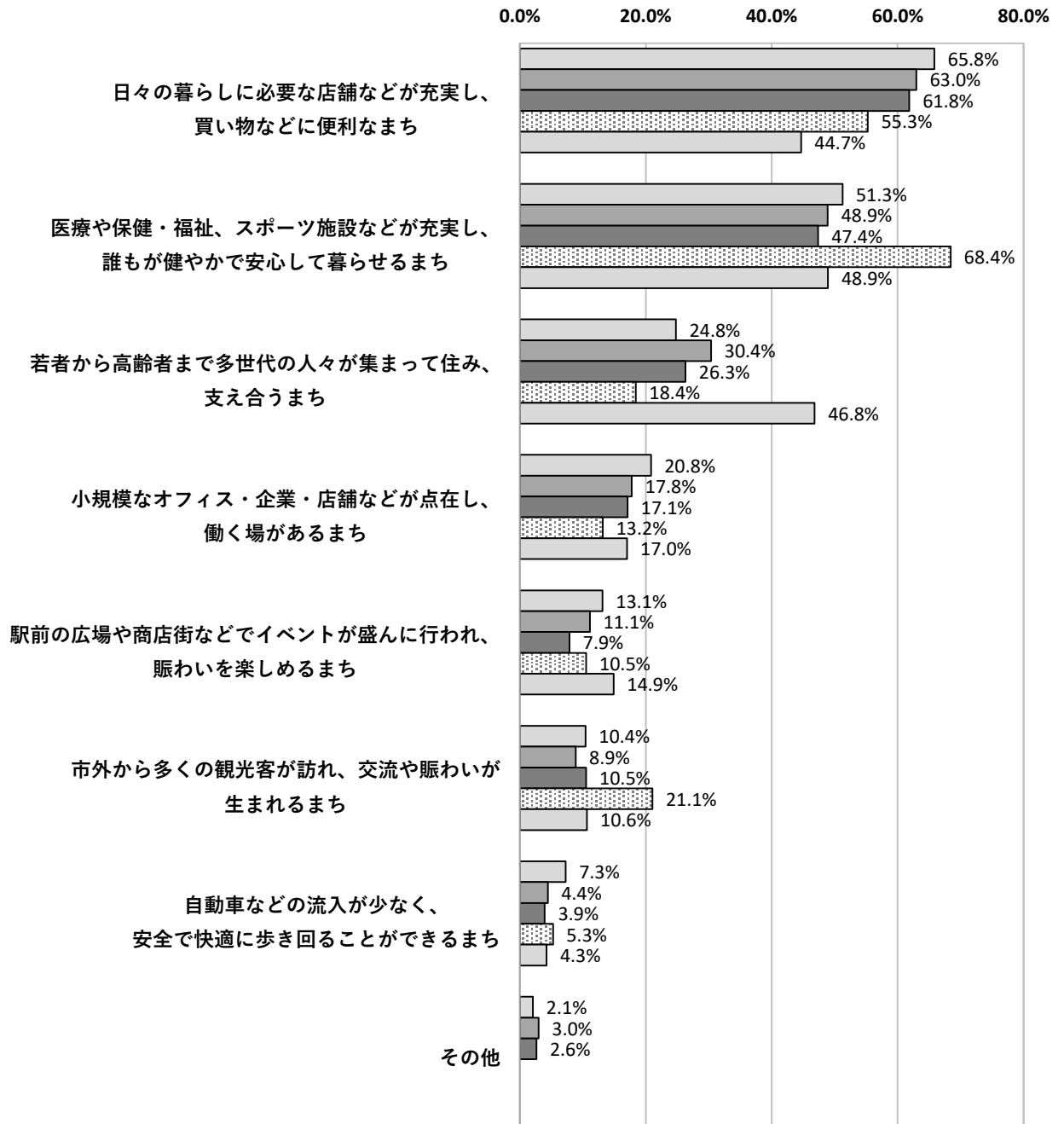
■ 年齢別 将来のまち（複数回答）



(地域別)

- ・地域別にみると、箕蚊屋地区では、他の地域と比較して「医療や保健・福祉、スポーツ施設などが充実し、誰もが健やかで安心して暮らせるまち」や「市外から多くの観光客が訪れ、交流や賑わいが生まれるまち」が比較的多くなっています。
- ・淀江地区では、「若者から高齢者まで多世代の人々が集まって住み、支え合うまち」が比較的多くなっています。

■ 地域別 将来のまち（複数回答）



□ 中央地区 (n=480)

■ 弓ヶ浜地区 (n=135)

■ 南部地区 (n=76)

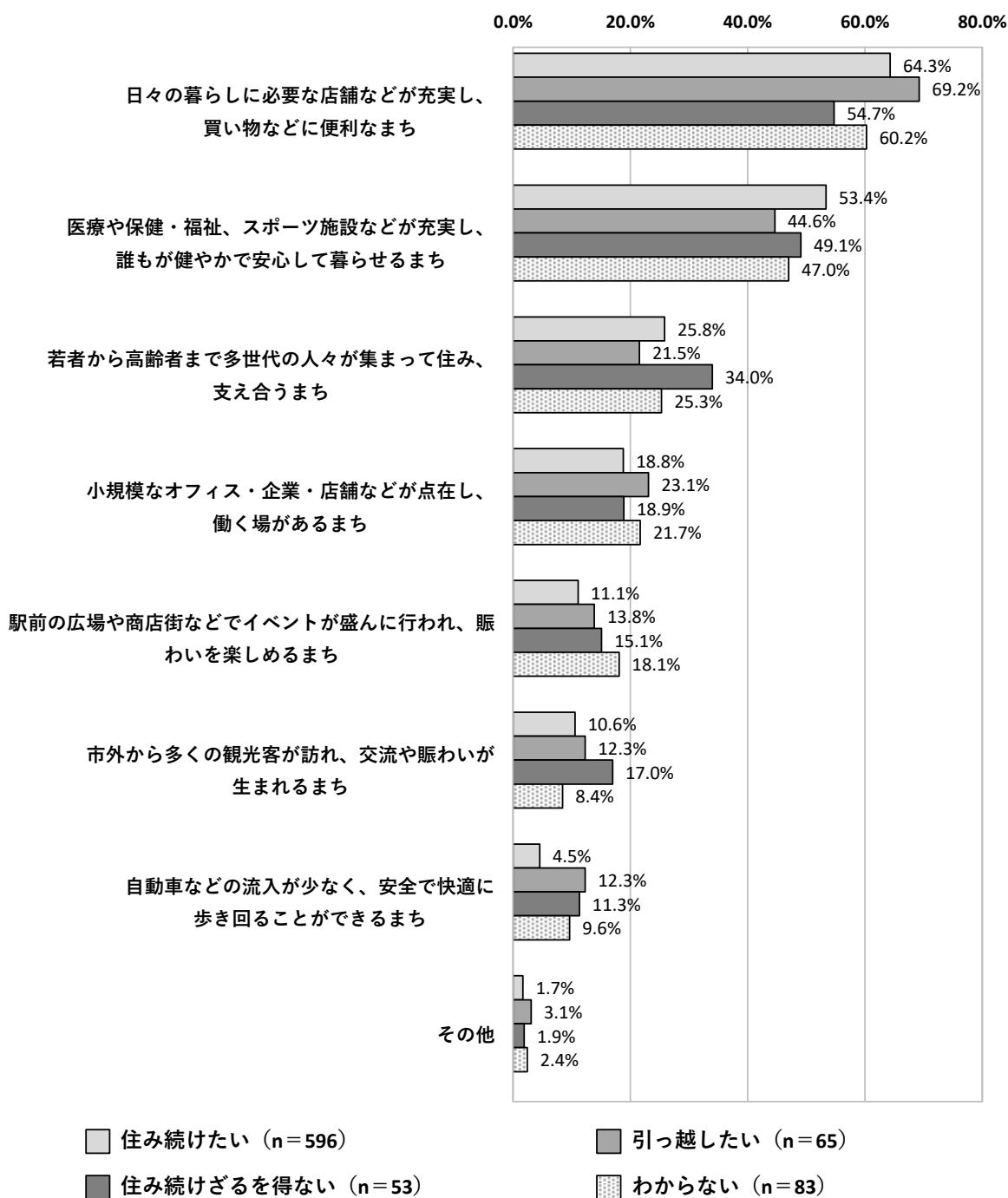
▨ 箕蚊屋地区 (n=38)

□ 淀江地区 (n=47)

(住み替え意向)

- ・住み替え意向別にみると、引っ越したい意向がある方は、「日々の暮らしに必要な店舗などが充実し、買い物などに便利なまち」が若干多くなっています。
- ・住み続けざるを得ないと回答した方は「若者から高齢者まで多世代の人々が集まって住み、支え合うまち」が比較的多くなっています。

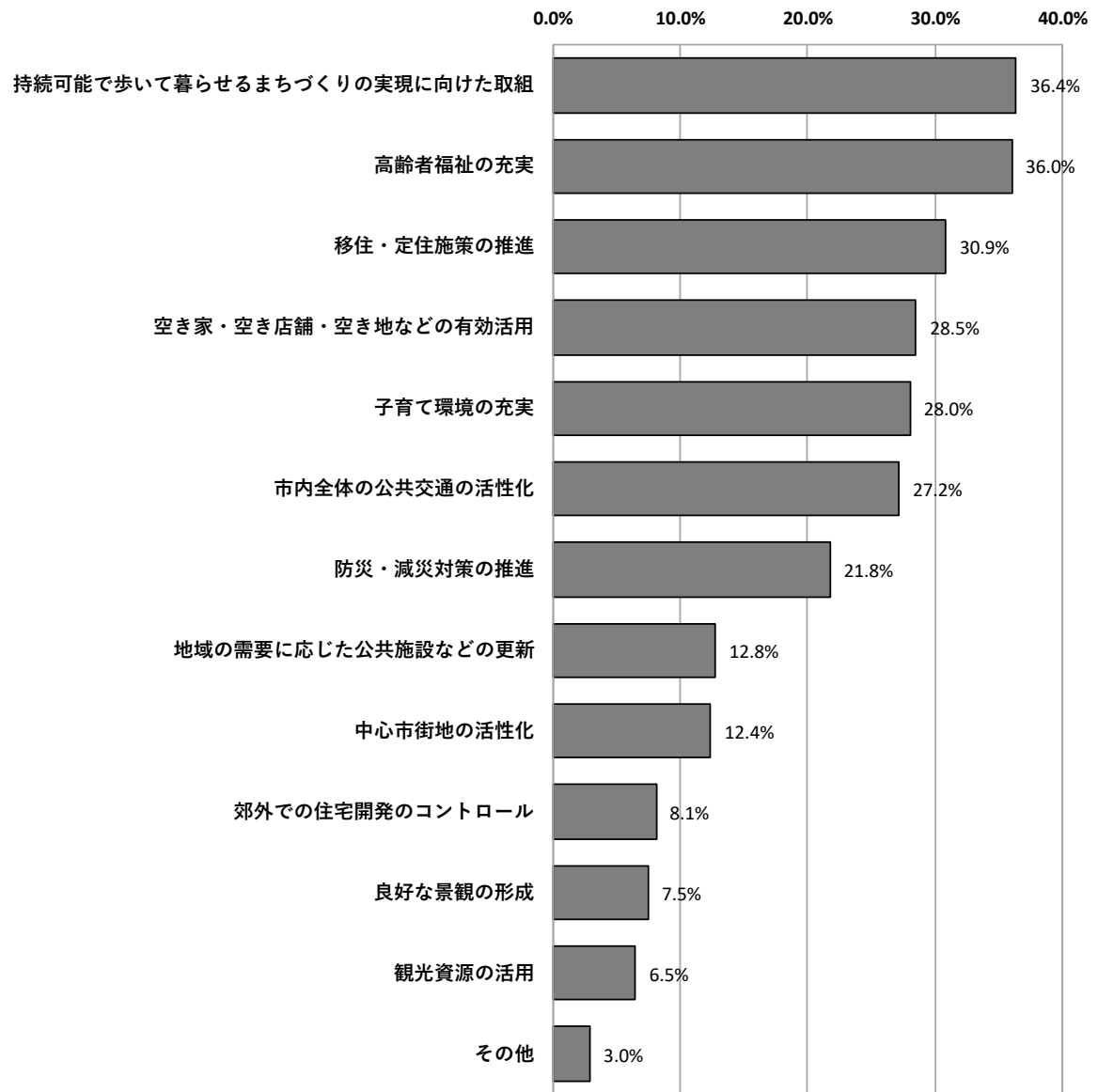
■ 住み替え意向別 将来のまち (複数回答)



問 14：米子市に今後必要な施策（最大3つまで選択）

- ・米子市に今後必要な施策は、「持続可能で歩いて暮らせるまちづくりの実現に向けた取組」が 296 人（36.4%）と最も多く、僅差で「高齢者福祉の充実」が 293 人（36.0%）、「移住・定住施策の推進」が 251 人（30.9%）となっています。

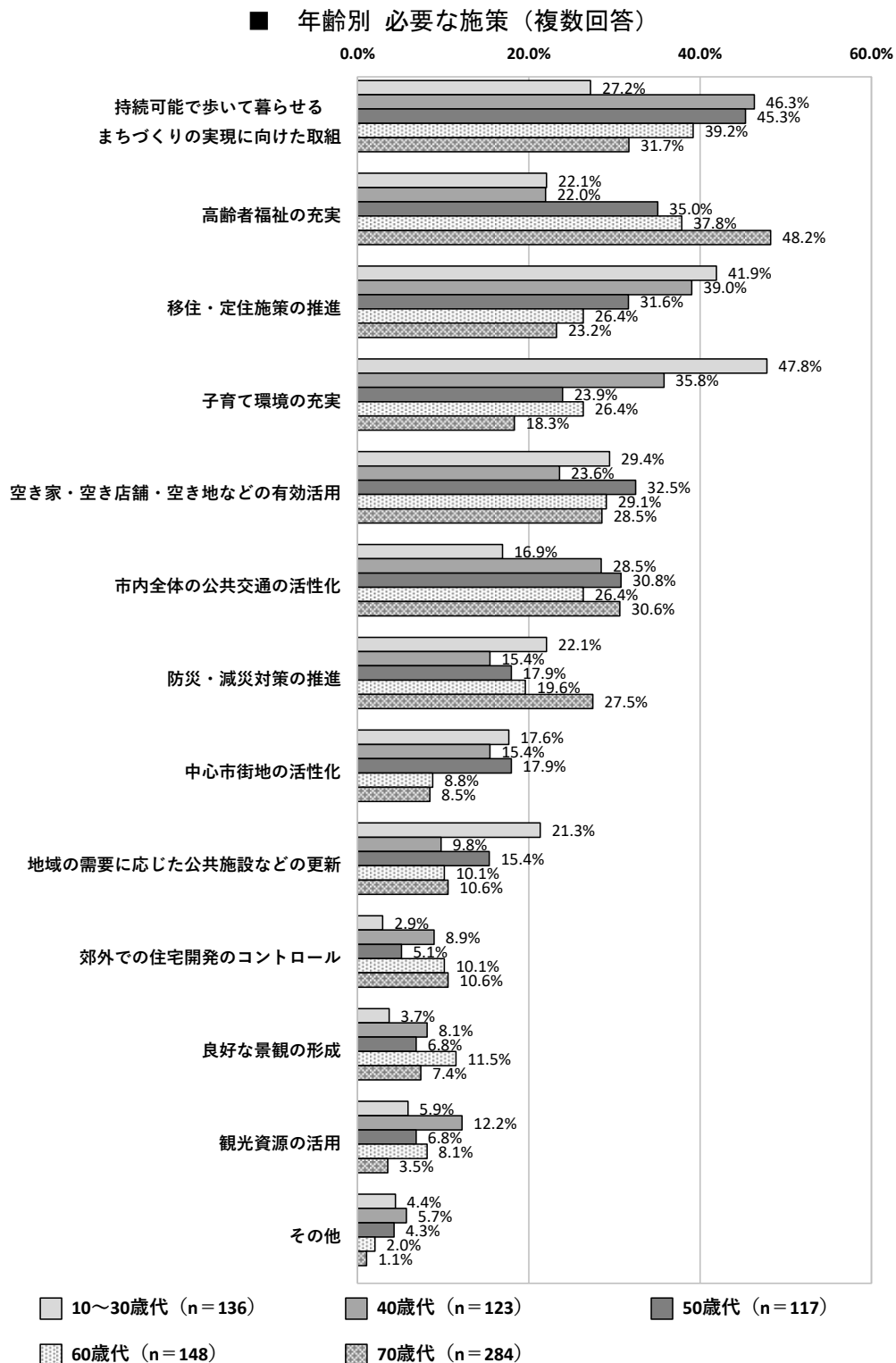
■ 必要な施策（複数回答）



(n = 813)

(年齢別)

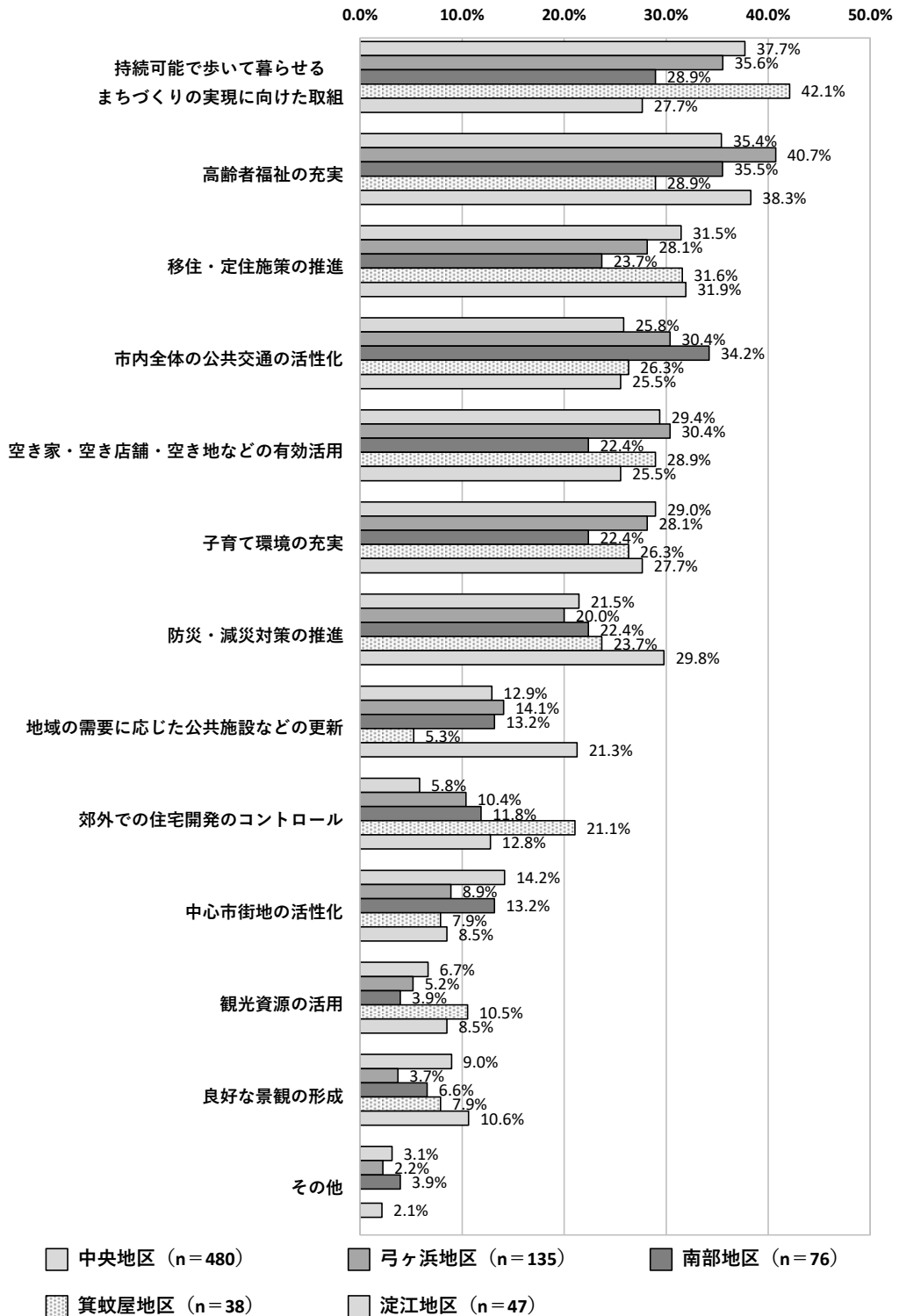
- ・年齢別にみると、「移住・定住施策の推進」や「子育て環境の充実」は若い世代ほど回答が多くなっています。
- ・一方、「高齢者福祉の充実」は高齢になるほど回答が多くなる傾向にあります。
- ・40歳代及び50歳代については「持続可能で歩いて暮らせるまちづくりの実現に向けた取組」が最も多くなっています。



(地域別)

- ・地域別にみると、中央地区や箕蚊屋地区では、「持続可能で歩いて暮らせるまちづくりの実現に向けた取組」が最も多くなっています。
- ・弓ヶ浜地区や南部地区、淀江地区では「高齢者福祉の充実」が最も多くなっています。
- ・南部地区は他の地域と比較して、「市内全体の公共交通の活性化」が多くなっています。
- ・箕蚊屋地区では、「郊外での住宅開発のコントロール」の割合も比較的多くなっています。

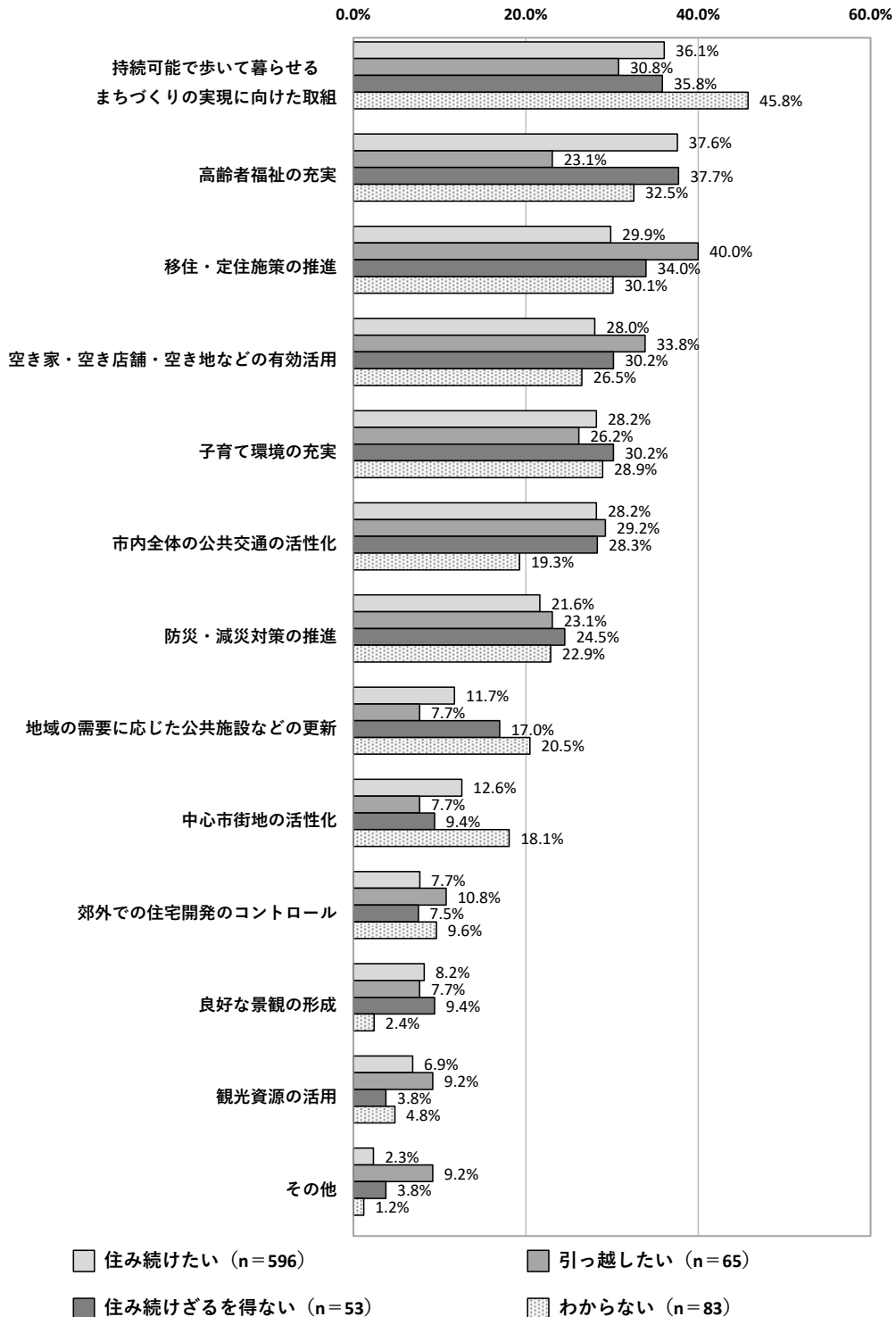
■ 地域別 必要な施策（複数回答）



(住み替え意向)

- ・住み替え意向別にみると、定住の意向がある方（「住み続けたい」又は「住み続けざるを得ない」と回答された方）は、「持続可能で歩いて暮らせるまちづくりの実現に向けた取組」や「高齢者福祉の充実」の回答の割合が多くなっています。
- ・引っ越したい意向がある方は、「移住・定住施策の推進」や「空き家・空き店舗・空き地などの有効活用」を重視している一方、「高齢者福祉の充実」は少なくなっています。

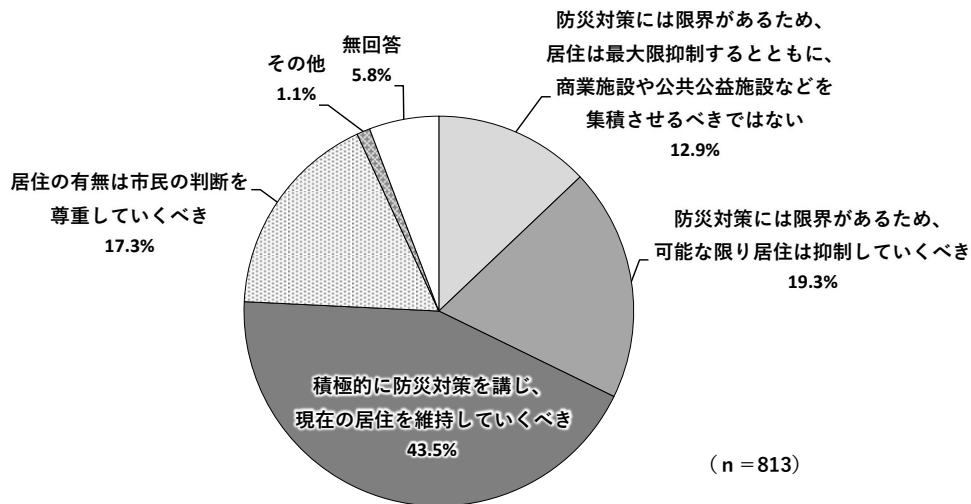
■ 住み替え意向別 必要な施策（複数回答）



問 15：災害の可能性のある地域の今後の方向性（1つ選択）

- ・災害の可能性のある地域の今後の方向性は、「積極的に防災対策を講じ、現在の居住を維持していくべき」が 354 人（43.5%）と最も多く、次いで「防災対策には限界があるため、可能な限り居住は抑制していくべき」が 157 人（19.3%）、「居住の有無は市民の判断を尊重していくべき」が 142 人（17.4%）となっています。

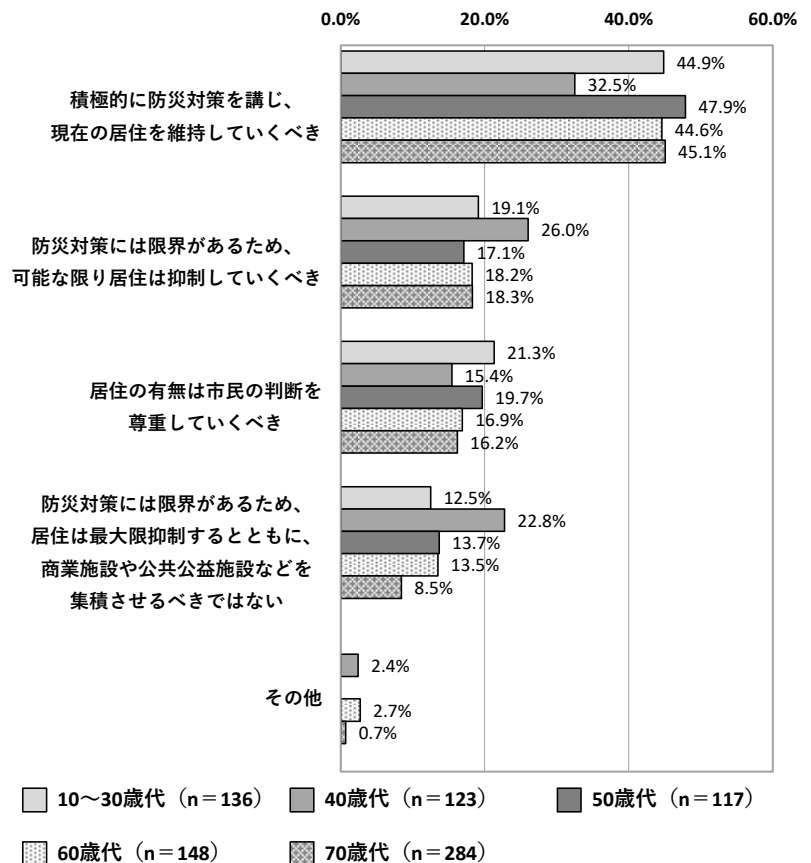
■ 災害可能性地域の将来



(年齢別)

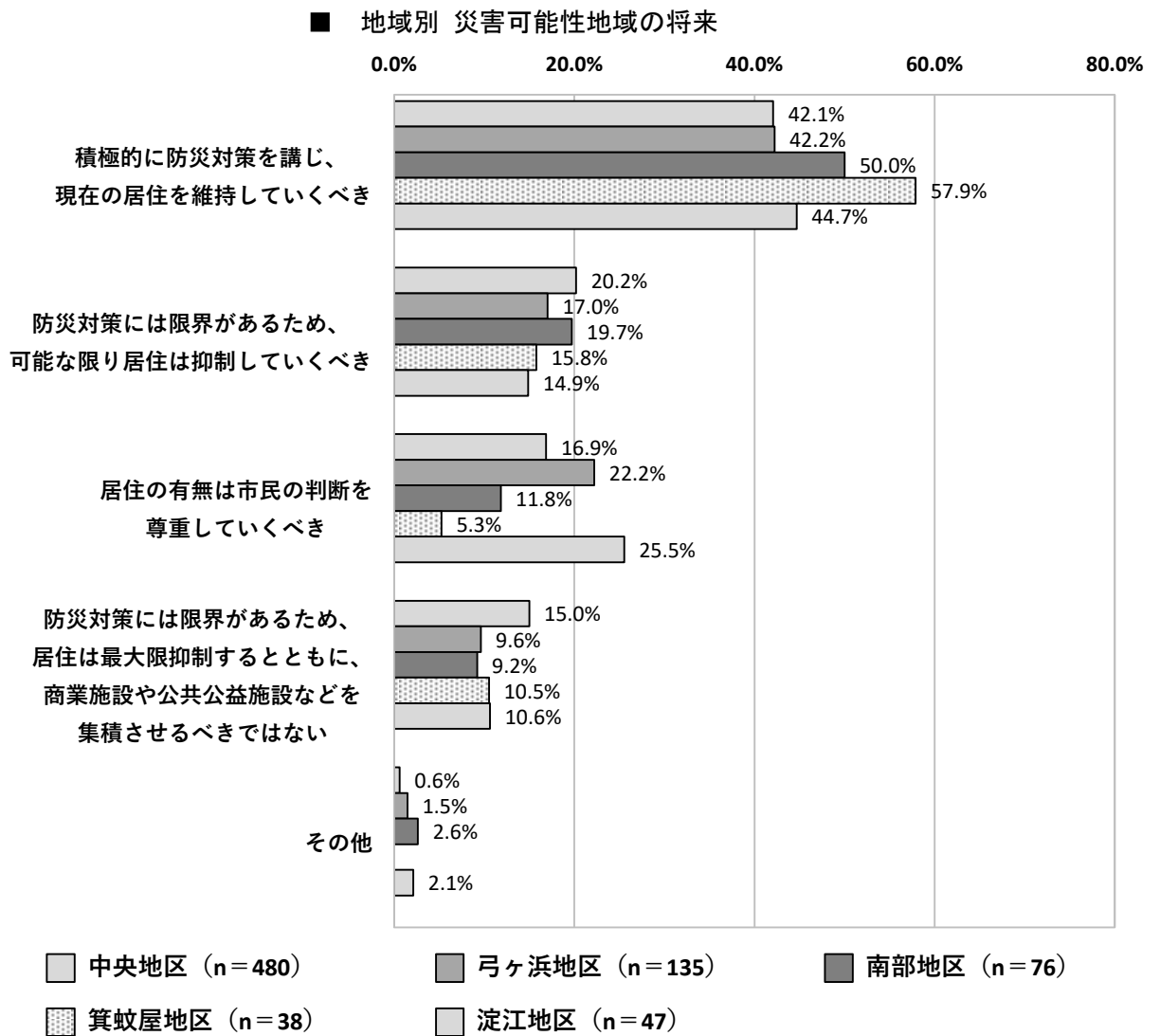
- ・40 歳代を除いたすべての年代で、「積極的に防災対策を講じ、現在の居住を維持していくべき」が最も多くなっています。
- ・一方、40 歳代は「防災対策には限界があるため、可能な限り居住は抑制していくべき」や「防災対策には限界があるため、居住は最大限抑制するとともに、商業施設や公共公益施設などを集積させるべきではない」の割合が比較的多くなっています。

■ 年齢別 災害可能性地域の将来



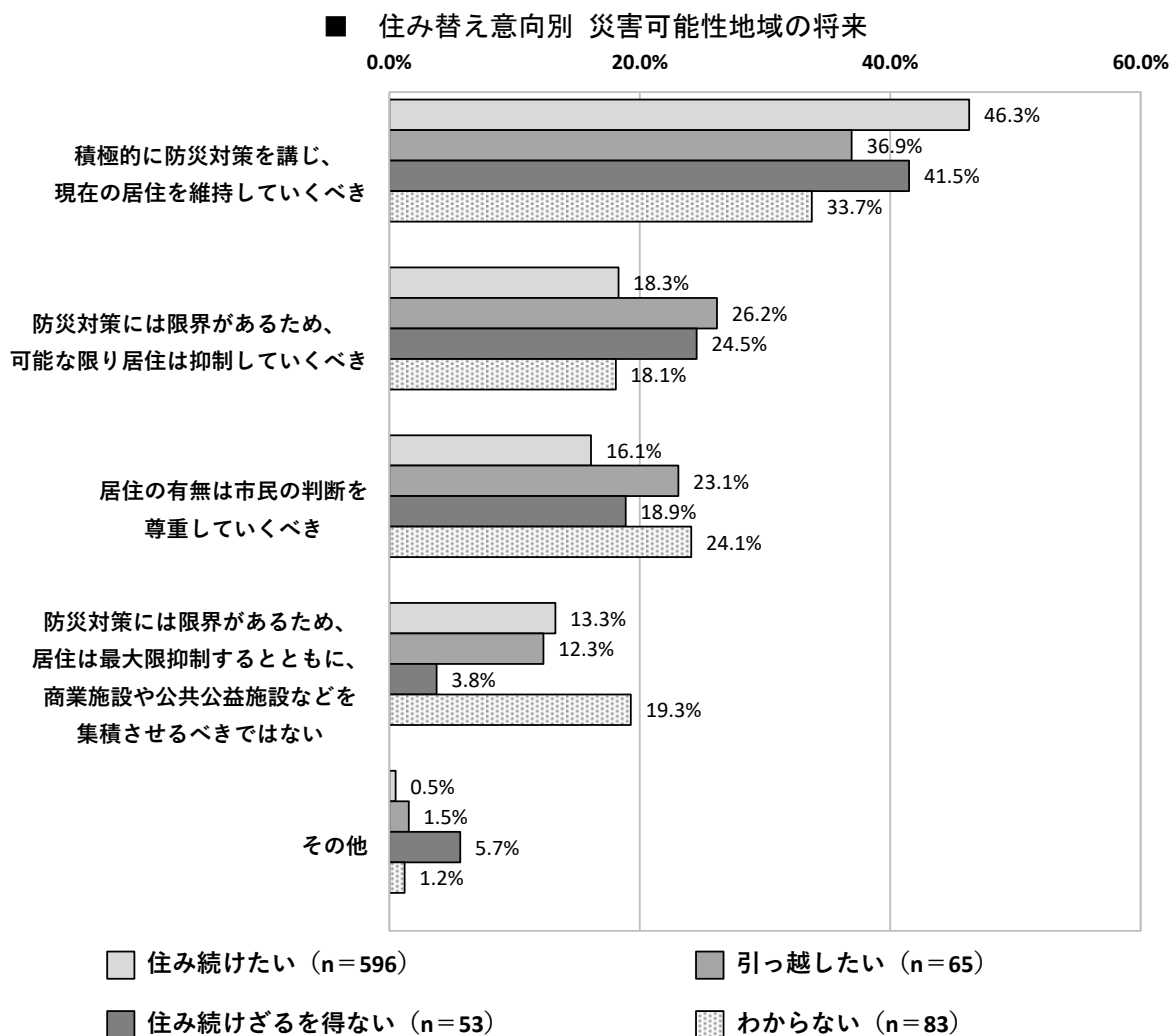
(地域別)

- ・地域別にみると、いずれの地域も「積極的に防災対策を講じ、現在の居住を維持していくべき」が最も多くなっており、特に箕蚊屋地区の割合が比較的多くなっています。
- ・また、箕蚊屋地区は、他の地域と比較して「居住の有無は市民の判断を尊重していくべき」の割合が低くなっています。



(住み替え意向別)

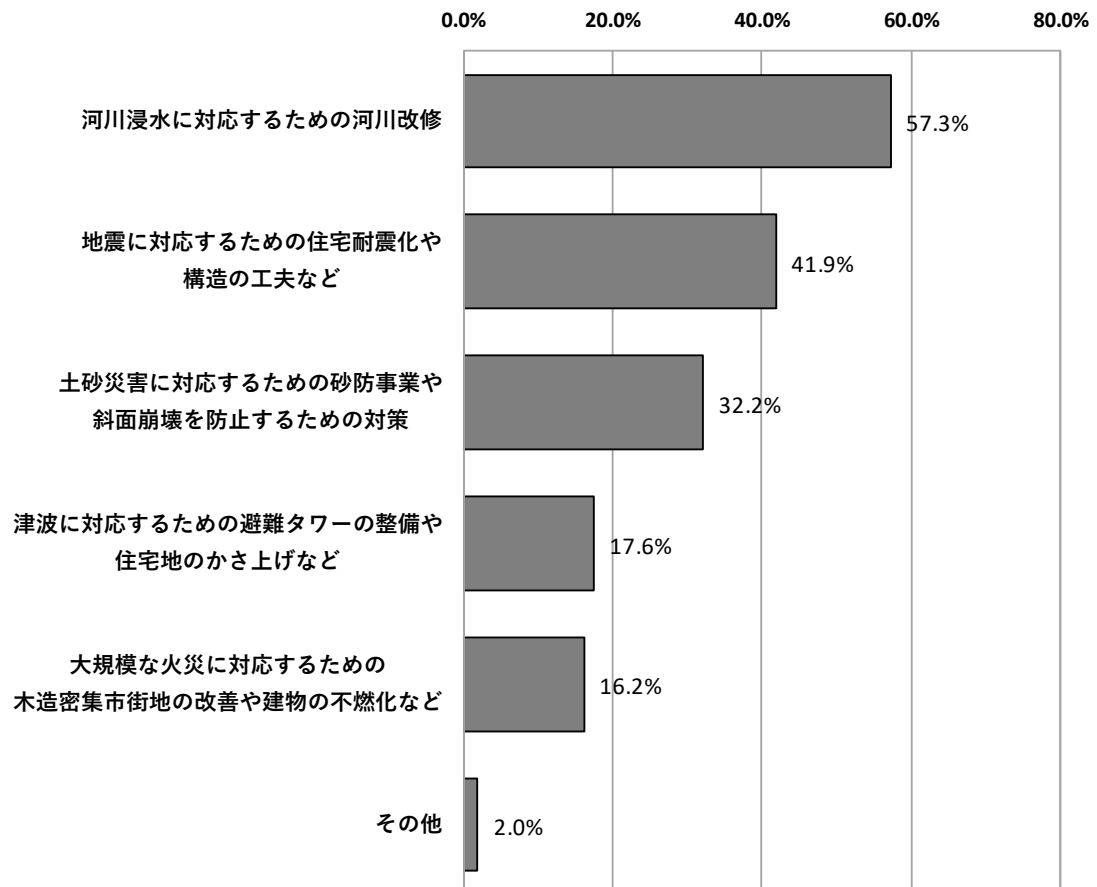
- ・住み替え意向にみると、定住の意向がある方（「住み続けたい」又は「住み続けざるを得ない」と回答された方）は、「積極的に防災対策を講じ、現在の居住を維持していくべき」が比較的多くなっています。
- ・また、「住み続けざるを得ない」と回答された方は、「防災対策には限界があるため、居住は最大限抑制するとともに、商業施設や公共公益施設などを集積させるべきではない」の回答が少なくなっています。



問 16：今後、米子市で重視すべき防災・減災対策（ハード対策）（最大2つまで選択）

- ・今後、米子市で重視すべき防災・減災対策（ハード対策）は、「河川浸水に対応するための河川改修」が 466 人（57.3%）と最も多く、次いで「地震に対応するための住宅耐震化や構造の工夫など」が 341 人（41.9%）、「土砂災害に対応するための砂防事業や斜面崩壊を防止するための対策」が 262 人（32.2%）となっています。

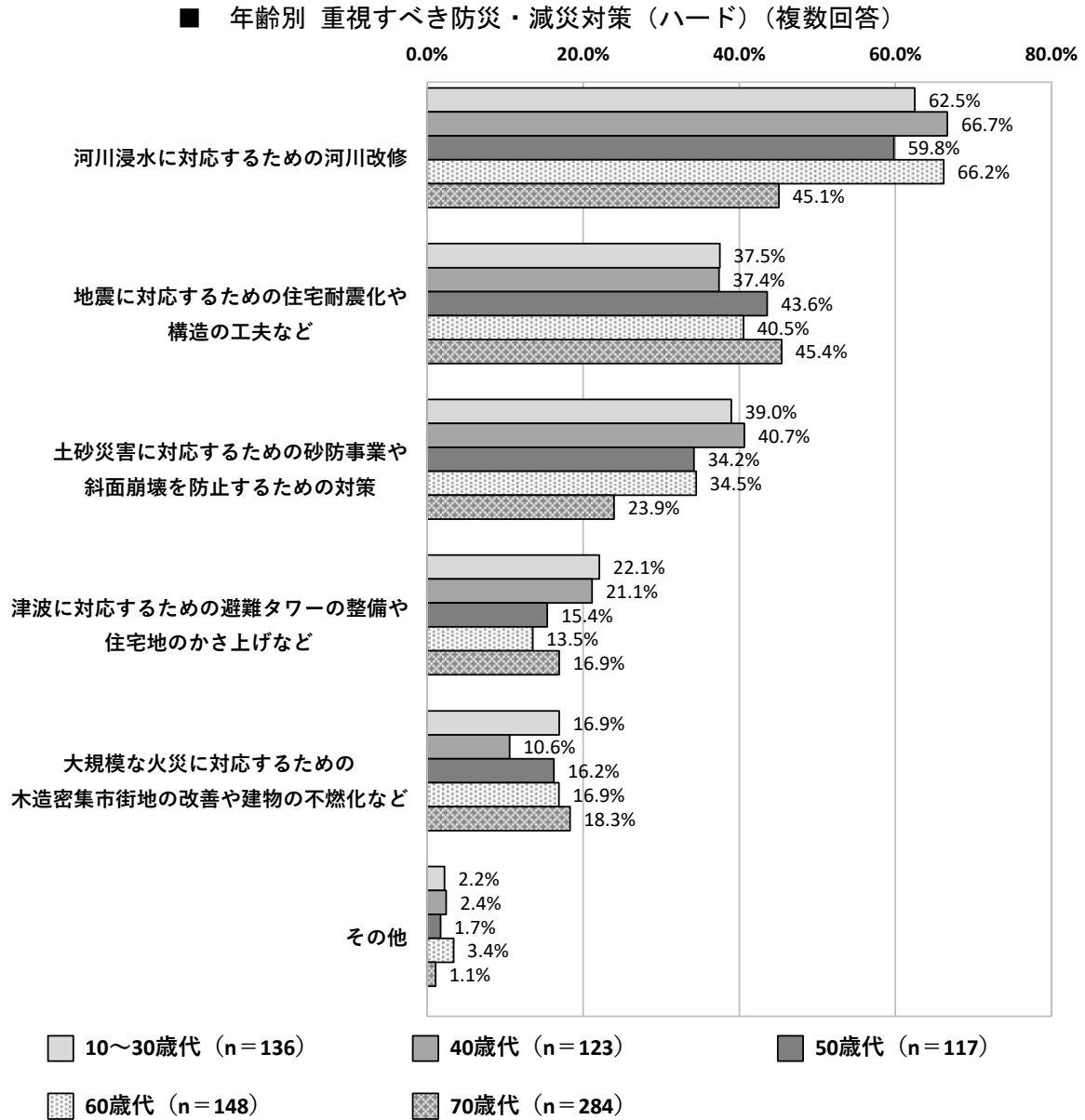
■ 重視すべき防災・減災対策（ハード）（複数回答）



(n = 813)

(年齢別)

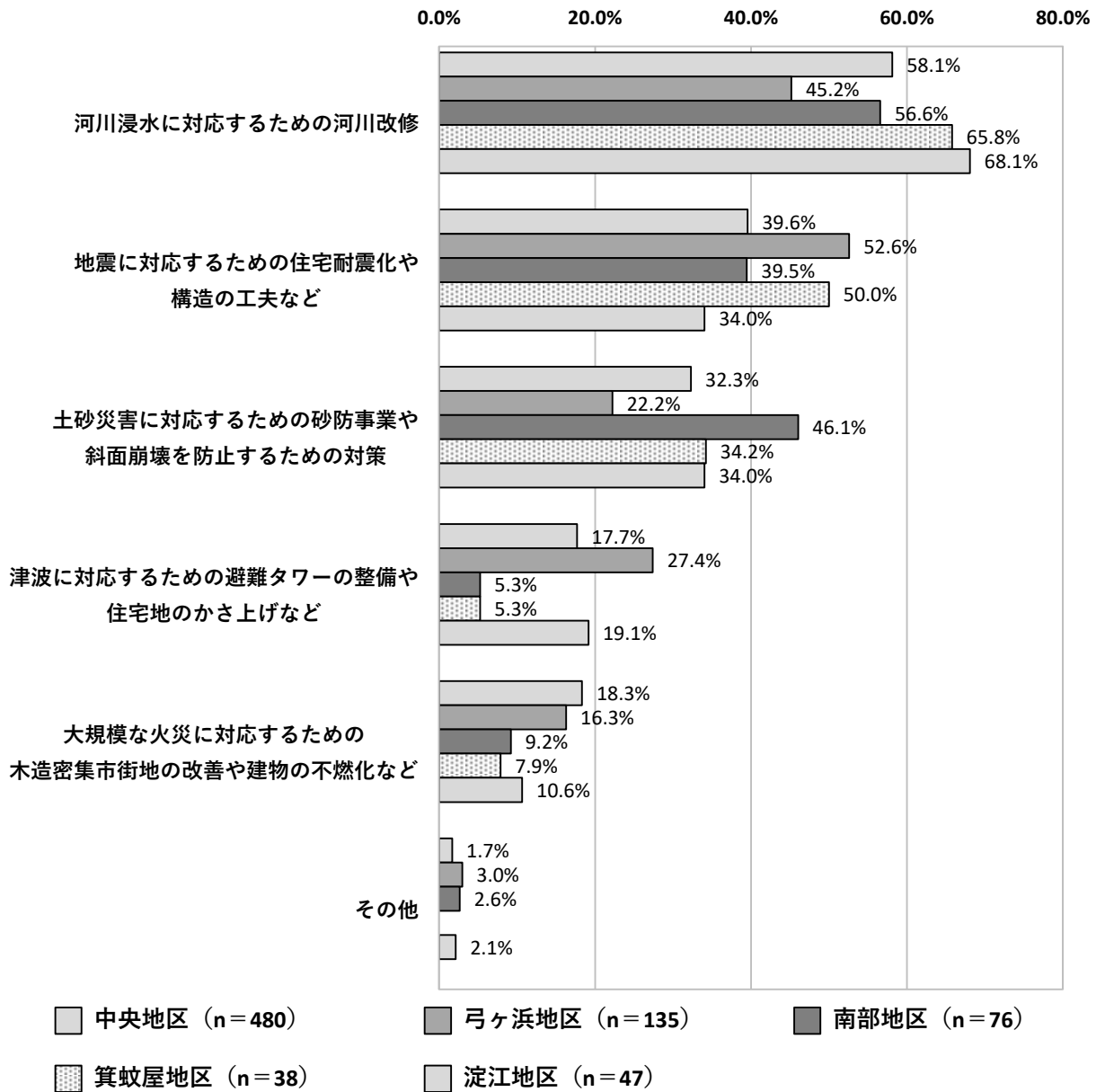
- ・70歳代を除いた全ての世代で、「河川浸水に対応するための河川改修」の回答が過半数を占めています。
- ・一方で、70歳代は、「河川浸水に対応するための河川改修」のみでなく「地震に対応するための住宅耐震化や構造の工夫など」も重視している傾向があります。



(地域別)

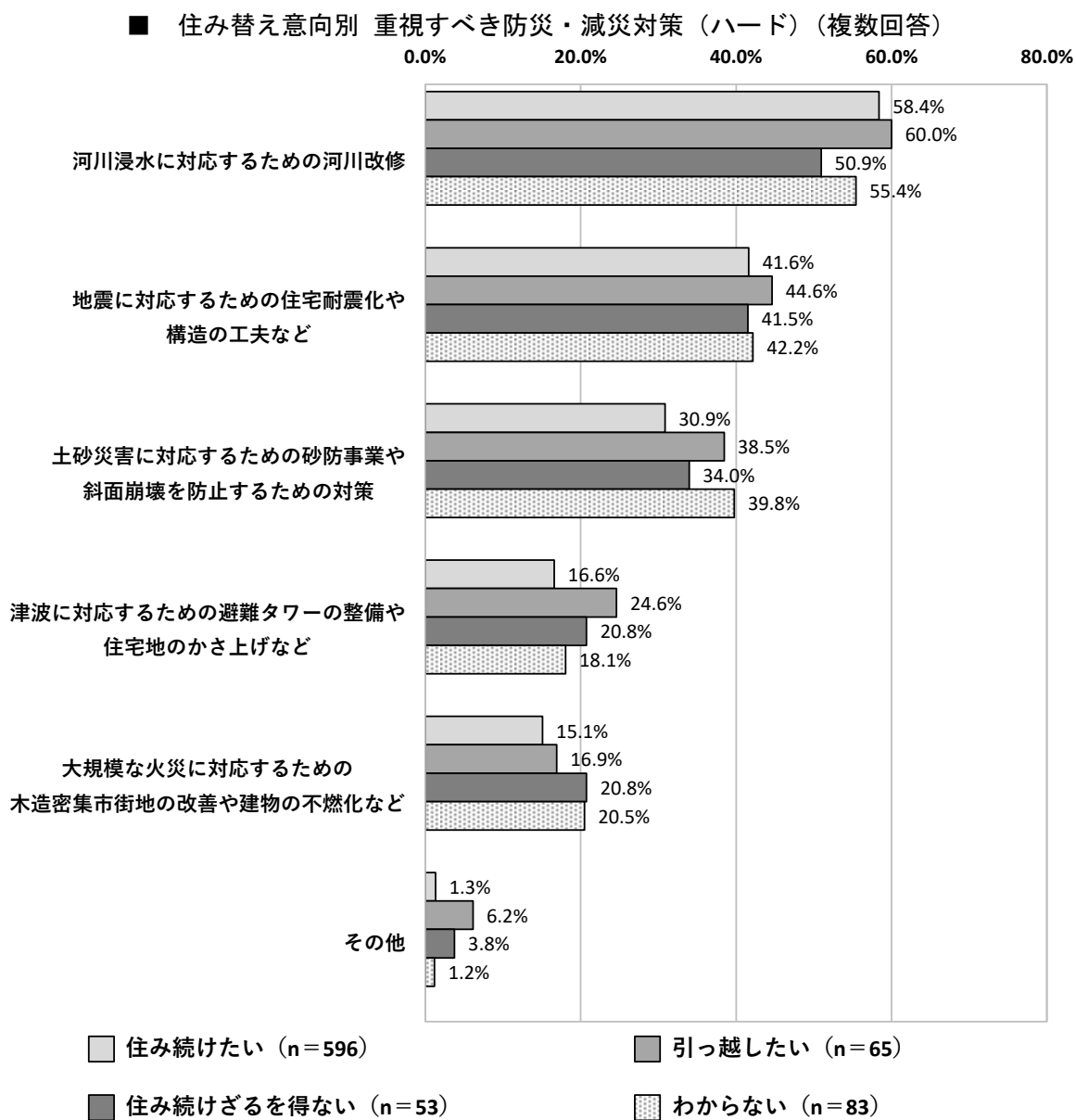
- 弓ヶ浜地区を除いた全ての地域では、「河川浸水に対応するための河川改修」が最も多くなっています。
- 一方で、弓ヶ浜地区は、「地震に対応するための住宅耐震化や構造の工夫など」が最も多く、「津波に対応するための避難タワーの整備や住宅地のかさ上げなど」も比較的多くなっています。
- 南部地区は、他の地域と比較して「土砂災害に対応するための砂防事業や斜面崩壊を防止するための対策」が多くなっています。

■ 地域別 重視すべき防災・減災対策（ハード）（複数回答）



(住み替え意向)

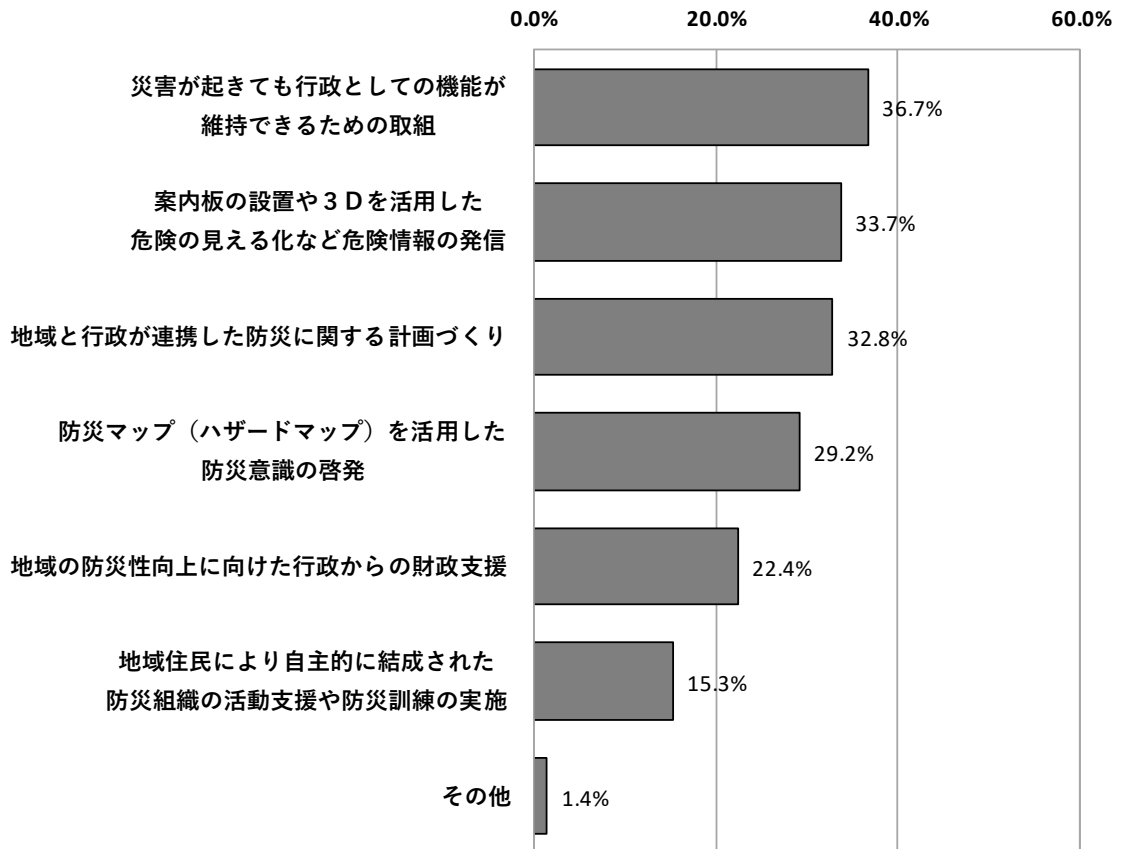
- ・住み替え意向別にみると、あまり大きな差がありません。



問 17：今後、米子市で重視すべき防災・減災対策（ソフト対策）（最大2つまで選択）

- ・今後、米子市で重視すべき防災・減災対策（ソフト対策）は、「災害が起きても行政としての機能が維持できるための取組」が 298 人（36.7%）と最も多く、次いで「案内板の設置や3Dを活用した危険の見える化など危険情報の発信」が 274 人（33.7%）、「地域と行政が連携した防災に関する計画づくり」が 267 人（32.8%）となっています。

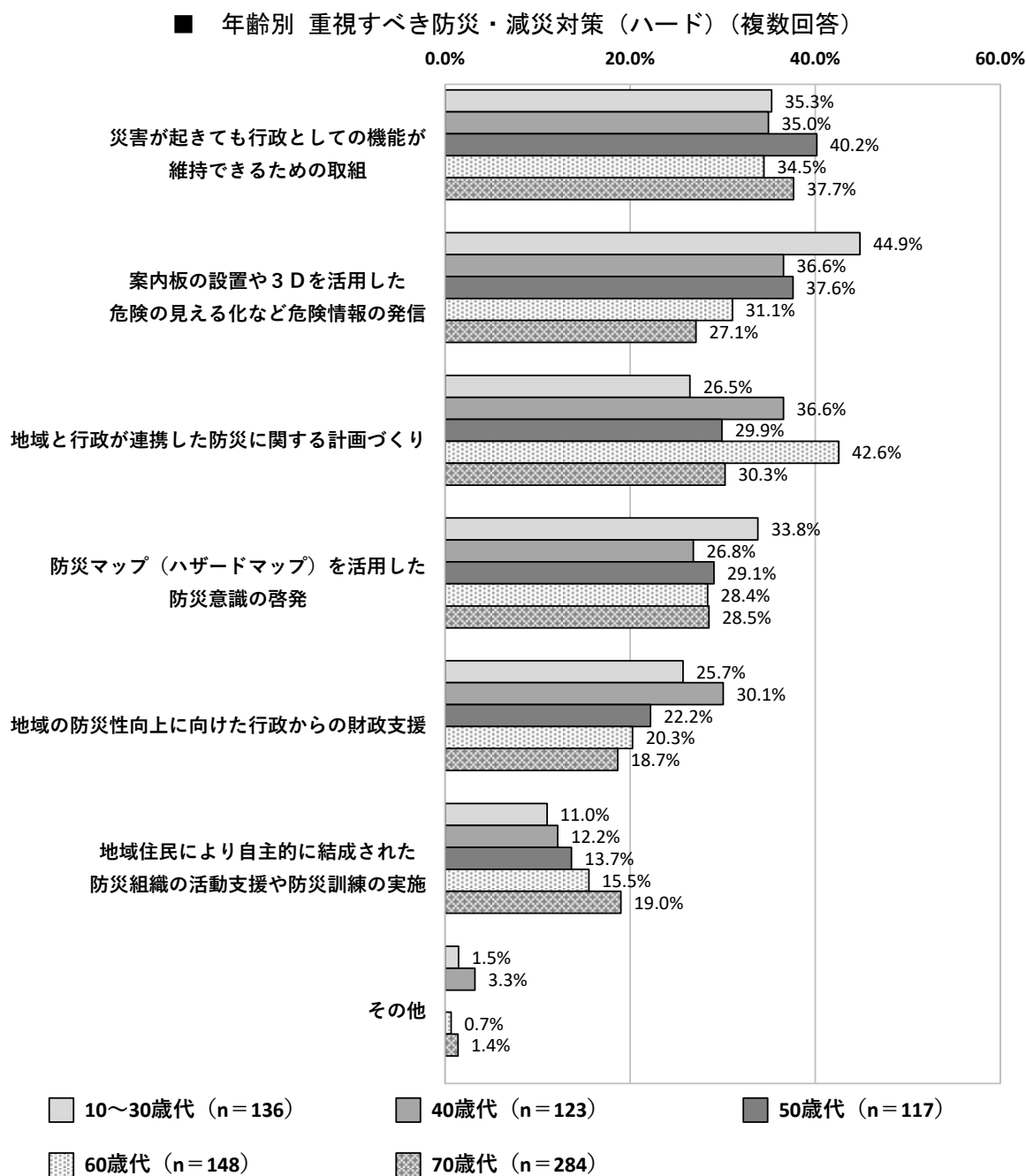
■ 重視すべき防災・減災対策（ソフト）（複数回答）



(n = 813)

(年齢別)

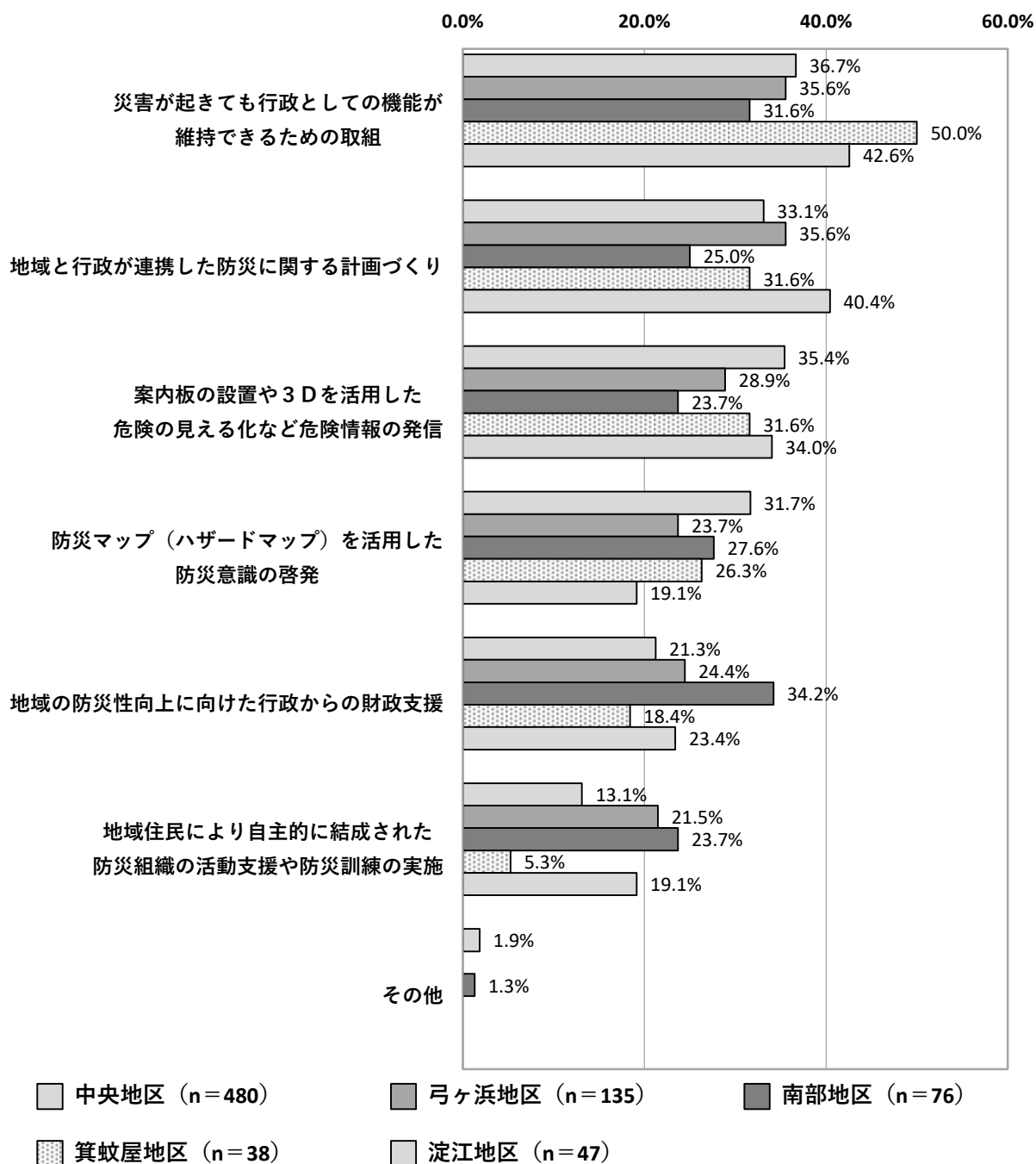
- ・ 10～30 歳代は、他の年代と比較すると「案内板の設置や 3D を活用した危険の見える化など危険情報の発信」が多くなっています。
- ・ 40 歳代および 60 歳代は、「地域と行政が連携した防災に関する計画づくり」を重視しています。
- ・ 「地域住民により自主的に結成された防災組織の活動支援や防災訓練の実施」は、高齢になるほど回答が高くなる傾向があります。



(地域別)

- ・地域別にみると、箕蚊屋地区では、他の地域と比較して「災害が起きても行政としての機能が維持できるための取組」の割合が多くなっています。
- ・南部地区では、「地域の防災向上に向けた行政からの財政支援」など、行政からの支援も重視している傾向があります。

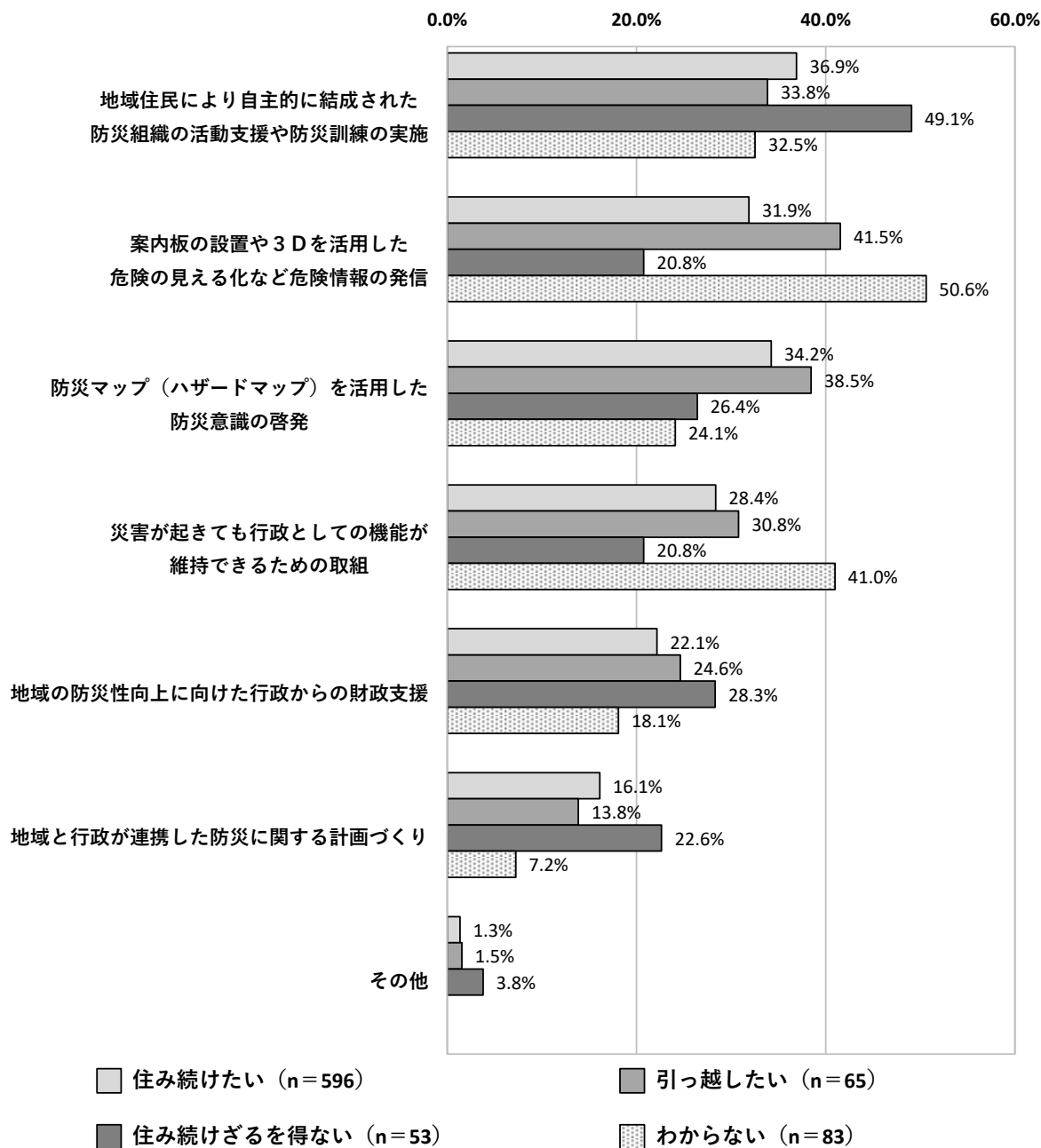
■ 地域別 重視すべき防災・減災対策（ソフト）（複数回答）



(住み替え意向別)

- ・住み替え意向別にみると、引っ越したい意向がある方は、「案内板の設置や3Dを活用した危険の見える化など危険情報の発信」及び「防災マップ（ハザードマップ）を活用した防災意識の啓発」を特に重視している傾向があります。
- ・住み続けざるを得ないと考える方は、「地域住民により自主的に結成された防災組織の活動支援や防災訓練の実施」が最も多くなっています。

■ 住み替え意向別 重視すべき防災・減災対策（ソフト）（複数回答）



(6) 自由意見

問 18：まちづくりに関するご意見・ご要望など（自由記述）

・米子市の今後のまちづくりについて、意見を自由記述形式で尋ねたところ、216件の回答がありました。その内容は以下のとおりです。



※同一回答者でも複数の意見が回答されている場合は、項目ごとに分けて集計しているため、合計件数は合わない

【今後のまちづくりに関する意見（41件）】

性別	年齢	地域	内容
男性	10歳代	中央地区	若者が住みやすい町づくりをお願いします。
男性	20歳代	南部地区	コンパクト・プラス・ネットワーク型のまちづくりについては、住民の転居と施設の移転が必要であり、難しいと感じた。高齢者の足として主要な役割をもつバス運行に力を入れてほしい。また、地域の防災意識の向上のために、小学校区単位での避難訓練やワークショップなどを定期的に行ってほしい。
男性	30歳代	中央地区	私は日頃から、ジョギングやウォーキングをするために東山公園を利用して、様々なスポーツ施設があるけどイマイチ利用者が少なく、活気がないと思い、公園を利用させてもらっています。コロナ禍の前はスポーツ観戦をしに県外によく外出していましたが、私が見る限り、公園内に様々な商業施設、フリースペースなど公園を利用しに来る市民が集えるまちづくりがされていて、米子市も公園に限らず、皆生海岸周辺に無料駐車場を設置したり、市内に学生が勉強するためのフリースペース・ワーキングスペースを設置すると、生活しやすいまちになると思います。その点、米子城跡にある駐車場を整備した点はすごくよかったと思います。私も米子に生まれ、米子に育てられて、大山と日本海に囲まれたこの土地は、とても恵まれています。せつかくいい自然があるのに活用すれば、もっと全国発信しても良い地域だと思っています。現在事業を進めている米子駅南北一体化事業も、私が中学生だった頃から関心があった事業で、新聞やニュースで報道されると釘付けになって見ていました。鳥取、松江に比べてまちに広がりがなく、どこか盛り上がり欠けていた米子も、この事業で他市より魅力的になると思い、伊木市長に期待しています。長くなりましたが、山陰で一番暮らしやすい、人が集って活気があるまちに生まれ変わることを切に願います。
男性	30歳代	中央地区	子育て、雇用、日常生活の利便性の3つに特に力を入れてほしい。この3つがなければ、ある場所に若者が移住するだけなので、そのうち町はなくなるでしょう。
男性	40歳代	中央地区	コロナ禍につき、コンパクト・プラス・ネットワークの取組もリスクを考慮して見直す点もあるのでは？一カ所集中のデメリットもあると思われる。中央地区以外の活用についても同時に検討していくべき。
男性	40歳代	中央地区	外貨等の獲得できる観光名所や、それに付随した地域の産業が生まれ、外部から移住できるような町づくりをお願いしたい。米子に住んでいる者として元気がない米子は見たくないです。行政の皆様の日々の努力と、行政各部の忙しさに頭が上がりません。応援してます！！
男性	40歳代	中央地区	市民が生活に満足できるよう、公共交通の維持、医療の充実、商都米子としてのプライドを持ち続けてほしいと切に願います。私の住む福米西地区も、今は子どもが多いですが、あと10年もすると高齢者ばかりとなる不安が大いにあります。若者が過ごしやすいまちにするために、衣食住に関してもっと支援が必要とも思います。
男性	40歳代	弓ヶ浜地区	とにかく居住に関する経済的不安を少なくし、長く住める場所があればあとは好みで消費する。災害は運次第、保険を厚くする。
男性	50歳代	中央地区	鳥取県は『星取県』『カニ取県』など様々なキャッチフレーズがあります。しかし米子市では雇用、子育て、医療、福祉等を充実させて、安心して生涯暮らす『年取県』となれるような発祥の市にしてほしいですね。
男性	50歳代	中央地区	安心して暮らせる環境づくり
男性	60歳代	中央地区	少子高齢化にかかる人口減少、経済縮小に対する諸施策、とりわけ、稼働先企業の誘致、これら就業先企業に関連する社員の米子市居住等、喫緊の課題（市税獲得）、次世代を担う若者がいかに子供を生み育て易くするか等、人口増、諸対策の他、高齢者の医療費抑制のため高齢者の健康維持対策等が将来の街づくりに必要と考える。
男性	60歳代	弓ヶ浜地区	特にありませんが、住みやすい米子市に整備してほしい。片寄った整備にならない様にしてほしい。高齢者でも若者でも住みやすい米子にしてほしい。それによってIターン、Uターンも自然に増となっていくと思います。
男性	60歳代	弓ヶ浜地区	コンパクトなまちづくりの定義が少しわからない。生活に必要な機能が身近にあり、なるべく車に頼らないような生活圏になれば良い。
男性	60歳代	淀江地区	自然環境と人間同士の公助や知恵を出し合ったまちづくりを望みます。

性別	年齢	地域	内容
男性	70歳以上	中央地区	揺籠から墓場までのことわざがあります。生きるに健康・金・生き甲斐、他諸々が必要です。(これがなかなか難)まず人が居ないと(出会い、結婚、出産)始まりません。それと安定収入を得る働く所が必要です。(衣、食、足りて礼節知る)言うはやさし、現実は何今出来る事を踏ん張るしかありません。しかし、高齢で孤独な独り男は、いずれ、米子市に頼るしかありません。その時はよろしくお助け下さいませ。日々、安心して過ごせる事を願い、望んでいます。
男性	70歳以上	中央地区	県外から転勤で米子市に来て23年になります。その間大きな災害もなく、住みよい米子市だと思っております。今年で定年退職します。米子に永住しようと計画しております。住みよい、安心・安全なまちを望みます。
男性	70歳以上	淀江地区	中心市街地の活性化ばかりでなく周辺地区を活性化し日吉津地区、伯耆町地区、南部町地区、淀江地区等を含んだ新しい都市計画をして欲しいと思います。それには先ず市役所の移転等による中心地区の移動が必要。又、高齢者には運転免許証の返納等により買い物、通院が難しくなりそれに対して交通の便も減少し、生活は苦しくなるばかり。学生又運転免許のない者も通学、通勤が出来る様交通機関の充実も必要と思う。生活しているのは米子中心地区の者ばかりではありません
女性	30歳代	中央地区	コンパクト・プラス・ネットワークについては早急に進めるべきだと思います。現在も大規模空地、空き店舗(パチンコ店跡など)があり、そのような場に山陰地方には出店していないような大型ショッピング店を出店するようになると、若い年代の移住・定住も見込まれるのでは?米子市だけでなく、周辺の県西部の町村とも連携して進むと、若い人も住みたいと思うはず。コロナ禍というもあり、東京・大阪からIターン、Uターンを増やすチャンスだと思えば、今動いて若い人を取り込み将来希望ある街づくりを目指してほしいです。私は鳥取市役所職員として働いていた時がありました。米子市は鳥取市よりも住むのに魅力ある街・人だと思います。
女性	30歳代	中央地区	コンパクト化には反対です。
女性	30歳代	中央地区	生まれ育ったところなので、これから住みよくなっていけばうれしいです。
女性	30歳代	中央地区	鳥取県はとても住みやすい街だと思います。私たち県民も、もっと鳥取県・米子市の良さに気づいて、これからの未来のためにまちづくりを考えていくことは大切だと思います
女性	30歳代	中央地区	米子が大好きです。子供達が健やかに米子で成長し、成人してからも住み続けてくれるように、私達も協力して、皆で米子を住み良い街にしたいな、と改めて考える機会になりました。
女性	30歳代	中央地区	米子市全体が住みやすいまちづくりになることを願っています。よろしくお祈りします。
女性	30歳代	弓ヶ浜地区	出雲市のように、新しい都市計画で道路、病院、スーパー等、新しい町へ
女性	40歳代	中央地区	米子のまちは大好きです。車がないと移動が本当に難しい。コンパクトなまちになると、将来車に乗れなくなった時に助かります。少子化も心配なので、子育てしやすいまちにもよくなっていくといいと思います。
女性	40歳代	中央地区	より住みやすいまちになるようお願いいたします。米子は良い所です。
女性	40歳代	中央地区	多くの地域に見られることだと思われるが、地域の行事などの地域づくりを主として行われている方は高齢の方が多い。もっと若年層が地域づくりに参加できる仕組みがあればいいと思います。そして、誰もお互いに支えあえる町になっていけたらいいなと思います。
女性	50歳代	中央地区	米子は住みやすいまちで、とてもありがたいです。子育てしやすいまちと言われた時代もあったと思います。子どもたちが楽しく、夢の持てるまちづくりをお願いいたします。
女性	50歳代	箕蚊屋地区	問14のコンパクト・プラス・ネットワークについては(推進に)理想としては、賛成ですが、自分の住む地域が不便になるのではないかと心配です。アクセスポイントの数や自宅からの距離など、具体的にイメージできないので不安です。まだ情報が少なく(不勉強で申しわけありません)必要だと言いきれません。
女性	60歳代	中央地区	子どももお年寄りもゆったりと過ごせるまちづくりをお願いします。
女性	60歳代	中央地区	最先端を取り入れたまちづくりに期待します。高齢者になった時安心して過ごせる米子であってほしいと願っています。

性別	年齢	地域	内容
女性	60 歳代	淀江地区	米子市と言っても淀江地区なので、今ひとつ、「米子市のまちづくり」を少し、自分のこととして考えにくい。今は車でどこへでも出かけられるけれど、もっと高齢となって自分で気軽に好きな所に行けなくなった時も、安心して地域で暮らせるようになってほしい。今もそうなのかもしれない。コンパクトプラスネットワーク型のまちづくりの考え方はすばらしいと思いました。
女性	70 歳以上	中央地区	あいさつ、感謝のある町づくり 心の閉そく感より開放感の充実で元気で暮らせる町が良好
女性	70 歳以上	中央地区	六十年程前に他県から米子へ移住して来ました。当時は賑やかで公園の海の浜はボートが一杯でにぎやかで皆楽しく遊び、四方の景色もよく大好きな街だと喜んでいましたが今は全くないですね。鳥大医学部に入学される学生さんは他県から入学され、卒業されると帰って行かれるのでしょうか。もし 3~4 年は鳥大医学部へ残って帰って行かれると云う事は出来ないのでしょうか。今は自家用車の車時代になったからか、昼間歩いている人が少ないですね。どうか人口も増え商店も賑やかになり米子の発展を祈っています。
女性	70 歳以上	中央地区	(私は 80 才になります。)米子は自然に恵まれたすばらしい町です。若者が住み易いまちづくりを中学生、高校生と話し合う機会を多く持ち、若い人達が住みたい・働きたい・来たい町づくりをめざして下さい。米子の歴史的建物、催事、物語、等々市民誰もが、市外、県外の方々に説明出来る教育を…。
女性	70 歳以上	南部地区	昔の米子は多くの人が出入したことでしょう！元町サンロードを昼間見ると寒くなる思いが致します。人はいつまでも古いものを大切にすることは良いことだと思いますが、新しい時代がきたことも又知るべきではないでしょうか。思いきりよく一新して新しい時代に突入していくことも又大切だと思います。日本人の懐古主義はとてすてきだとは思いますが、自らの居住地を犠牲にして、思いきって新しい大きなもの(多目的利用空間)をつくって山陰の人をあっ！！といわせるのも一考と考えます。(但し多くの企業・商店を入れる)
無回答	20 歳代	中央地区	最近、カフェなどの若者向けの施設が増えてきており、個人的にとて嬉しく思います。今も地元がとて好きですが、どの世代も楽しく便利に過ごせる米子市になればいいと思っています。
無回答	40 歳代	中央地区	年金、税金に頼らない、市民が 80 歳まで仕事を持ち、シェアを最大限活用したテクノロジーの恩恵を受けるまちづくり。子どもを 2 人以上作る家庭へのインセンティブ。離婚しても子育てしやすい町。英語、中国語を日常的に使える町。東京、NY に負けないオシャレなカフェ・レストラン・バーの建物を市がつくり、委託する。家の解体を安くできるように米子市が事業をする。まとめて入札で金額を出す(期間を 6~8 月)。高級住宅街を作り(石畳の町 100 世帯)、便利さ、快適さ、あこがれを作り出す。アーティストの集まる地域づくり。アート予算を 5 億/年、杉花粉のない町。農業、畜産を市内で増やす。コンペティションが毎月ある町(アート、音楽、映画、建築、お笑い、レストラン、カフェ、バーなど)。まちづくりは子作り。動物と共に住むには快適な町モデル。高齢者のお金を使う場を用意すること。美容、健康、癒し。市が土地を担保にお金を貸すこと。
無回答	50 歳代	中央地区	全国でも問題になっていることを、米子市として今後どうしていくか計画的に進めていくことですが、経済をある程度守らなければと思うのですが、自然を取り込んだ働き方を誘致したりして、あるものを利用しながら米子市が将来なくならないように考えていって下さい。10 月 2 日新聞掲載の記事、米子市中期財政見通しを読むと不安になりました。
無回答	50 歳代	中央地区	経済が低迷していく中、活気のある米子市にしていきたい。中心部に人が集まる目玉的な施設があったり、子どもの頃(40 年前)のように、わくわくするような商店街があるなど、市場的な(例えば錦市場、黒門市場)老若男女が行ける、米子市場、市場など活気のある場がほしい。イオンなどの商業施設もいいが、少し昔に戻って、通りを歩いて買物するという、進化するのもいいが、逆に昔に戻るといふのもあると思う。そこから新しい発見があるかもしれない。

性別	年齢	地域	内容
無回答	70 歳以上	中央地区	米子市をキレイなまちにする。汚い。子供が少なく、老人ばかり多くなるので交通手段がない。老人が多いため、昔の様に荷売りのような人がほしい。米子をキレイな町にしよう。市長ももっと歩いて米子を見ること。テープカットに出るだけでもいけない。

【交通に関する意見（40 件）】

性別	年齢	地域	内容
男性	20 歳代	無回答	車を所有せず、シェアするような、カーシェアの普及 バスの乗車率が低いと、小型化しても良さそう
男性	30 歳代	中央地区	米子市内に信号が多く渋滞し、近くに行くのも時間が掛かる為、道路を整備すること。
男性	30 歳代	中央地区	交通量が多いが歩道がなく危険な通学路の放置（に見える）、道が不自然に曲がっていて雪の日の危険な箇所も多々あり、「歩行者（及び軽車両）と車が共存可能なまちづくり」はほど遠いと感じる。なお、外浜道路の改良工事を行っているが、なぜ同時に道幅拡張をしないのか。常に自転車で通る妻は車にあおられる状態です。
男性	30 歳代	箕蚊屋地区	古豊千は大型トラックの交通が多く非常に危険です。猛スピードで通る大型トラックのそばを歩いて学校に子供を通わせないといけないと考えると心配です。歩道も整備していただけないのであればどのように安全を確保出来るのでしょうか。アンケートをとるのは良いと思いますが、市民の声一つ一つにしっかりと対応していただきたいです。日々の業務でお忙しいとは思いますがどうぞよろしくお願い致します。
男性	40 歳代	中央地区	車がなくても便利な交通をととのえてほしい。だんだんバス・まいにちループバスとかがずっとやって頂きたい。
男性	40 歳代	中央地区	バスが回っていれば人が集まるかといえどそんなわけではない。自動運転が発達すれば「人の運転しないタクシー」が公共財になりえるのでは。
男性	40 歳代	中央地区	交通弱者の取り組みをお願いしたいです。
男性	50 歳代	中央地区	旧市内の道路は歩道が少なく、歩行者、自転車、車が混在していて非常に危険。もっと歩行者、自転車を優先したまちづくりにしてほしい。米子の街は車が無くとも暮らしていける街だと思う。
男性	50 歳代	中央地区	国道 431 号線のけやきの木にイルミネーションを付けてほしい。街全体が暗く防犯対策に。日本海新聞の方面から皆生方面の 431 号線が希望。
男性	60 歳代	中央地区	商店街の復活と、交通の便の確保。自家用車であれば駐車場、公共交通であれば便数の確保。
男性	70 歳以上	中央地区	米子市米川沿いの街灯が暗すぎて自転車道が暗すぎて。とても危険です。もっと街灯を増やして明るくしてほしいです。
男性	70 歳以上	中央地区	米子陸上競技場の外回りにジョギング・ウォーキングコースを作っていたら嬉しいです。雨や雪の日及び夏季の熱中症対策に屋根をつけてもらえたら利用者が増えると思います。また、街灯があれば夜間も利用できて便利です。
男性	70 歳以上	弓ヶ浜地区	だんだんバスについての不公平性は、米子市民として特に不満がある。維持も税金を投入する現行には尚更そのものである。市、県の集合団地の中でも、永江団地、名神団地のように各方面からの集中するバス便がある所を除けば、あっても無くてもいいに等しい。極端な見方をすれば中心地の人はどこにでもバス利用が可能な所に住んだら、ふれあいの里の風呂に 1 番先に入るためにだんだんバスを使っているとの話題すらある。例えば富益団地等も不公平そのものである。市は建てるだけで、あとの対応策が続かないいい例である。
男性	70 歳以上	弓ヶ浜地区	R431 の高架道の建設は反対です。現在の R431 の両側に道路を設置し、片側 3 車線にする。
男性	70 歳以上	弓ヶ浜地区	米子～境港間の高速道路の早期実現…
男性	70 歳以上	南部地区	今はコロナで難しいかもしれませんが、岡山からのやくもをもう少し、ゆれない、快適な線路にして、米子駅から随時発車するハトバスの様な旅行客をあきさせないコースを充実させ県外者に、米子にお金を落とさせていただく。
男性	70 歳以上	淀江地区	道路にはみだしている樹木を剪定する様に指導して下さい

性別	年齢	地域	内容
女性	10 歳代	淀江地区	私が高校生だったとき、朝の通勤・通学に使われる 7 時台の 2 本の電車がどちらも満員で淀江駅から乗車しようとする人が多すぎるために、運転手さんまで降車して、誘導しなければならぬほど、全員が乗車できるまでにとっても時間がかかっていました。乗車人数が少ない時間帯には車両が 3, 4 両と多いのにも関わらず、乗車人数が多い時間帯に 2 両など車両が少ないと感じていました。改善していただければ、よりスムーズに交通機関を利用できるようになると思います。また、電車の本数自体が少ないため、乗り遅れると、1~2 時間近く次の電車を待たなければなりません。県外に 1 度出てしまうと、米子市の公共交通機関は余計に不便に感じてしまいます。特に学生さんのために改善をお願いします。
女性	20 歳代	淀江地区	様々な地域にまんべんなく街灯があると安心します。
女性	30 歳代	中央地区	市内を走るバスは大型ではなくマイクロサイズや大型タクシーのようなものに。シェア等の利用の仕方の方が省エネで、これからの高齢化に必要だと思う。
女性	40 歳代	中央地区	公共交通の利便性がよくないと将来的に免許返納しようと思ってもできないような気がします。高齢ドライバーが多いので返納しても生活しやすくする必要があります。
女性	40 歳代	弓ヶ浜地区	自動車手段（免許返納）が少なくなるので、それに対応した住みやすいまちづくり。
女性	40 歳代	淀江地区	子供がくまが少し前に出たので怖いといっています。仕方がないですが夜も暗く自転車では怖いです。何かいい方法があればいいのですが…子供がへっていきばかりです。
女性	40 歳代	無回答	高齢者が自動車免許を返納しても、今までと変わらず行動できる公共交通も全地域に。市営バスにほとんど人が乗っていないので、スクールバスとしても利用。
女性	50 歳代	中央地区	今は自家用車で動いてしまうことが多いのですが、将来的には路線バスを使うようになります。今ある路線バスは何とか存続してもらい、米子市、子どもから高齢者がバスと徒歩で楽しく過ごせるまちであり続けてほしいです。
女性	50 歳代	中央地区	現在は車で移動可能ですが（自分で運転）将来いつまで運転ができるのか…その時生活がどうかわっていくのか、その時行政がどのように支援していただけるのか、少しずつ考えておかないといけないと感じました。コンパクト・プラス・ネットワークに期待します。
女性	50 歳代	中央地区	現在、ほとんど車での移動ですが、この先、バスも利用して行くと思います。近く（歩いて 10 分くらい…？）のバス停を利用するにしても、便が少なく、行き先も米子駅なので、どうしたものか…と考えます。年と重ねると…いろいろ大変ですので、タクシーの料金等を、減額あるいは補助があると動きやすくなるのでは…？と思います。
女性	50 歳代	中央地区	冬の除雪のサービスが本当に残念です。生活に必要な道路の除雪をしっかりしてほしい。朝、仕事に行くのが不便。近隣の町村は除雪がスムーズにされている。米子市が一番遅いと思う。
女性	50 歳代	弓ヶ浜地区	路線バスが使いにくい。運賃も高すぎて驚く。便が少ない。
女性	60 歳代	中央地区	登校時間帯にトライアル～西高の地下道は自転車道がなく、とても危険な状態である。車の交通量も多く、すれ違うのも大変危険です。事故が起こる前に道路の拡張を早急をお願いしたいと思います。
女性	60 歳代	弓ヶ浜地区	海岸線に出来たサイクリングロードを利用していますが、船着き場の辺りの道路が危ない気がします。信号機・横断歩道の設置を。
女性	70 歳以上	中央地区	免許返納高齢者は交通手段が問題。コンパクト・プラス・ネットワーク型で近隣で行きやすい場所も必要。
女性	70 歳以上	中央地区	車優先社会も大切かも知れませんが、現実には老人が多くなるのが目に見えています。もっと歩道の整備をしてほしいです。安心安全な歩道、老人車でゆっくりと歩いて買物できるような。
女性	70 歳以上	淀江地区	小さい所ですが市道に草が伸びているので草かりをして欲しいです。又草が伸びていて川との境界が判らないので柵を作って欲しいです。（落ちたら用水路で深いです。）お願いします。
無回答	30 歳代	中央地区	住吉地区には、救急車両が通りにくい道幅のところが多いので改善してほしい（無電柱化等々）

性別	年齢	地域	内容
無回答	40歳代	南部地区	交通の利便性が良くなるように期待します。(バスの便数が増えるように) 自家用車が無いと生活に支障が出てしまうので
無回答	60歳代	中央地区	高齢化社会が進み、運転免許の返納等により交通弱者が増大することが予想される。社会生活を維持していくための交通インフラをどのように整備していくかを検討していくことが急務であると考えます。
無回答	70歳以上	中央地区	交通の便が悪く、不便に感じる。
無回答	70歳以上	中央地区	中心市街地と郊外を結ぶ、公共交通の充実必要。(高齢者が郊外から市街地に出入りできるように！)
無回答	70歳以上	中央地区	公共交通の再整備を至急行ってください。例えば居住区の皆生4丁目付近は労災病院行きの日交しか運行していません。高齢化社会に向けて各地域の公民館、住民からの意見をよく聞いて、運行経路を至急再整備してください。2時間、3時間に一本といった運行状況では地域の人は利用しないと思います。 高齢社会に向けて公共交通の改革は大きな課題です。

【防災・減災に関する意見 (29件)】

性別	年齢	地域	内容
男性	30歳代	中央地区	災害が起きる前に出来ること、起きてからやらなければいけないことを、住民側、行政側が理解していない気がする。防災活動といっても、炊き出しや避難所のことばかり。災害が起きる前の準備をしているかをもっと普及啓発すべき。地震は突発だが、台風や大雨は予測してくれている。全部一緒になって考えているから進展がない。日中に災害があったって消防団や若者は居住地にはいない。
男性	40歳代	中央地区	今一番気になるのはペット(13才小型犬/心臓病持ち)がいる事で、災害時の避難場所の事です。
男性	40歳代	南部地区	地域機能や消防団、行政などが一体的に動ける仕組みが必要だと思います。みんなが自助力を高められるよう促しが必要だと思います。
男性	60歳代	中央地区	今夏の大雨で広報車が巡回していたが、聞きにくかった。また身近な危険とを感じる様に理解できなかった。地域により内容に変化があってもいいのでは。ハザードマップは手元になく窓口ではネットで見ると言われてた。身近な意識が希薄であった。
男性	60歳代	淀江地区	東日本大震災で、巨大な防波堤を作成したとしても、それを超える災害は直近に発生すると思います。
男性	70歳以上	中央地区	津波が起きた時に避難できる高い所(建物)とか各地区に出来ればいい。内浜産業道路側の方にももう少し商業施設とか活性化して欲しい
男性	70歳以上	中央地区	島根原発合格とは。米子市民、鳥取県はどう考えているのか？
男性	70歳以上	弓ヶ浜地区	防災害に関するスピーカーの放送が聞こえにくいので、はっきり聞こえるようにしてほしい。
男性	70歳以上	弓ヶ浜地区	弓浜半島の実行性ある津波対策を…
男性	70歳以上	南部地区	長くなりますが、島根原発再稼働絶対反対です。島根の話しても、私達の地域は避難区域に入っています。自然災害の大きくなってきている今、人間の想定外の被害が世界で起こっています。米子を失いたくないです。誰が今すぐ止められますか？福島悲劇があってもまだ目が覚めないのでしょうか？第2の福島が起きたら米子どころか日本は終わりです。除染は誰がやるのですか？お金をバラまけば何とでもなる。誰かが、やる。そんなバブルの時代は終わりました。失われた命は返せますか？福島元に戻せますか？明るく、安心して住める米子、やらない決断が一番ではないでしょうか？地球の為にできる事をつつましかにやっっていく、これ以上地球をこわさない事が未来の明るい米子・日本・地球につながると思います。少くらしい生活が不便になっても、恐ろしい物に頼って全てを失うより原発なしの方が良いです。 どうか、それをしていただける、実践して下さる政治であってほしいです。お願い致します。
女性	40歳代	中央地区	安全面の強化。地球温暖化に伴って、線状降水帯が発生しやすく、大雨の対策が早急に必要と思われる。安全も確保されていないのを見た目だけのまちづくりは予算の無駄なのでやめてほしい。道路排水強化を望みます。

性別	年齢	地域	内容
女性	40歳代	弓ヶ浜地区	徒歩圏内での防災対策の充実。
女性	40歳代	淀江地区	私の住んでいる所は土砂災害の危険性のある地域です。最近では長雨が続きたりして心配です。前もって避難といってもなかなか行けないのが現状です。地域と商業施設（近くの）や地域と公民館からもっと密な関係になり、災害の危険性がある時にもう少し利用しやすくなるように関わっていただけたらと思っています。
女性	40歳代	無回答	災害発生時の避難指示について、警戒レベル4避難指示で必ず避難とのことですが、避難指示が出た地域でも、条件を満たしていれば安全と判断できることもあり、正直どう行動して良いのかよく分かりません。最終的には、自己判断となるのですが、判断基準が、誰にでも分かりやすい形になっているといいなと思います。
女性	50歳代	淀江地区	人が生活するうえで最も大切なのは、防災と医療だと思います。米子市にも河川が多くあり、町の中を見ても、素人の目から見てもここは危険じゃないの？って箇所があります。もっと、一人一人が注意できるように意識を高めると同時に、行政も自分のこととして受けとめ、市民が安心して暮らせるようにしてほしい。
女性	60歳代	中央地区	防災放送が聞こえにくい。特に屋内にいる時などは、全く聞こえない。
女性	60歳代	中央地区	家の横に山があり、とても心配しています。主要な通りの方は山の補強がしてありますが、裏の方はそのまま、雨水が裏に流れてくるのではと心配しています。ぜひ裏山の補強もお願いしたいと思います（陰田町）。
女性	60歳代	弓ヶ浜地区	弓ヶ浜地区に住んでいるため、常に津波の心配をしています。東北ほどの高波は来ないかも知れませんが、避難場所は必要と感じています。R3.9.18の日本海新聞で、「米子境港間の高規格道路要望」の記事を見ました。この地区は砂地で地盤が悪いので、この道路と隣接すれば強固で安心安全なものができるのでは、と思っています。
女性	70歳以上	中央地区	災害時の避難場所の確立（イザという時の安心受容の必要）
女性	70歳以上	中央地区	是非お願いします。私は現在あまり歩けない主人を介護しています。放送でどこどこに避難してください、といわれても公民館で、夜中のトイレは1階で不便です。避難場所はどちらがよいですか。
女性	70歳以上	中央地区	今後予想される感染症や自然災害へのリスク管理や予防防災対策の基本は、住民一人一人が自立的に自らが行動でき、地域住民の助け合い、絆が日頃から出来上がっていることが一番だと考えます。その為には、計画だけでなく、その計画に従ってより高いレベルでその時行動できるかにかかっています。その為の訓練を繰り返し実行できる地域の力を育てることに行政は力を注いでください。リーダーの下に町内の皆様が結束できるまちづくりのソフト面が不足していると感じています。
女性	70歳以上	箕蚊屋地区	防災対策が重要と思いますが地域ごとに対策はちがうので足を運んで危険箇所の把握、住民との話し合いを行い対策してほしい。
無回答	40歳代	中央地区	日野川の整備など、近くに住んでいるので対応されているとわかりますが、斜面崩壊などが起こるところはどこか、私も認知不足でどんな対応をされているのか見えていないです。
無回答	40歳代	南部地区	自分のことは自分で守る必要がある。しかし高齢者がいると、共に避難しなければならない。これは自治体レベルで車椅子の人、独歩の人、幼児等を把握し、年に一度はマニュアルに沿った訓練が必要。急に避難と言われても慌てると思うので日々の訓練をしていく必要がある。米子市は大山に守られて安心という考えがあるが、いつ、どこで災害が起こるかわからない。今後はこのようなことを検討していただきたい。親が仕事で、避難指示が出ても仕事で離れることができない。小学校が避難場所になっているが、海拔が低いので、子どもたちには小学校へは行かず、高い所へ避難するよう言っている。場所によって危険な箇所もあるので、家庭での指導が必要になると思う。
無回答	50歳代	中央地区	何回か米子市のハザードマップや道路計画等の地図を見させていただいたが、建設、土木用のもので素人ではとても見にくく、何のため、誰のためのものなのか。しかもPDFファイルが重すぎて読み込む時間が長すぎる。見てる間にエラーが起きたりすることもある。これではいざ災害が起き、どこに逃げて良いのか・探している最中に行き場を失いかねない。誰

性別	年齢	地域	内容
			が見ても、どの年代の人が見てもわかりやすいマップ、親しみやすいグーグルマップとかにしてほしい。これがまず、防災の一步ではないかと思う。
無回答	60歳代	中央地区	車で9号線を走っていると、県境近くに海拔何メートルの表示があるのを見かけますが、そこ以外はあまり見かけません。そこでいつも私達の住んでる所は、どれぐらいだろうか、と話しています。住吉地区ですが、そこ以外でも表示していただくと、皆が改めて自分の住んでいる所の防災意識も考える様になるのではと思います。
無回答	70歳以上	中央地区	今は色々の災害が起きることの多いときですが災害に遭った時米子市民に即座に生活に困らないよう充実した米子市でありたいと思います。
無回答	70歳以上	中央地区	米子市は他と比べると今まで災害が少なく、安心して暮らせる良い環境に恵まれていました。しかし、近年異常気象により、以前とは考えられない大規模な災害が頻発するようになりました。備えあれば憂いなしと言われるように、平時にこそ真剣に取り組むべきと考えます。今一番心配なのは島根原発です。原発が危険にさらされたら、米子市は大変な事態が起こると思います。日本は原発に頼らず、自然エネルギーへ向けての努力を積極的に行ってほしいと思っています。
無回答	70歳以上	中央地区	米子市の拡声器放送は、場所によってかもしれませんが音が大きくなったり小さくなったりで、全く聞き取れないです。せめて各地区にスピーカーを設置する等の改善を望みます。

【市街地整備・活性化に関する意見 (21件)】

性別	年齢	地域	内容
男性	40歳代	中央地区	富山の様に、団子の外にイオンが出来ればひっくり返るような計画です。ちゃんと団子の中に集客施設を誘導しましょう。それがキモです。小都市です。愚直にこれでもかというくらい集めましょう。そこにこそ金も力も注ぐべき。
男性	40歳代	中央地区	新米子駅完成後の周辺の活性化
男性	40歳代	淀江地区	最近の米子市の休日は中心市街地よりも、R431 周辺の方が活気があると思っています。それに加えて、県外者の方(きたろう、皆生)も R9 より R431 を通られると思う。米子 IC を下りて壽城はあるけど…。道の駅等々、米子 IC 周辺の開発を希望します。
男性	50歳代	中央地区	地元の商店の活性化のアドバイスがほしい。皆どうしていいかわからなくなっていると思います。
男性	70歳以上	中央地区	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館付近の公園を整備して、他県にあるような噴水の中で小さな子供達が遊べるような場があれば楽しそう… ・又、その付近に本屋さん、コンビニ、戸外でもテーブルがあり飲食出来るレストラン等まとまったエリアの中に集まっていれば便利かと…。 ・東山公園付近に、スポーツ関係の建物が出来るなら、充分過ぎる駐車場を。 ぜひ、コンパクト・プラス・ネットワーク型のまちづくりをつくって下さい。
男性	70歳以上	弓ヶ浜地区	周辺地域の再生は、即市街地の発展にもつながるのではないのでしょうか？
男性	70歳以上	南部地区	もう少し駅をビル化して魅力あるショップを展開し、県外者がリピートできる環境を整える。そうすれば駅周りの店もまた潤うと思います。
男性	70歳以上	南部地区	中心市街地が実現すれば他地域に住む住人は、近くに公共施設がなくなり生活がなりたなくなる
女性	20歳代	中央地区	米子市の商店街が、昔のようににぎわい、再び輝いてほしいと願っています。高齢化に伴い、お年寄り、介護をしている方々が気軽に立ち寄ることが出来る施設ができると嬉しいです。コロナ禍でいろいろな対策は必要ですが、まだまだ元気でパワフルで、いろんな知識のある方がもっと活躍してくださる場があると、若い世代に様々なことが受け継がれていくと思うので、そのような環境づくりが発展してほしいです。
女性	40歳代	中央地区	境港や倉吉のように中心地に無料駐車場を作らないかぎり、商店街も駅前も城あとも人が集まらないと思う。無料駐車場があればコストを下げられ、店を出店する人もでてくるでしょうし、ちょっと行ってみようと思う人も増えるのではないのでしょうか。倉吉で地震にあった時に米子に帰れ

性別	年齢	地域	内容
			ず、無料駐車場がものすごくありがたかったので、災害時にも利用できるのではないかと。人を集めるなら、泣く部分も必要かと。
女性	40歳代	弓ヶ浜地区	外出可能な範囲での生活施設。
女性	40歳代	無回答	商店街近郊に駐車場を増やしてほしい。期待しています。
女性	40歳代	無回答	米子駅前が何もなくて閑散としていてさみしいです。駅ビルの中に商業施設があればいいのにと常々思っています。
女性	60歳代	弓ヶ浜地区	「米子駅」の中身は知りませんが、せっかく線路や汽車が見られるので、そちら向きでお茶ができるカフェなど出来たらいいなと思っています。
女性	60歳代	弓ヶ浜地区	景色がサイコーなのでカフェや図書館などゆっくりできる所があるといいなと思います。「朝日町」の飲食店あたりは暗くて怖いイメージがあるので、駅の方へ行きます。
女性	60歳代	弓ヶ浜地区	旧商店街あたり、通ってもあまりにも寂れているのですが、お店の事情でシャッターが閉められているのはわかりますが、何とか活性化できないのでしょうか。また、借地に建てられているという市役所。将来も借地料を払い続けていくのでしょうか。無駄ではないかと思いますが。
女性	60歳代	南部地区	市内（中心部）だけの強化ではなく、市街地その周辺からの整備を望む。
女性	70歳以上	中央地区	中心市街地の活性化。たまに街に出て歩いてみると空き店舗だらけ。昔は山陰の大阪と言われるくらい町全体活気にあふれていた。あの頃の米子のまちが懐かしいです。ぜひ活気を取り戻してほしいです。
無回答	30歳代	中央地区	密集エリアの空き店舗を発生させない取組。
無回答	40歳代	中央地区	私は高齢になり、運転ができなくなれば生活していけるのかという不安があります。近くにいろいろな施設、特にスーパーがあればいいと思います。
無回答	40歳代	中央地区	日頃より住みやすいまちだと思っていますが、若い世代（学生等）が安心して集えるフリースペースや勉強できる場が少ないと感じます。高齢化対策と併せ、にぎわいのあるまちづくりを望みます。

【教育・子育て環境に関する意見（19件）】

性別	年齢	地域	内容
男性	20歳代	無回答	子育て支援に対する助成金を増やす
男性	30歳代	中央地区	人口に対して保育園が少なく、待機児童が多くいる為、保育園が学童保育を増やすこと。子育て世代への支援をすること。
男性	30歳代	中央地区	鳥取県は子育て王国とうたっていますが一体どのあたりに力を入れているのでしょうか？他県から引っ越してきましたが、幼稚園が私立しか無く高額で（今は無償化になりましたが）、病院は無償でなく少し助成があるだけ子育て支援センターも車でないと行けない距離。他市、他県の方がよほど充実しているとずっと思っていました。お店も主要都市には1軒はあるようなものがない。充実させてほしい。
女性	20歳代	中央地区	私は高校卒業後、大学進学のため県外に出ましたが、就職を機に米子市へ戻ってきました。しかし、同級生で一度県外に出た人の多くは都会で就職し、ほとんど戻ってきていません。若い世代が米子市へ戻ってきたくなるような取り組みが必要だと思います。特に、雇用機会や育児世代への支援は、他の自治体にはない魅力的なものが必要だと思います。また、私自身は現在子育てをしています。子ども1人にかかる費用を考えると、子どもは2人までかなと考えています。経済的な余裕があれば3人目も考えたいと思うので、ぜひ子育てにかかわる金銭面での支援を手厚くしてほしいです経済的に困窮している世帯向けだけではなく、中流・平均的な家庭に対する施策を望みます。
女性	20歳代	中央地区	22歳の子育てママです。米子市がもっと子育てしやすい市になってほしいです。一人ですべていけるくらいに、子どもを夜おそくまで安くきがるにたのめる施設やサービスや、子どもと一緒に遊べる、休けいできる場所（イオンモールみたいな）そんな場所やサービスをもっと充実させてほしいです。
女性	20歳代	中央地区	現在2人の子どもを育てていますが、保育料が無償化になったとはいえ、高いです。3人目など不安で考えられません。夫婦そろって公務員ではありますが、それでも3人目は躊躇しますので、パートなどの方はもっと不安ではないでしょうか。

性別	年齢	地域	内容
			自分の周りでも経済的な不安を理由に子どもをあきらめる方もいます。高齢者ばかりに目を向けるのではなく、もっともっと若者、子育て応援をしてほしいと思います。
女性	30歳代	中央地区	現在子どもが小さいので思うことだが、米子市は公園の遊具は新しくなっている、安来のように新しい大きな公園は弓ヶ浜にしかない。静岡県島田子ども館のような、無料や低価格で利用できる室内の遊び場や体を動かせる施設、総合公園を充実させてもらいたい。 雨や雪が多いので。子どもがたくさん遊び、活動できる場があれば人口は増えると思う。プールもすべり台等が少なく、遊べる温水プールなどがほしい。また、動物園がむずかしければトムソーヤ牧場等のふれあい施設を無料にしたり、充実させたり、動物のふれあい広場を作ったり、サポートしたりしてほしい。他の県等を視察して参考にしてほしい。
女性	30歳代	中央地区	子育て世代主婦ですが、周りも保険料が負担になっています。特に小さい子持ちは、子どもが病気をして仕事を休む日が多く、でも給料が減っても月々の保育料は変わらないので困っています。保育料が0歳から無償になれば、市民の子どもを増やす考えがだいぶ変わってくると思います。
女性	30歳代	中央地区	米子市は子育てに向いていない市だと思います。もっと子育てをしやすい環境を整えるべきだと思います。県外から来たので、公立の幼稚園がないこと、給食が質素であることに驚きました。日吉津村や大山町、南部町で育てた方が良いという声をよく耳にします。
女性	30歳代	中央地区	とっとり子育て応援パスポートですが使える場所などがもっとわかれば良いと思います。使える場所もっとふえればうれしいと思います。
女性	30歳代	弓ヶ浜地区	もっと子育て支援をしてほしい。都会へ出て行った人がまた米子で子育てしたいとUターンしたくなる様な米子独自の取り組み。将来過疎化する事がわかっているので早めに実施してほしい。人口が増える事で子育て、高齢者へのサービスも出来ると思う。未来をよりよくする為にはまずはこの2点をしっかりと考えてほしい。口ばかりじゃなく実行を!!!せっかく米子へ帰ってきたので境港に負けない様に(笑)
女性	30歳代	南部地区	子育て世代への支援がうすい、税金・保険料等が高く家計に負担がかかる為子育てが決してしやすい環境とは言えない。例えば、出産祝い金や、子供手当での市での上乗せ学童保育の時間延長や中央地区以外での充実など、ほかの市町村で実施されていることや、共働き世帯が子育てしやすい環境を整えないと少子化対策にならないのではと思う。
女性	30歳代	無回答	子育てしやすい環境を整え、若い世代も住みやすいまちにしてほしい。
女性	40歳代	中央地区	子供(小学校高学年～中学・高校生)が友達と遊べる場所が少ないと引越してきた時に思いました。
女性	40歳代	中央地区	山陰の中心となる町づくりができるとういと思う。松江や鳥取市よりも店があり、便利で、若者が楽しめる町づくり。子育てしやすい町→1年中どんな時期でも入りたい保育園に入れる、というような環境。育休を早く切り上げて4月から入れるために活動するのではなく、1年中、入園できるとよい。何月生まれでもOKな米子市。をめざす。小学校の学童ももっと充実して、安心してママが働けるようにしてあげてほしい。
女性	40歳代	無回答	公園があっても遊びに制限があるため、小さい子供から大人までゲームばかりではなく、思い切り体を動かせる施設をぜひ。
女性	50歳代	中央地区	米子市という町はとても住みやすい所だと思います。子供が学校卒業して孫を見る様になって感じる事は、子供の遊べる場所がやはり都会より少ない事でしょうか。雨降りであったり、ちょっと遊びにという所が本当に少ない。
女性	60歳代	中央地区	子育て環境の充実。
無回答	60歳代	中央地区	私自身、子育て支援に関わる仕事をしています。心配なこと、不安なことがあっても相談できる人がいなくて困っている人がいます。何でも気軽に相談できる、そんな環境の充実も不可欠です。地域ぐるみで子育てができる、そんなまちづくりが必要と感じます。

【各種施設に関する意見（16件）】

性別	年齢	地域	内容
男性	30歳代	中央地区	公会堂と米子市文化ホールのような、大型で目的が被る施設の一本化など、効率の良く無駄のないお金の使い方を望んでいる。転居前のまちの方が活気もあり住みやすいと感じており、少しでもいいので追いついてほしいと思っている。
男性	40歳代	弓ヶ浜地区	湊山公園をなくして、医大を大きくしてほしい。ひまわり駐車場をなくして、バスターミナルにしてほしい。米子駅周辺から医大までの直線道路に商業施設を集めてほしい。
男性	70歳以上	中央地区	米子城が復元されるそうですが、登るのに直線のケーブルカーで上がるようにして、下りるのもケーブルカーを利用するか、歩いて下りるようにしては如何ですか。動物園が一つほしい。
男性	70歳以上	中央地区	人口増を目指し、医療と福祉（高齢者と子育て支援）を充実させることも必要だと考える。医療と福祉の充実した住みよい街を創り、全国に発信すれば転入する人も増えると思う。転入者に対する支援も同時に行う。
男性	70歳以上	弓ヶ浜地区	自分の障がい保険も少し在りますが今からでも特別老人ホームに入れて頂きたいのですがなかなか空きがなく辛いです。兄がおりますが高齢（81才）で入院などの時は面倒かけておりますが無理なのが実情です。事情によっては早く入れる様なシステムをお願いしたく思っております。よろしくお願い申します。勝手なお願い済まなく思います。ありがとうございます。
男性	70歳以上	南部地区	米子駅のトイレ、誰が考えたのでしょうか？新しくなり前より狭くきゅうくつでいごちが悪いです。快適でないトイレの駅の街には行きたくないです。同じお金（税金）つかうなら、人の目線に立ってお願いします。米子がよりよくなる様に、願っています。お願い致します。
女性	20歳代	無回答	以前は、自分で移動できていたのでこうなったらいいなどありましたが現在は、それも難しい状態になりました。福祉サービスを利用しているため、その内容をもっと分かりやすくしてほしいのと、いざという時どうすればよいかなどの情報を教えてほしい。福祉のサービスが利用しやすいといいですね。
女性	40歳代	中央地区	米子駅周辺へ行政施設の移転、スポーツ施設の整備
女性	40歳代	中央地区	公園の遊具が壊れているのを直してほしいです。米子市からの放送が聞こえないので、音を大きくする以外で改善してほしいです。
女性	50歳代	中央地区	<水道局改革>人件費、無駄をなくし、水道・下水道整備・老朽化対策を急ぐ<ゴミ処理場>もっと使用しやすく高齢実家の片付けを利用しやすく 対応残念<図書館>人気がある図書はもっと本の数を増やし予約期間を減らす。人気ある本はボロボロで、需要と供給を考えていると思えない。図書整理、学校の長期休み。開館すべき。<米子駅>やっと開発が進み期待しています。駅の周辺 観光客に楽しんでもらえるような商業施設を、他市県からの集客をもっと考えるべき。<公民館>災害がきても、食料品等備蓄品が足りない 整備をしてほしい。学校（耐震・エアコン対策）・公民館、避難生活（食料品・水・トイレ・ボート）できると思えない。早急に整備してほしい。まずはそこから！！と思います。
女性	50歳代	中央地区	湊山公園の児童文化センター、弓ヶ浜公園がコロナ後、もっと大人も子どもも集まって楽しめる場になり、そういう場所が他にも増えてくることを願っています。
女性	50歳代	淀江地区	医大に患者が集中していますが、駐車場が狭いという不満を聞きます。是非改善をしてほしい。
女性	60歳代	中央地区	遊園地。
女性	70歳以上	箕蚊屋地区	新しく出来る橋上駅を活用して駅南に市民が潤える何かがほしい。
無回答	50歳代	弓ヶ浜地区	障がいのある人の福祉を充実し、安心安全に暮らせる様になりたいです。
無回答	70歳以上	中央地区	鳥大医学部は米子ゴルフ場へ移転、学園都市を目指すべきである。

【市への要望（15件）】

性別	年齢	地域	内容
男性	30歳代	中央地区	住民税が高いので安くすること。

性別	年齢	地域	内容
男性	50 歳代	中央地区	市の HP や広報はわかりにくい。使い勝手が悪い。議員などを使って文句を市に言う奴には対応し、まともをお願いする人にはできませんというのが当たり前では困る。公務員としての能力向上。県や境港市西伯郡などと協力してもらいたい。
男性	70 歳以上	中央地区	若い市長のご活躍を期待します。
女性	30 歳代	無回答	大雪の時に、通勤が不安なので、雪かき車を早く出動して
女性	40 歳代	弓ヶ浜地区	とにかく子どもの遊べる施設がない。上下水道も全てに通ってない。同じ税金を納めてるのに市内で下水が通ってない所があり予定もないと聞きました。市内全てで同じレベルの公共サービスを提供して下さい。放置畑が多く、虫、草の整備がされていない。どうにかしてほしい。
女性	60 歳代	中央地区	今、県外に住んでいる子や孫が米子に帰って住みたくなる様な行政サービス。具体的には市の専門家が考えて下さい。
女性	70 歳以上	中央地区	市民の方が精神的、社会活動の出来る応援
女性	70 歳以上	中央地区	地域での力を！と言いつつ市として補助をきちんとすべきではないか 高齢になってから気楽に買い物にいたり自由に働けることが…私の日常には応えられるアンケートではない
女性	70 歳以上	弓ヶ浜地区	10 月 3 日に実施予定の米子市一斉清掃が苦痛です。私の住む所では、毎年「川」の清掃すなわち川の砂あげです。77 才の私が川に入ることに、川から上がることが無理ですが、頑張ってます。9 月 30 日の一斉放送でも「10 月 3 日にある米子市の一斉清掃に協力せよ」とくり返しの放送でした。高齢夫婦には協力したい思いはあるのですが春秋の清掃がストレスです。年齢制限とか、体力に配慮とかの工夫も大切ではないでしょうか。 あわせて地区の集会所の清掃が約 1.5 年に 1 回まわってきます。清掃の必要性はわかります。集会所は使用する人が使用前と使用後にきちんとしておけば全員ですることもないと思います。 8 時集合でしたので 7 時 50 分頃行きましたら、することもなく、おしゃべりをして 10 分程で帰りました。工夫が大切だと思いました。住民に対しての思いやり、工夫も大切だと思っています。
女性	70 歳以上	南部地区	人口減少傾向なら税金収入が少なくなるので観光客などあまり当てにしないで余計なお金を使わないように何事にもコンパクトにスリムな行政を望みます
無回答	60 歳代	中央地区	大変又難しい問題ですが、何かを…!! 都市創造課の皆さんの知恵と行動に期待してます。
無回答	70 歳以上	中央地区	固定資産税が高いので安くする。
無回答	70 歳以上	弓ヶ浜地区	後藤駅前の開発が云々されているが、そんなところに税金を投入しないでほしい。それならば、妊婦、幼児、これからの人間に目を向けてほしい。
無回答	70 歳以上	南部地区	鳥取県西部震災の時ちょうど側溝改修工事があり家がなまめになってるのでなおして下さい。ビーダマがころがります。
女性	70 歳以上	淀江地区	米子市の水資源を守ってもらいたい。

【人口減少・高齢化に関する意見（14 件）】

性別	年齢	地域	内容
男性	40 歳代	中央地区	とにかく子供がふえないと、人口がへるばかりです。人口をふやすことだけが正義だと思います。
男性	60 歳代	中央地区	年金生活者が安心して生活できるよう、生活保護者も含め、財政支援が十分に受けられるような行政であってほしい。生活が苦しいと高齢者からよく聞く。以上の様な観点から、ハード・ソフト面の対策を考えて少子高齢化、人口減少に対応したまちづくりをお願いします。
女性	30 歳代	中央地区	米子はコンパクトで商業施設もあり、自然も近く、とても住みやすい環境だとは思う。しかし、働き口が少なかったり、賃金が都心部よりも低い。そして、自分が年をとった時の生活は思い悩む。車が運転できなくなったり、病気になったりした時のサポートに不安を感じる。若い時はいいが、年をとったら離れてより便利な地へ住みたいと思う。

性別	年齢	地域	内容
女性	40歳代	弓ヶ浜地区	高齢化社会に着目するのであれば、現高齢者の方の生活上の問題の聞きとり結果を知りたい。
女性	50歳代	中央地区	高齢者が多い為には、施設の拡大…それも年金で入居出来る所があれば皆が困らなく良いのでは。今は施設も介護も、もう一度見直して欲しいです。
女性	50歳代	中央地区	高齢者の運転は危ないです。免許証は取り上げると良いと思います。
女性	50歳代	中央地区	昨今子育て支援がずい分取り上げられてますが、私達の世代(子供30才)に比べるとはるかに良くなっています。これ以上は望みません。それよりも高齢者(富裕層の方は除いて)の福祉を充実すべきだと思います。
女性	50歳代	弓ヶ浜地区	米子市の街はお店などだいたいのもがそろってて不自由のない街だと思います。でもそれは自家用車での移動です。米子市は車がないと不便な街でもあります。私は今50代で車にも乗るので大丈夫ですが20年30年後はどうなるのかなあと少し不安に思います。高齢ドライバーが多くなってしまいうのも現状仕方ないのかもしれないですね。あとは高齢者介護施設で働く職員さんの人員不足が問題だと思います。私の母もお世話になっていますが、本当に人が足りないのが良くわかります。介護職につく人の人材育成も進んでいくと良いと思います。
女性	70歳以上	弓ヶ浜地区	現在弓ヶ浜地区は高齢化がより進んでおり、買い物をするスーパー、病院等が近くにないため、また、交通の便が悪く、運転免許を返納している高齢者が多くおられます。移動にも体が不自由で介護が必要な方が多く、いずれ更に増えてくると思います。高齢になっても住みやすいまちづくりをお願いします。
無回答	60歳代	中央地区	高齢化社会を考えないと運転出来なくなっても安心して生活出来る周辺環境と世代を越えて協力しあえる社会になっていくことを期待します。
無回答	70歳以上	中央地区	年々、高齢化が進み、1人住いの人が多くなり、1人で行動できづらくなった人々が多くなっている。公民館が(小学校)遠く、歩いては行きづらく、近くの高い建物などがわかりづらく、仕方なく家に居なくてはならない場合がふえると思われます。地域にも若い人達が少なくなり、助け合う事が難しくなって来ている様に思われます。何とか、1人住居や高齢夫婦を助けられる様、組織作りが出来ないでしょうか。
無回答	70歳以上	中央地区	人口減少を抑制し、高齢化に対応したコンパクトな米子市へ。
無回答	70歳以上	弓ヶ浜地区	高齢者がますます増加し、人口減少による限界集落化の防止対策
無回答	70歳以上	南部地区	核家族があたり前の家族構成。子育てが大変で、自然と少子化する。高齢者も気遣いが少なくなり、行動が自由、食材が偏りがち、病気も特有な病名、保険料の上がるのも自然な成り行き。子供に行政から出ている、手当てを、孫を見る祖父母に、年金以外の収入として払い、励みとする。迎えに来る親に子供への次の食材を、自分達の食材を、お金を払い買って来てもらう。この様な方向にならないものでしょうか？

【観光・PRに関する意見(11件)】

性別	年齢	地域	内容
男性	40歳代	中央地区	駅の建替えやJU高島屋付近を整備しても、結局は周辺に観光地がなく、大山や鬼太郎ロードに頼っているため、駅周辺での人の滞留がない。米子城跡は皆生から公会堂に向かう道で良く見えるので、今更新築は無理だが、例えば期間限定でプロジェクションマッピングを使って米子城を再現したり、湊山公園の広大な敷地を利用した湊山動植物公園など、米子市内にもこれといった観光地があればと常々思う。
男性	40歳代	弓ヶ浜地区	米子城を造ってほしいです
男性	70歳以上	中央地区	米子市には、米子城跡という天下に誇る石垣が有るから、天守を再建して、観光客を呼び込んだらどうか。
男性	70歳以上	中央地区	米子市の公園にある湊山に米子城の再築を希望します。市民からの寄付を募り、早急に検討してほしい。観光面での集客及び市の活性化につながります。
男性	70歳以上	弓ヶ浜地区	米子市はこんないい所PRをしっかりとしてください。
女性	30歳代	弓ヶ浜地区	観光業には限界的だと思う。メインの名所がない
女性	30歳代	無回答	米子を良くしようとしてくださってありがとうございます。でも、温泉、大山だけで人は集まらないと思う。都会に人が集まるのは、商業施設があ

性別	年齢	地域	内容
			る、楽しい場所があるからだと思うので、人を集めたいならアウトレットみたいな建物を作ったほうがいいと思う。米子はただの通り道になってしまっていると思う。自分は住んでるからいいけど、他県から来るとしたら米子に来ようとは思いません。だってもっと良い温泉街も山もありますもん。ありがとうございました。
女性	40歳代	無回答	加茂川沿いや寺町など風情のある街並みをブラブラ歩くのが好きです。この風情はもっとアピールしてもよいと思います。米子には魅力的な通りがたくさんあるので、もったいないです。
女性	50歳代	弓ヶ浜地区	せっかく彫刻がたくさんあるのに、手入れもあまりされていなくて、寂しいですね。文化面の充実を希望しています。
女性	70歳以上	箕蚊屋地区	今ある自然を整備・活用する工夫し魅力ある観光にする（城山、彫刻ロード、水鳥公園など）
無回答	40歳代	中央地区	米子城の整備を大変楽しみにしています。すばらしい観光資源になると思います。

【商業・店舗等に関する意見（9件）】

性別	年齢	地域	内容
男性	60歳代	中央地区	郊外型の商業施設を誘致してほしい。
男性	60歳代	弓ヶ浜地区	大篠津、和田地区に弁当屋（ピザ屋等）があれば良い
女性	30歳代	中央地区	スーパーの地産地消のコーナーをもっと増やした方が良い。栃木県宇都宮市に住んでいたことがあるが、「あぜみち」という地元の野菜などが安く手に入るお店があり、とても良かったので…できればもっと身近で簡単に手に入ればありがたい。
女性	30歳代	無回答	弓ヶ浜地区（特に和田や大篠津地区）に暮らす高齢者（独身で自家用車のない方）にとって、食料品・日用品を買いに行くことが難しい状況にある。小売店閉店後の支援・手立てがあればと思います。移動販売等のような。
女性	40歳代	中央地区	大学などの教育機関を増やし、若者が定着できるようにすれば、地域経済も活性化すると思います。又は商業施設など住民が買い物や娯楽を楽しめ、県外からも遊びに来てもらえるような場所が少ないので、色々な物が流行から取り残されているように思うので、あえて、新しい物をどんどん取り入れてみてはどうでしょうか。（都会にあるような大規模なショッピングモール、遊戯施設、等）休日に家族で出かける場所が、日吉津のイオンぐらいしかなく、本当に困っています。県外に出れないこのご時世で、せめて県内にあればと思います。
女性	40歳代	淀江地区	自宅が淀江の山の方なので、小学校や商業施設まで歩いては少しきびしいです。仕方がないですけど…もう少し淀江に買い物ができるお店がほしいです。今はいいですが車にのれなくなったら困るので…。
無回答	50歳代	弓ヶ浜地区	高島屋、イオン等、上手に利用し、財政をしっかりやってほしいです。
無回答	70歳以上	中央地区	市内に大型ショッピングモールがほしい。一カ所で買い物が出来れば便利。車がなく、年を取ると何か所も周るのはとても不便。出かける時に選択肢がイオン日吉津くらいしかない。
無回答	70歳以上	弓ヶ浜地区	従来より商店街の再興に向けて資金投入が続けられているが、一向に再興の兆しがなく、ましてや朽ちていく店ばかり。店主が住んでいない。もういい加減にしてほしい。

【アンケートに関する意見（8件）】

性別	年齢	地域	内容
男性	60歳代	中央地区	米子市の将来について、市民に問いかけてくださり、大変ありがたいと思います。何をやるにも予算が必要になると思いますが、優先順位を考えながら、市民に見える形でまちづくりを進行していただけたらありがたいと思います。
男性	60歳代	中央地区	市内小中高等学校での「総合的な学習の時間」を利用して、米子市のまちの将来を考えてもらうような取り組みをすすめると、いろいろなアイデア、考えが出て、参考になることがあるかもしれません。

性別	年齢	地域	内容
男性	60歳代	弓ヶ浜地区	このアンケートじたいがひとりよがりです。もっとまじめに考えて下さい。各地域による話題は違っている。
男性	60歳代	淀江地区	設問のイメージではコンパクト・プラス・ネットワークのイメージがわからない。集中型にしか感じられない。
女性	70歳以上	弓ヶ浜地区	本人が高齢なため、家族が代筆しました。問15、16、17は、設定された回答の内容がズレているのではないのでしょうか。今まで開発、地域活性化の名のもとにやってきた施策そのものが間違っていたのではないのでしょうか。誰のためのものか、どこが潤うための開発なのか。今工事している米子駅の工事など、全く理解できません。
女性	70歳以上	弓ヶ浜地区	高齢者には設問が難しすぎます。
女性	無回答	無回答	米子市ホームページも拝読しました。コンパクト・プラス・ネットワーク型まちづくりとして、住民が公共交通により～とありますが、今後人口減少が予想される中、現在の列車やバスが増便されるとは到底思えません。徒歩や自転車で移動できるまちを～との記載もありましたが、それには住民がまず「健康である」ことが大前提です。高齢になるにつれて、足腰の衰え、認知機能の低下は避けられないと思いますが、自転車での移動やスマートフォンのアプリ利用など、浸透していくのでしょうか。米子市は弓浜部から淀江地区まで地域が離れており、都市機能を一部に誘導するととなると、遠方の住民は公共交通機関にお金を払って利用することになり不公平感が出ます。将来的なことはわかりませんが、今現在からすると、住民の実際の生活とはかけ離れたまちづくりを目指しているように思えます。たださえコロナ対応で過剰な感染対策により子どもたちの笑顔が奪われています。「時間をかけながら誘導による集約を推進」とは、徐々に立ち退きを進めるということでしょうか。そういう印象を受けました。分断ばかりが進められていくようで大変残念に思うアンケートでした。
無回答	70歳以上	弓ヶ浜地区	余分なことかも知れませんが、封筒に入れる時は余分な部分を作ってください。ハサミで切るため、中に入っている書類を切ってしまうおそれがあります。公の書類のほとんどが切り代が空いていない。投入するにも手間がかかるし、受け取って開封するにも手間がかかる。

【企業・施設誘致に関する意見（8件）】

性別	年齢	地域	内容
男性	30歳代	中央地区	米子市内での就職先が少ない為、今後若年層は県外に出ることが多くなると思われるので、大手企業等を米子に来るようにすること。
男性	30歳代	南部地区	市内に若者向けの遊ぶところが少なすぎる。高校を卒業する若い人が居たいとは思えない
男性	40歳代	弓ヶ浜地区	流通町を広げて企業誘致してほしい。
女性	30歳代	中央地区	近年、米子駅の建替えや、新店を出すなど、新しいことが多く取り入れられていて、活性化が図られているように思います。米子駅前を含め、米子駅がより一層、若者が来たくするような施設ができると嬉しいです。
女性	30歳代	弓ヶ浜地区	若者が米子市に残れる職場、工場誘致
女性	30歳代	南部地区	多様な職種や働き方を取り入れていかないと若年層の都市流出はどんどん進んでいくのでは…と思う。
女性	40歳代	中央地区	企業誘致。働くところがなければ若者は出ていかざるを得ないため、人口減少は避けられない。賃金の地域格差を何とかしてほしい。正直、東京で生活していた時よりお金がかかるのに、給料は安いので生活できない。結局また都心部へ出ていかざるを得なくなる。家や土地を持っている人でなければUターン、Iターンは厳しいと思う。
女性	60歳代	中央地区	企業の誘致。

【まちの問題点など（7件）】

性別	年齢	地域	内容
女性	30歳代	南部地区	だれもが安心して、楽しく住める米子市になるよう、行政と市民が力を合せていかないといけないのかな、と個人的に思います。いろいろな地区で治安が悪いところもあると聞きます。近年、騒音等で事件が多発しているのを二

性別	年齢	地域	内容
			ユースで見かけるので、警察の方も忙しいとは思いますが、夜間や子どもたちの下校時間等の見回りをしていただけると安心する方もいらっしゃると思います。
女性	40歳代	中央地区	私は昔の米子市街の方が好きでした。今の駅前には居酒屋だらけ。駅の南北自由道路もどれだけ需要があるのでしょうか。詳しい事情が分からないので何とも言えませんが、駅裏は住宅だらけで特にお店などあるわけでもなく、近隣の方々の要望なのでしょう。空き家が増える一方で、次々と新しい家が建っていたり。昨年の土地購入で、複雑な決まりごとがあることも多少知りましたが、せめて高齢の方々が住みやすく、若者が集えるような環境になることを願うばかりです。
女性	50歳代	中央地区	災害も少なく住みやすいとは思いますが、イマイチ結束力がないと感じる。市民全員が誇りに思うような歴史や建造物もないし、つまらない。がいな祭なども結局、商業関係者しか盛り上がらない。弓浜や南部の住民は何のための寄付と思っているくらい。有名人が出るのがいいわけではないが、自分の故郷を誇りに思えるようなエレメントがあれば若者も帰ってくるのでは。
女性	60歳代	弓ヶ浜地区	世代が変わるたび、生活地がかわって便利な住宅地がたくさん出来ていますが、高齢者が残されているように思われます。又、昔のように、となり近所つきあい方にも、不便が出ています。
女性	70歳以上	中央地区	若い人たちに働く場所があること、米子で結婚できること、そして子育てがしやすい状況が必要。中心市街地だけの発展は難しいと思います。
無回答	40歳代	中央地区	若い世代がほとんど県外へ出てしまう理由に、働きたい企業がないこと、夢を持ち叶えるのが都会へ出た方が早いこと、そして交通の不便さ。大阪、東京などへ遊びに行くのに、新幹線が通る駅があるのとないのとは全く違う。義父の住むところでも、歩いて買物できる所が少し離れているので、お年寄りの日々の買い物は大変だと痛感している。移動販売の充実か、交通（バス停も遠い）、タクシーの格安などが必要。観光名所がない。城がない。田舎ならではの良さを。いろいろな所がバラバラに点在しすぎて車がないと移動ができない。
無回答	70歳以上	中央地区	今後、日本は財源不足に陥り、地方経済は衰退していくと思われます。その中で、果たしてどこまでのまちづくりが可能か？不安でしかありません。

【空き家対策に関する意見（7件）】

性別	年齢	地域	内容
男性	70歳以上	中央地区	空き家が増大し、特に壊れた空き家に行政がもっと積極的に関わらなければならない。
男性	70歳以上	淀江地区	空き家が多くなり当地区でも危険度高い（風が吹けば）屋根等の金物等がとんでくる。
女性	60歳代	淀江地区	空き家が目立つような場所もあり、活気あふれるまちづくりには空き家を少なくする事も必要ではないか。空き家の持ち主に補助金を出して次のステップに移行できるようにしたらと思う。（売却して、次の入居者がリフォームする。更地にして土地を買ってもらおう等、現状を打開する。）
女性	70歳以上	中央地区	米子市には空き地、空き家が多く、又借地についても懸念。
無回答	20歳代	中央地区	空き家バンクを利用してみたいのですが、登録数が少なく手が出しづらいです。
無回答	70歳以上	中央地区	周りにも、空き家、空き地が増え、空き畑も多い。受け継ぐものも税が多くなり、農業もしなくなり、建物の解体にもかなりの費用が必要になり、解体できず。家もリフォームが必要になってくる。年齢が高くなり資金がつかれず、動ける間に何とかしたい。高齢になり買い物、公共施設などの近くをのぞみます。財政支援、健康支援を。
無回答	70歳以上	淀江地区	旧市内の空き家対策として、市外からの移住の斡旋、援助などをもっと強化して欲しい。斡旋援助の組織を作って積極的に推進して欲しい。

【移住・定住に関する意見（6件）】

性別	年齢	地域	内容
男性	30歳代	中央地区	若年層（20代～40代）が住みやすく、活気が出るようなまちづくりでなければ、将来性はないと思います。若い人にとって魅力のある町にして、外からも移住してもらえるようなまちにしてほしいです。遊びに行くところ、買い物、映画館など少なすぎる。
男性	40歳代	弓ヶ浜地区	都会に住む意義が薄まる中、米子じゃなければならぬメリットを打ち出し、本社東京にリモートスタジオオフィス米子のような人流が米子におしよせるイメージを具体的にもって行政して下さい。
男性	50歳代	中央地区	米子に住んで4年間。大人目線で住みやすい街だと感じています。個人的な感想を述べますと「人口増加してもおかしくない街」だと思っていましたが最近になって気付いた事があります。それは「住宅街」と呼べる地区が存在せず、家を建てるとしても中心街にある土地や空き地を壊してまた建てる例ばかりです。新しく「住宅街」を作って人を呼び寄せるとの発想はあきらめてしまったのでしょうか？
女性	30歳代	弓ヶ浜地区	子育て環境や医療環境に対して米子市は劣っていると思います。その基盤は若者が流出しない環境を作るべきだと思います。雇用、学校、商業施設、娯楽施設を少しずつでも誘致していかなければ若者は出ていきます。今の30代～40代は年金等高齢となった時に安心して住みやすい環境になっていると思ってませんし、不安です。今日の日本において、国の政策ではまかせられないので、県市が一丸となって住みやすい鳥取県・米子市にしていくべきだと私は思っています。
無回答	70歳以上	中央地区	働く場所がない（学校/県外）を出て、米子には帰って来ない（就職、結婚 米子以外です）
無回答	70歳以上	中央地区	若者と高齢者が仲よく交わる隔たりの無い街に。都会に出た若い人が、再び帰ってこられる街作りをお願いします。

【産業振興に関する意見（6件）】

性別	年齢	地域	内容
男性	20歳代	無回答	地元企業同士の協力
男性	70歳以上	弓ヶ浜地区	市街地の発展策は当然ながら、周辺の農・林・漁、小売業などの衰退の把握と対策は？
女性	50歳代	中央地区	県外の大学卒業後、地元に戻って働ける様に働ける所雇用を増やしてほしい。車に乗っていない人の交通手段でバスなど停留所を増やしたり運行回数の見直しなど交通の便を良くして欲しいです。
女性	50歳代	中央地区	コロナ対策のしすぎで飲食店が壊滅的なダメージを受けています!!! 防災、コロナ対策より産業崩壊と、メンタル不全と、仕事がなくなり、この町は死んでしまいます。これ以上米子市を衰退させないで下さい。
女性	50歳代	弓ヶ浜地区	若い人が残れるように仕事・職種・給料の保障を希望する。
無回答	50歳代	弓ヶ浜地区	働く場での差別が無くなる様、職業相談、法律相談できる様にして欲しいです。

【ICT・デジタル化に関する意見（6件）】

性別	年齢	地域	内容
男性	20歳代	弓ヶ浜地区	ネットワークの強化とデジタルの活用。都会から帰省すると、高齢者が多いためアナログな場面に出会うことが多い。例えば、内容が同じである頻繁な町内放送。本当に重要なことにすべき。テレビのニュースに入れたらいい。大音量のため聞きたくない。ネットが使えないなど。若者は駅前など、市内でフリーでインターネットにつながるようにしてほしい。在宅ワークも増え、色々な働き方があるので、Wi-Fiや4G、5Gを導入すると、一人暮らしでどこでも働ける人が暮らしやすいまちになると思う。このアンケートもわざわざ郵送する必要はないと思うので、メールなどでアンケートフォームを送って時間短縮できる仕組みにほしい。
男性	20歳代	無回答	最近スポーツジムが流行っているので、バイクマシンをこいで発電できる設備を作る

性別	年齢	地域	内容
男性	40歳代	中央地区	まずは住人に様々な行政サービスを効率的に提供する素地を作っていきます。IT化はどんどん進めましょう。効率の良い人にはどんどん効率よくサービスを与えていかねば、こぼれた人を救うこともできなくなります。「ボトムアップ」は下の下策。
男性	60歳代	淀江地区	高齢による公費不足、巨大な構造物に投資するよりも、コンパクトな拠点を数カ所にする。それをIT技術と人間個々の共助でつなぎ、自然と共生するやり方を考えるべき。一カ所に集中すると、それが機能しなくなった時、意味を持たなくなると思います。蜂の巣のような構造とイメージを持ち考えています。
女性	40歳代	中央地区	人口減少を逆手にとり、AI化、IT化を推進すればよいのではないかと。子どもからお年寄りまで最先端技術を駆使できるように指導教育し、環境を整え、便利なまちになれば若者の流出も防げるのではないかと。学校(高校)のリモート授業の環境整備希望。コロナ禍もさることながら、台風等で休校となった際、遠方の生徒は休校の知らせがわかるのが通学途中の電車の中だったりするので気の毒。いち早くリモート授業に切り替え可能になればいいと思う。
女性	40歳代	弓ヶ浜地区	在宅での可能な対応。

【イベント等に関する意見 (5件)】

性別	年齢	地域	内容
男性	20歳代	無回答	体験できる系のイベントを増やす (VRとか高級車の試乗とか)
女性	30歳代	中央地区	楽しく、にぎやかで住みやすい市になればいいと思います。今はコロナで大変ですが、たくさんのイベントがあればいいな。
女性	30歳代	弓ヶ浜地区	米子市が全国に名前を認知される全国大会を考える。(出雲駅伝 皆生トリアスロン) 等新しいスポーツ大会 (例: ペットブームなので全国犬のファッションショー、躰コンテスト等主人とペットを全国から集める大会)
女性	70歳以上	中央地区	一過性のイベントでは活性化しない。定期的に長く続けて行える行事、定着できる計画が大事 (米子名物蚤の市、米子城跡一帯に集う日、淀江地区をめぐるとか)。市民が米子の良さを知る場が大切です。
無回答	70歳以上	中央地区	私はもう高齢者ですので、これという望みはありませんが、まだ美容室を営業しています。つきましては、お客様の中年頃の30~50歳の息子さんがいらっしゃる母親は、皆さん嫁がない、本人も探す気持ちがない。娘さんのいらっしゃる家庭も娘は嫁に行く気持ちがない、と話され、本当に困った問題です。そこで私は思うことですが、テレビ・ビデオの時代ですが、映画館もあってもいいのではと思います。結婚しないと人口が増えないし、世の中が広がりません。現在はコロナで集うことはできませんが、ちょっとおしゃれな喫茶店もほしいですね。私も年齢が大きいですが、おしゃれな喫茶店や映画館にも行ってみたいです。

【土地利用に関する意見 (4件)】

性別	年齢	地域	内容
男性	60歳代	中央地区	郊外の荒廃農地の解消。無計画な住宅等の開発を抑制する。
男性	60歳代	南部地区	市内各地に荒廃した農地が多く見られる。それぞれの事情があると思うが行政が中心となりその活用法などを模索する必要があると思う。もっと積極的に。
無回答	70歳以上	弓ヶ浜地区	弓ヶ浜半島における耕作放棄地再生方法。例えば蕎麦どころにするとか。
無回答	70歳以上	弓ヶ浜地区	和田地区は、人口数が減少するばかりで、若い方の移住がないため、子どもたちの数も減少。農地はたくさんあっても放置状態。どうして宅地にならないのか。農業ができない人が多い中、宅地として活用し、移住者が増え、賑わいある町となることを願います。和田町はスーパー、病院もなく、将来の希望が見えない。

【その他の意見（7件）】

性別	年齢	地域	内容
男性	70歳以上	南部地区	希望に合うことを祈ってます
女性	40歳代	中央地区	県外から転居してきましたが、コンパクトで住みやすいと感じています。ごみ袋は高くてびっくりしました。(以前は無料だったので)
女性	40歳代	中央地区	市内の案内標識は日本語と英語で十分ではないでしょうか。これから作成する分からでも再考いただけたらと思います。
女性	60歳代	弓ヶ浜地区	たくさんの人集めができる施設などない米子市ですが、「米子城跡地」の整備、保全、開発や市民へのアンケートなど、今までの市長さんと違って行動力がある方のようなので期待しています。令和27年まで生きているかわかりませんが、「3人に1人が高齢者」との言葉は切実に感じます。
女性	70歳以上	中央地区	意見では有りませんが、米子の将来が楽しみです。長生きして、自らの目で見てみたいです。ごくろう様です。
女性	70歳以上	中央地区	米子市は環境もよく、医療福祉もとても充実しています。この町で生活させていただいていること、とても感謝しています。米子市はとても快適なまちです。
無回答	70歳以上	弓ヶ浜地区	西暦表示の統一。

3 調査票

米子市のまちづくりに関する市民意向調査

アンケート調査へのご協力をお願い

市民のみなさまには、日頃より米子市市政にご協力いただきまして、厚くお礼を申し上げます。

現在、米子市では、少子高齢化・人口減少等に対応するため、持続可能で歩いて暮らせるコンパクト・プラス・ネットワーク型のまちづくりの実現に向けた取り組みを推進し、今後必要な都市機能施設(医療、福祉、商業その他の居住に関連する施設)及び居住を誘導する区域を明確に位置づけ、その誘導を図っていく計画として「米子市立地適正化計画」の策定を進めております(「コンパクト・プラス・ネットワーク」については別添資料を参照)。

今回、市内にお住まいの18歳以上の方の中から2,000人を無作為に抽出し、まちづくりに関する率直な意見を伺い、計画策定に役立てていくこととなりました。

なお、このアンケートは氏名のご記入は必要ありません。個人が特定されることはありませんので、ありのままのお考えをご回答ください。また、アンケート結果は統計的に処理しますので、ご回答いただいた内容を個別に公表することはありません。とりまとめた調査結果については、後日ホームページ等で公表させていただきます。

お忙しいところ、誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、よろしくお願い致します。

令和3年9月 米子市

ご回答にあたってのお願い

- 封筒の宛名のご本人様がお答えいただくようお願いいたします。
- 回答欄は**太い枠線**で囲まれた箇所となります。
- 回答にあたっては、特に記載のない場合は、該当する項目の番号に○印をつけてください。ただし、「その他」を選択された場合は、()内に具体的にその内容をご記入ください。
- 回答されたアンケート用紙は**令和3年10月8日(金)までに同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、郵便ポストにご投函ください。**
- このアンケートについてのご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

米子市 総合政策部 都市創造課

電話 : (0859) 23-5353 (直通)

FAX : (0859) 23-5392

E-mail : toshisouzou@city.yonago.lg.jp

1. あなた自身のことについてお伺いします。

問1 性別・年齢・世帯構成について、それぞれあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

性別	1. 男性	2. 女性	
年齢	1. 18、19歳	2. 20～29歳	3. 30～39歳
	4. 40～49歳	5. 50～59歳	6. 60～69歳
	7. 70歳以上		
世帯構成	1. 単身（一人暮らし） 2. 1世代のみ（夫婦のみ、兄弟姉妹のみなど） 3. 2世代が同居（親と子、祖父母と孫など） 4. 3世代以上が同居（親・子・孫など）		

問2 お住まいの地区(小学校区)について、あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。わからない場合は郵便番号をご記入ください。

お住まいの地区 (小学校区)	1. 啓成	2. 明遍	3. 就将	4. 義方				
	5. 住吉	6. 車尾	7. 加茂	8. 福生東				
	9. 福生西	10. 福米東	11. 福米西	12. 河崎				
	13. 彦名	14. 弓ヶ浜	15. 輪津	16. 大津津				
	17. 和田	18. 五千石	19. 尚徳	20. 成美				
	21. 箕蚊屋	22. 伯仙	23. 淀江					
郵便番号	〒	6	8		-			

問3 米子市に住んでおよそ何年になりますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

1. 1年未満	2. 1年以上5年未満
3. 5年以上10年未満	4. 10年以上20年未満
5. 20年以上	

問4 お住まいの種類はどれになりますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。その他の場合は、具体的にご記入ください。

1. 一戸建ての持家（工場・店舗併設含む）	2. 分譲マンション
3. 一戸建ての借家	4. 共同賃貸住宅（アパート、公営住宅など）
5. 社宅・寮など	6. その他（ ）

2. あなたの定住・住み替え意向についてお伺いします。

問5 現在お住まいの場所に住んでいるきっかけについて、あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 米子市に生まれ育ったから | 2. 進学 |
| 3. 就職・転勤 | 4. 結婚・出産 |
| 5. 親や子と同居・近居 | 6. 介護施設などへの入居 |
| 7. その他（ | ） |

問6 現在お住まいの場所に今後も住み続けたいとお考えですか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. ずっと住み続けたい | } 問7を回答後、問9へお進みください。 |
| 2. できれば住み続けたい | |
| 3. いずれは市内で引っ越したい | } 問8を回答後、問9へお進みください。 |
| 4. いずれは市外に引っ越したい | |
| 5. 住み続けざるを得ない | } 問9へお進みください。 |
| 6. 現時点ではわからない | |

※問6で「1. ずっと住み続けたい」、「2. できれば住み続けたい」に○をつけた方におたずねします。

問7 住み続けたい理由は何ですか。特にそう思われる理由を最大3つまで選び、番号に○をつけてください。

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 住んでいる地域の住環境に満足しているから |
| 2. 駅やバス停に近いなど、交通の利便性が良いから |
| 3. 商店やスーパーなど、日常の買い物をする施設が充実しているから |
| 4. 幼稚園・保育園が近い、公園が多いなど、子どもを育てる環境が良いから |
| 5. 医療や福祉サービスなど、高齢でも暮らしやすい環境が整っているから |
| 6. 緑豊かな自然環境に満足しているから |
| 7. 娯楽施設が充実しているから |
| 8. 市民活動やイベントなどが活発で賑わいや活気があるから |
| 9. 治安や防犯、防災面で安心感・安全性が高いから |
| 10. 先祖代々の土地なので離れたくないから |
| 11. 親世帯や子世帯との同居・近居のため |
| 12. 固定資産税や家賃など、居住するうえでの経済的な負担が少ないから |
| 13. その他（ |
- ）

3. 米子市に立地する施設についてお伺いします。

問 10 下表の①～⑮に示す商業施設や公共公益施設などをどのように利用されていますか。
 ①～⑮のそれぞれについて(1)利用頻度、(2)そこまでの主な移動手段、(3)主な利用
 場所で、あてはまるものをそれぞれ1つ選び、番号に○をつけてください。
 なお、①～⑮に示す施設以外でその他必要な施設があれば、「⑮その他」の()内に施
 設名を具体的に記入し、同様に(1)から(3)についてご回答ください。

商業施設や 公共公益施設など の利用	(1)利用頻度					(2)主な移動手段							(3)主な利用場所																			
	週3回以上	週1回程度	月1回程度	年数回以下	利用しない(注1)	徒歩	自転車	バイク	自動車(同乗も含む)	列車	バス	送迎車・タクシー	市内(注2)				市外(鳥取県内)				市外(鳥取県外)											
													中央地区	町ヶ浜地区	南地区	箕敷地区	伯耆地区	宍道地区														
記入例 洋服店、家電販売店、家具店 など	1	2	③	4	5	1	2	3	④	5	6	7	①	2	3	4	5	6	7	8												
①洋服店、家電販売店、家具店 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8												
②食料品店、日用品店 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8												
③カフェやレストランなどの飲食店	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8												
④病院(総合病院など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8												
⑤医院・診療所	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8												
⑥介護・福祉施設	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8												
⑦職場・学校	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8												
⑧幼稚園・保育所	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8												
⑨行政サービス窓口	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8												
⑩郵便局や銀行 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8												
⑪図書館	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8												
⑫博物館・美術館	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8												
⑬スポーツ・レクリエーション施設	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8												
⑭地域活動や市民活動の場(公民館など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8												
⑮その他 ※あれば()	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8												

注1) 「(1)利用頻度」で、「利用しない」と回答された施設については、(2)(3)の回答は不要です。
 注2) 「(3)主な利用場所」のうち、市内の地区の位置については、次頁に示す「米子市内の地区区分と小学校区」を参考に、おおよその位置でよいのでご回答ください。

問11 問10で示した施設の中で、市内及び自宅から徒歩圏内(自宅から約800m圏内)において今後なくなってしまうと困る施設はどれですか。特に困る施設の番号(①～⑯)を下の欄に、それぞれ優先順位をつけて3つまでご記入ください。

市内にないと困る施設 / 1番目 2番目 3番目

自宅から徒歩圏内にないと困る施設
(自宅から約800m圏内にないと困る施設) / 1番目 2番目 3番目

問10の『(3) 主な利用場所』については以下の図を参照してください。



4. 米子市が目指すまちづくりについてお伺いします。

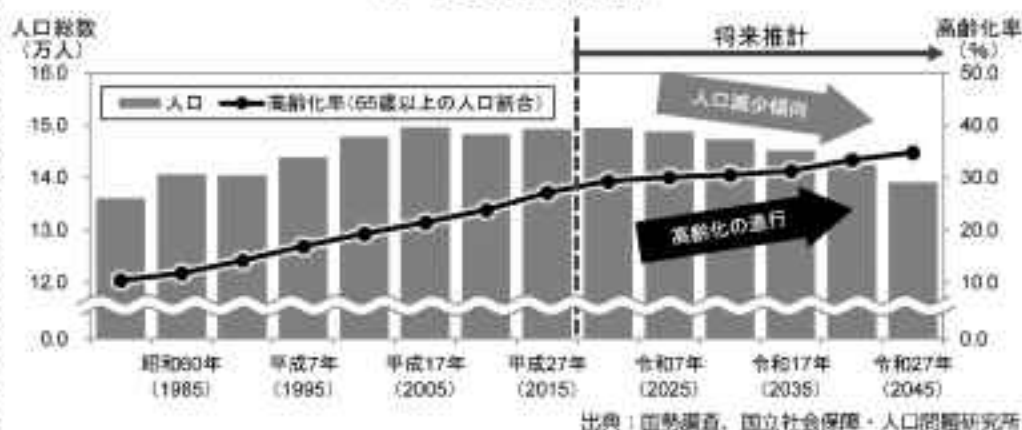
『米子市の人口動向』を踏まえて以下の設問にお答えください。

米子市の人口はこれまで微増傾向にあり、平成27年(2015年)時点で約14.9万人となっていますが、今後は減少傾向に転じると予測されており、令和27年(2045年)の人口は約13.9万人と推計されています。

一方、高齢化率(65歳以上の人口割合)は一貫して増加しており、令和27年(2045年)には34.8%と、約3人に1人が高齢者になると予測されています。

今後は、このような人口減少や高齢化を踏まえた都市づくりの検討が必要です。

■ 米子市の人口動向



問12 上記の内容を踏まえ、人口減少や高齢化の進行により予想される影響について、あなたの日常生活に関係するものはどれですか。特に関係すると思われるものを最大3つまで選び、番号に○をつけてください。

1. 売上減少などにより、スーパーなどの食料品・日用品店舗が撤退する
2. 空き家や空き地が増加し、居住環境が悪化する
3. 鉄道やバスの利用者数が減少し、運行本数や路線数の減少など公共交通サービスが低下する
4. 高齢者の増加により、医療費などの社会保障費が増大する
5. 子育て支援施設や子育て支援サービスの質が低下する
6. 道路や橋梁、上下水道などの新設・維持・更新ができなくなる
7. 地域経済が低迷し、雇用機会が減少する
8. 後継者の人材不足により、農地や森林が荒廃する
9. 地域行事の維持が難しくなるなど、地域を支える活力が低下する
10. その他 ()

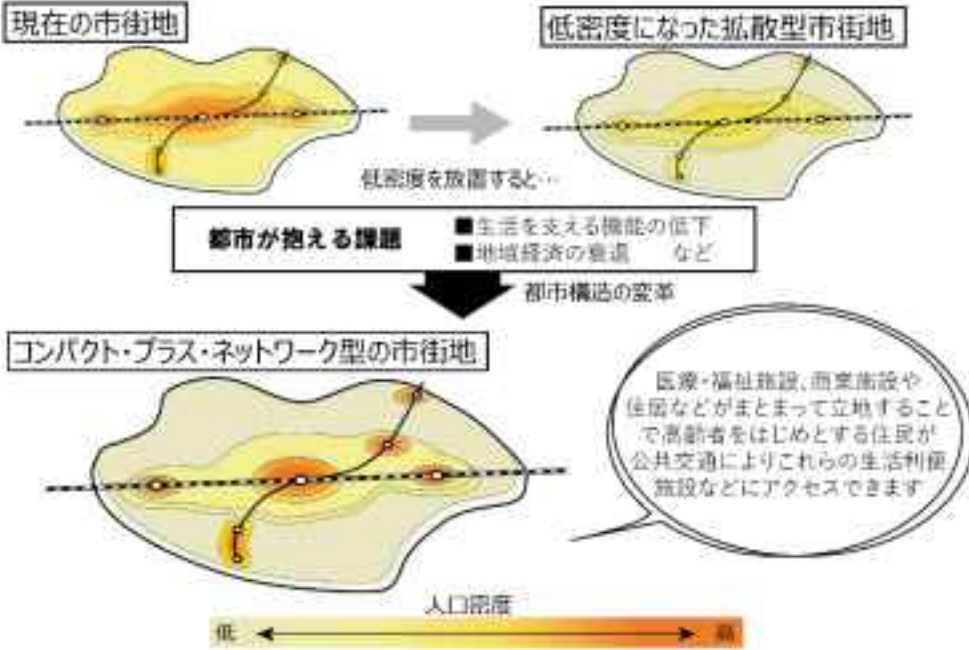
問 18 その他、米子市の将来のまちづくりについてご意見があれば、ご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
同封の「返信用封筒(切手不要)」にこのアンケート用紙のみを入れて、令和3年 10 月 8 日(金)までにお近くの郵便ポストにご投函をお願いいたします。

コンパクト・プラス・ネットワークについて

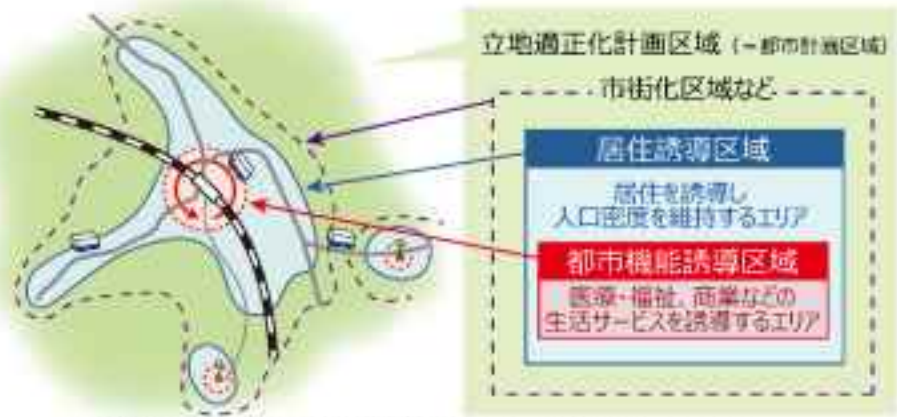
1. コンパクト・プラス・ネットワークとは？

米子市では今後人口減少が進行し、市街地が低密度化することで、生活に様々な問題が生じることが懸念されています。そのため、米子市においても今後はコンパクト・プラス・ネットワーク型のまちづくりを目指す必要があります。



2. コンパクト・プラス・ネットワーク型のまちづくりを実現するための計画（立地適正化計画）

立地適正化計画により、コンパクト・プラス・ネットワーク型のまちづくり（※）を検討することで、みなさんの暮らしやすい環境を保つことができるようになります。



※本計画のコンパクト・プラス・ネットワーク型のまちづくりは、市内の主要となる拠点1箇所既存集落を含む全ての居住者（住宅）や生活利便施設を強制的に集約させる一極集中を目指すものではなく、時間をかけながら誘導による集約を推進するものです。

